

ORIGAMI

TANTEIDAN

折紙探偵団

M A G A Z I N E

定価 500円

【イベント情報】今年もやります！

第2回 折紙探偵団静岡コンベンション

The 2nd Origami Tanteidan Convention in Shizuoka



【特集】 Deformation Theory of Bird Base ; part two

【折り紙博士の】

折り鶴変形理論 後編

Kawasaki Toshikazu

川崎 敏和

【今回の折り図】 "Triceratops '99 Model" Model designed by Kawahata Fumiaki

トリケラトプス'99 model 川畑 文昭

【好評連載陣】 Crease Pattern Challenge : Swallowtail Butterfly Model designed by Meguro Toshiyuki

目黒俊幸さんの展開図折りに挑戦！「アゲハチョウ」

Tomoko in the Box

Fuse Tomoko

Tomoko's Shikishi-hyakka

Tanaka Tomoko

TOMOKOのびっくり箱 布施 知子

ともこさんの色紙百花

田中 具子

Dr.Lang's Useful Geometry

Robert J.Lang

ラング博士の役に立つ幾何学 ロバート J.ラング

通巻 57 号

日本折紙学会 (JOAS) の理念

The Purpose of Japan Origami Academic Society

第一章 名称と目的

第一条 会の名称

1. 本会の名称は日本折紙学会とする。
2. 本会の英語での名称は、Japan Origami Academic Societyとする。
3. 本会の略称は、JOASとする。

第二条 会の目的

1. 本会は、折り紙の専門研究と折り紙の普及の促進、ならびに、それらを通しての広く国内、外の折り紙愛好家との交流の促進を目的とする。
2. 第一項の折り紙の専門研究とは、折り紙の創作、折り紙の創作技術の研究、折り紙に関する批評・評論、数学研究、教育研究、歴史・書誌研究、先取権の研究、工学・商業デザインの研究等を意味する。
3. 第一項の折り紙の普及とは、折り紙の社会的認知度の向上活動、折り紙愛好者層の拡大活動、折り紙に関する人材の育成と発掘等を意味する。

規約第1章より抜粋

Chapter 1: Name and Purpose

Article 1: Name

1. This society is to be called Nihon Origami Gakkai in Japanese.
2. This society is to be called Japan Origami Academic Society in English.
3. The abbreviated name of this society is JOAS.

Article 2: Purpose

1. The purpose of JOAS is to promote studies of origami, diffusion of origami, and both domestic and international association of all origami-lovers.
2. The studies of origami mentioned above includes designing, designing techniques, criticism, mathematical studies, educational studies, history, bibliography, studies on the preferential right, studies of industrial and commercial design, and so on.
3. The diffusion of origami mentioned above includes widening appreciation of origami, expansion of the community of origami-lovers, scouting and rearing the origami talent, and so on.

●折り方の約束記号 SYMBOL FOR FOLDING

谷折り線
Line indicating
valley fold.

山折り線
Line indicating
mountain fold.


手前に折る
Fold forward.


後ろへ折る
Fold backward.


折り筋を
つける
Fold and unfold.


段折り
Pleat.


裏返す
Turn over.


引き出す
Pull out flap.


図の見る
位置が変わる
Rotate.


図が
大きくなる
Diagram enlarged.

.....
見えない
ところ
X-ray.


押す、
押しつぶす
Push here.


切る
Cut.

■ 好評連載陣

TOMOKOのびっくり箱 奇数角形編 4

Tomoko in the Box Odd Polygons

十一角形基本 Basic Undecagon Box

布施知子 Fuse Tomoko

ともこさんの色紙百花 8

Tomoko's Shikishi-hyakka

野路菊 Nojigiku (A Kind of Chrysanthemum)

田中具子 Tanaka Tomoko

ラング博士の役に立つ幾何学 14

Dr.Lang's Useful Geometry

「比を折る」第三回 有理数を折る・その2

"Folding Proportions" Rational Fractions; part two

ロバート J. ラング Robert J. Lang

日本の折り紙史を読む 16

A Brief History of Paperfolding in Japan

第三回 特別編「折紙の歴史展」紹介

"The History of Origami" is exhibited at
Tatsuno City Museum of History and Culture

岡村昌夫 Okamura Masao

折紙散歩 — 東京近郊折鶴 飲食店編+α — 18

Origami Sampo (Origami Walk)

—Orizuru Restaurants in the Suburbs of Tokyo—

前川 淳 Maekawa Jun

■ カラーページ

ORIGAMI PHOTO GALLERY 20

「野路菊」田中具子／「十一角形の箱」布施知子／
「死神」宮島 登／「コブラ」David Derudas／

Nojigiku (A Kind of Chrysanthemum)-Tanaka

Tomoko / Basic Undecagon Box-Fuse

Tomoko / Cobra - David Derudas / Death -

Miyajima Noboru

■ 特集

折り紙博士の 折り鶴変形理論 後編 11

Deformation Theory of Bird Base ; part two

川崎敏和 Kawasaki Toshikazu

■ 今回の折り図

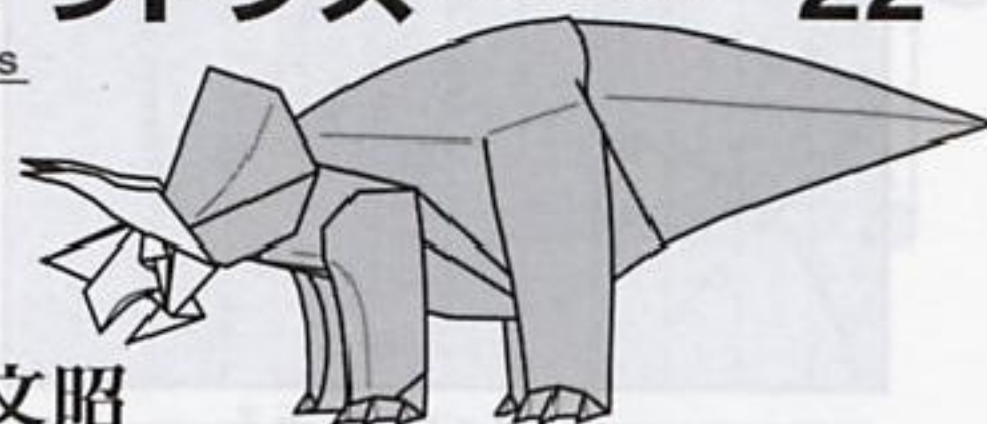
トリケラトプス '99model 22

Triceratops
'99 model

作・図：

川畑 文昭

Model & Diagrams by
Kawahata Fumiaki



目黒 俊幸さんの展開図折りに挑戦! 32

アゲハチョウ

Crease Pattern Challenge : Swallowtail Butterfly

目黒俊幸 Meguro Toshiyuki

■ インフォメーション

第5回 折紙探偵団コンベンションレポート 33

The 5th Origami Tanteidan Convention Report

つまみおり 36

Information

● 龍野市歴史文化資料館「折り紙の歴史」展

"The History of Origami" is exhibited at
Tatsuno City Museum of History and Culture

● 第2回折紙探偵団静岡コンベンション

参加者募集

The 2nd Origami Tanteidan Convention in Shizuoka

表紙／川畑文昭 作 トリケラトプス '99 model



奇数角形編

Odd Polygons

作・図 布施知子 Fuse Tomoko

今回は11角箱です。これも誤差はありますが、実際に折ってみるとあまり問題はありません。

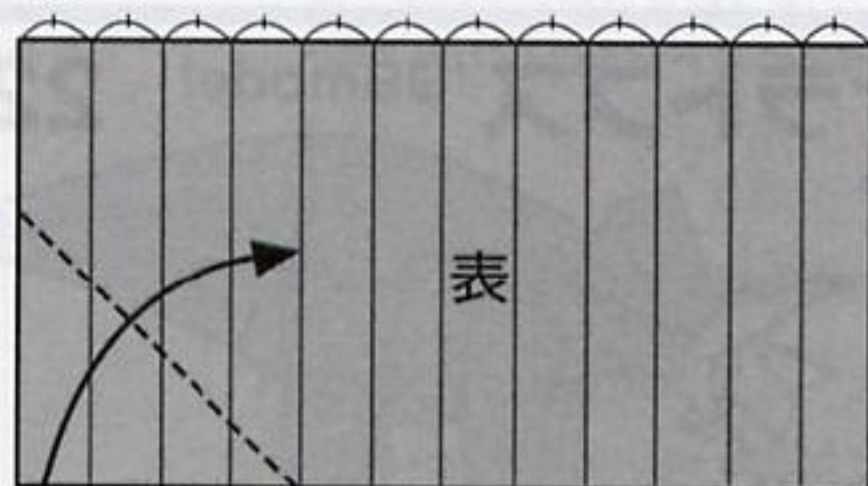


A 4 版 (辺の比 1 : 2) を 1/4 ほど切りとった紙、または辺の比が 1 : 2 の紙で練習するとよい

辺を 12 等分し、山線谷線両方の折り線をつける

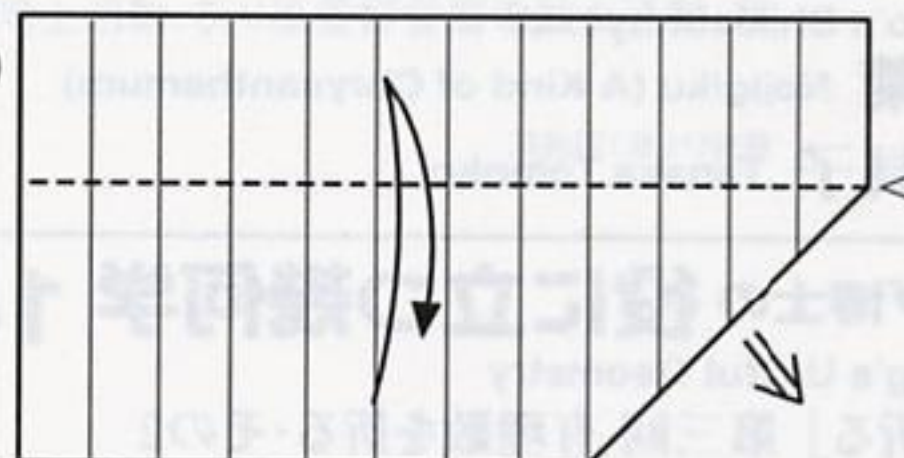
$\frac{1}{12}$

①

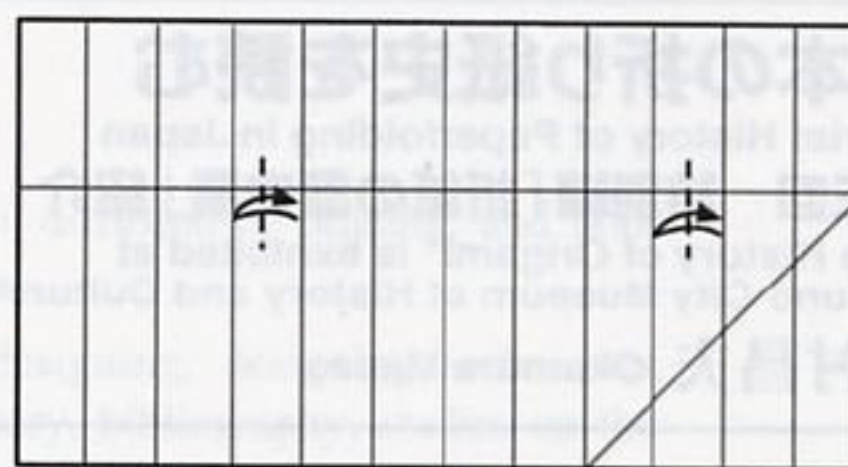


4 つめで折る

②

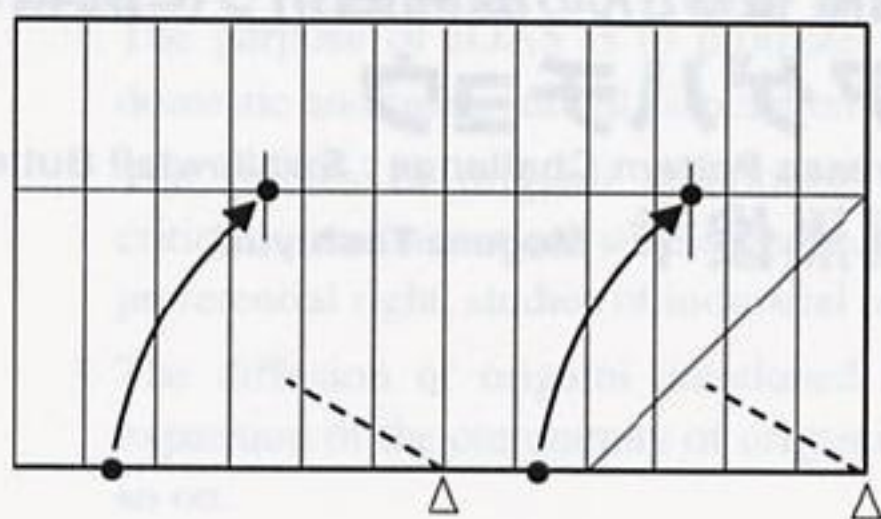


③

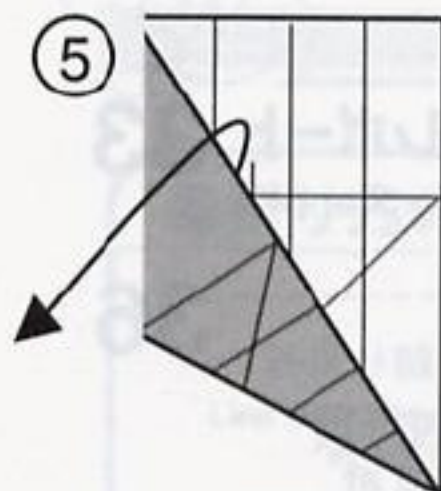


⑥で折る幅がせまいので、2 か所で目安点をとった方が折りやすい

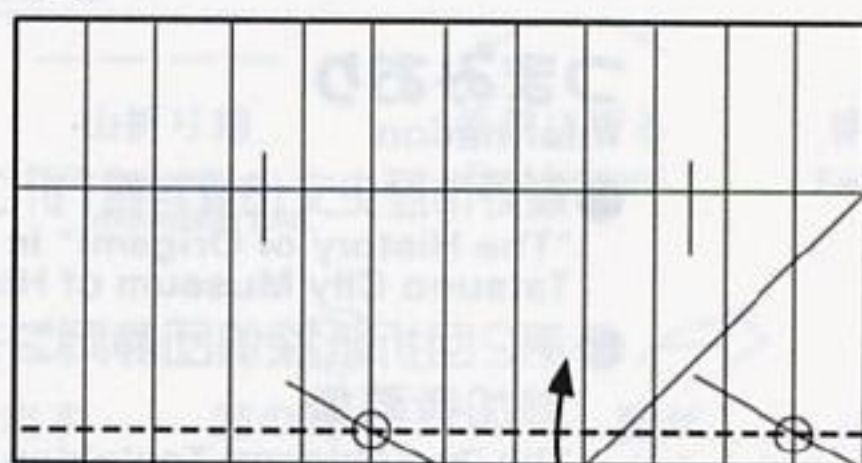
④



⑤

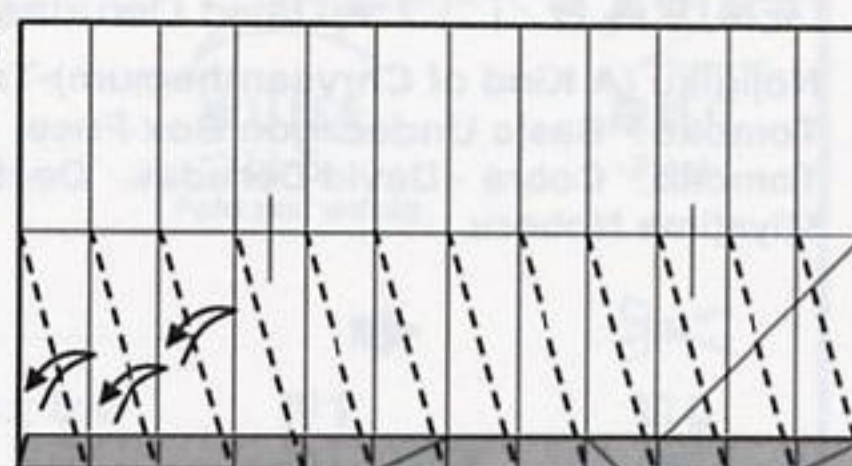


⑥



縦線と⑤の折り線の交点で折る

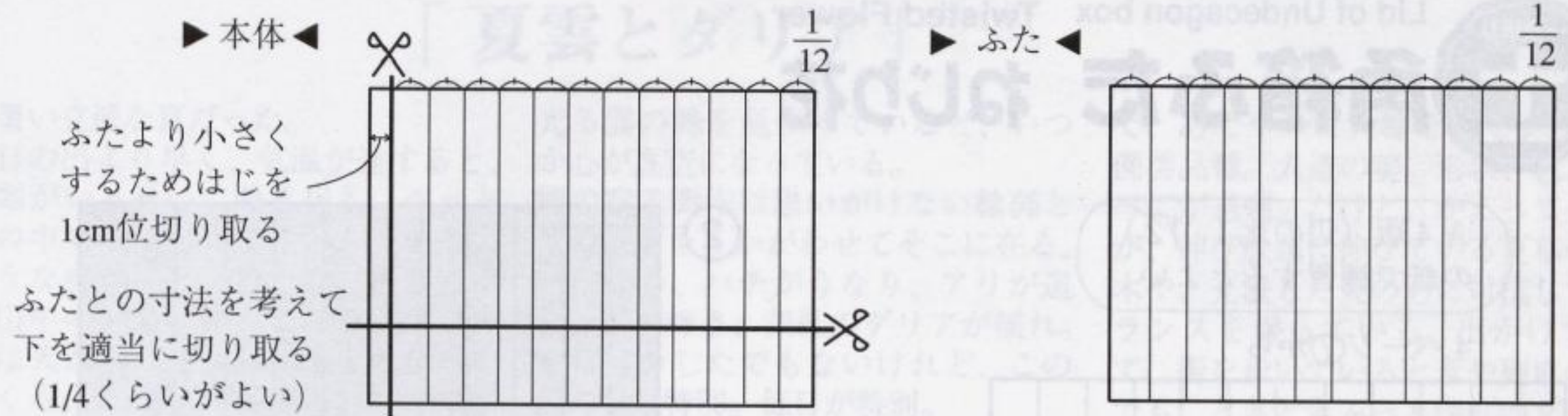
⑦



図のような折り線をつける

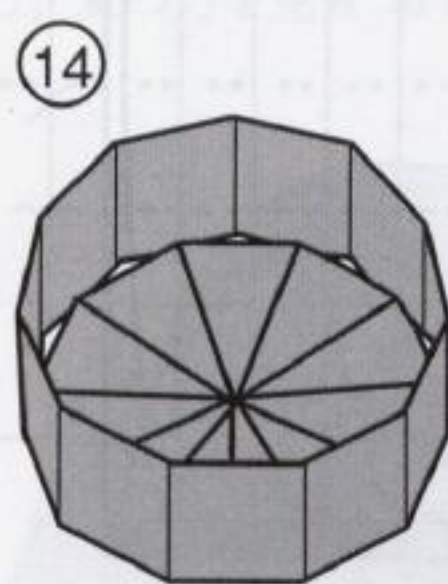
[ひと組みの箱にするための寸法]

A4の同じ大きさの紙から作るとして説明してあります。

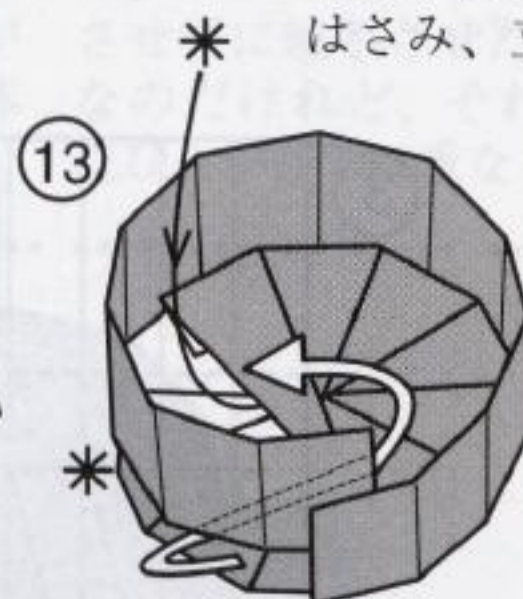
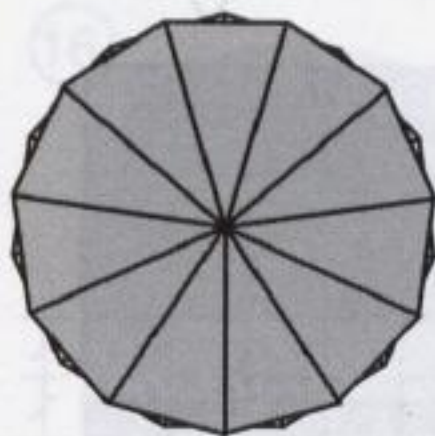


底の上下を大きく入れ替える
つもりで下を上を持ってくる。
そしていったん落ち着かせて
から、しまいの部分を*印に
はさみ、立ち上がりもはさむ

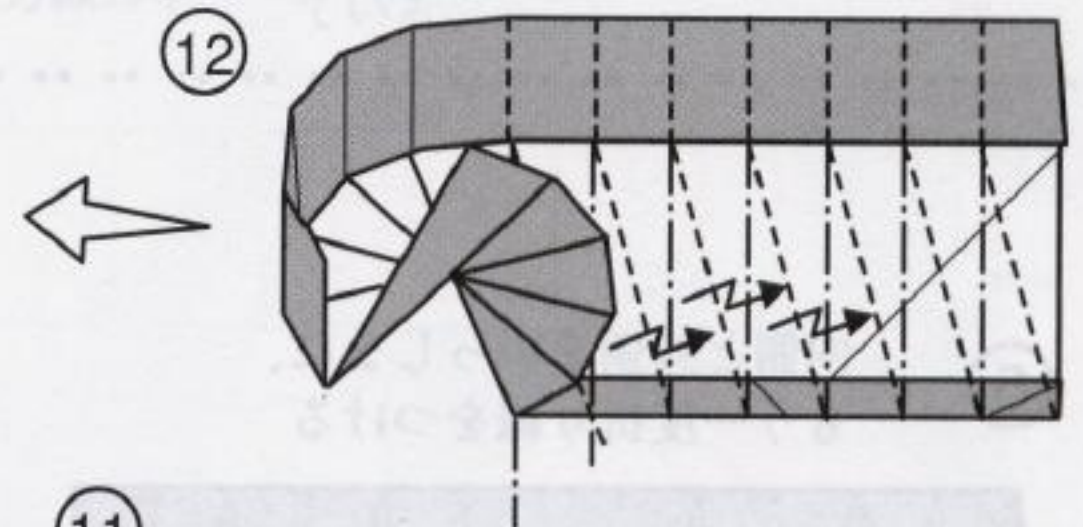
順にひだをよせて折り、一つ
ぶん重ねて11角形にする



(底の内側)



下になっているしまいの
部分(*印)は、上の*
印にはさむことになる



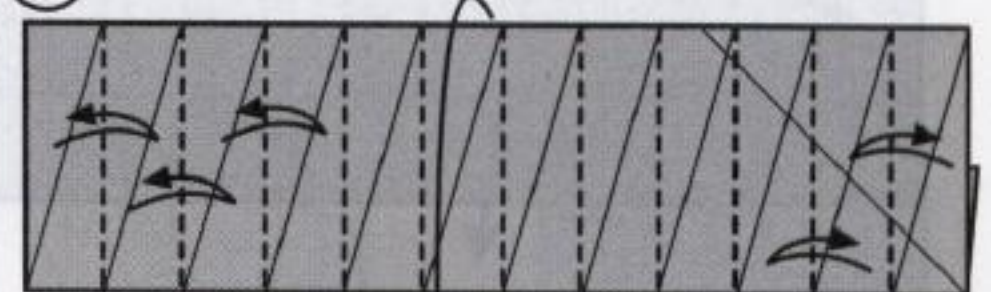
⑪



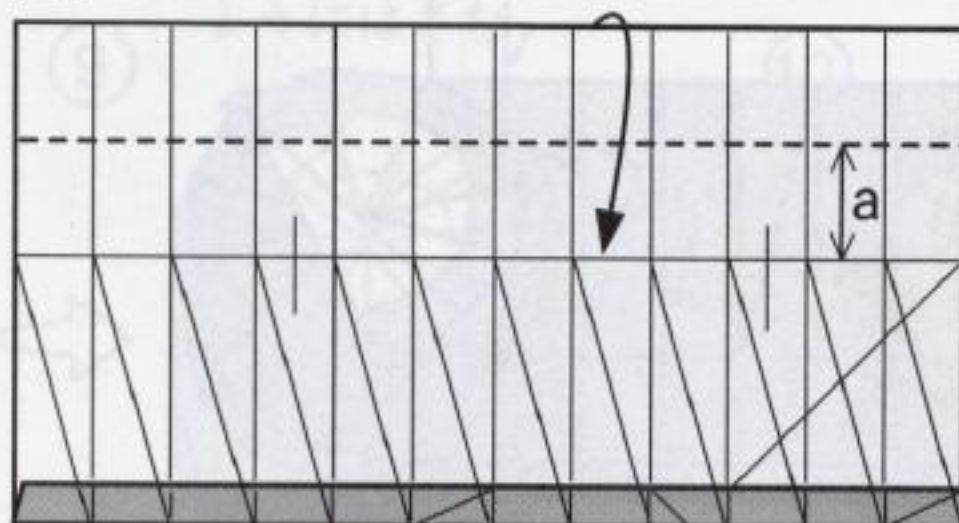
ひだを寄せて折っていく。

内側と外側をいっしょに、図の
ような折り線をつけ、開く

⑩

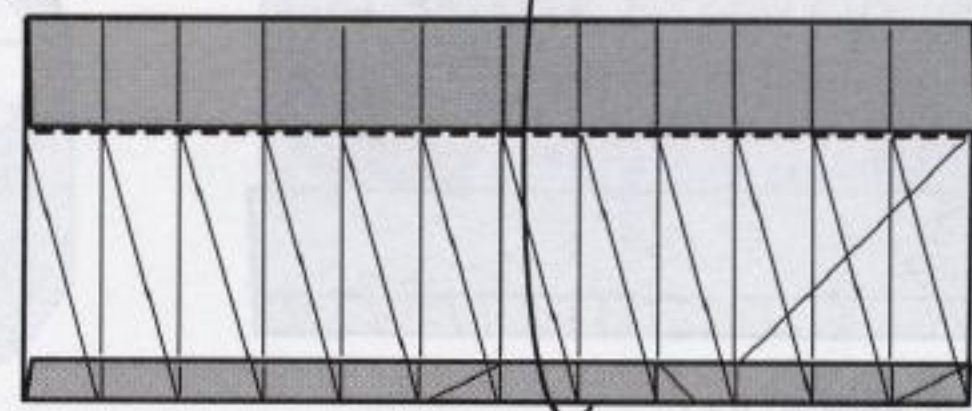


⑧



(aが箱の深さになる)

⑨



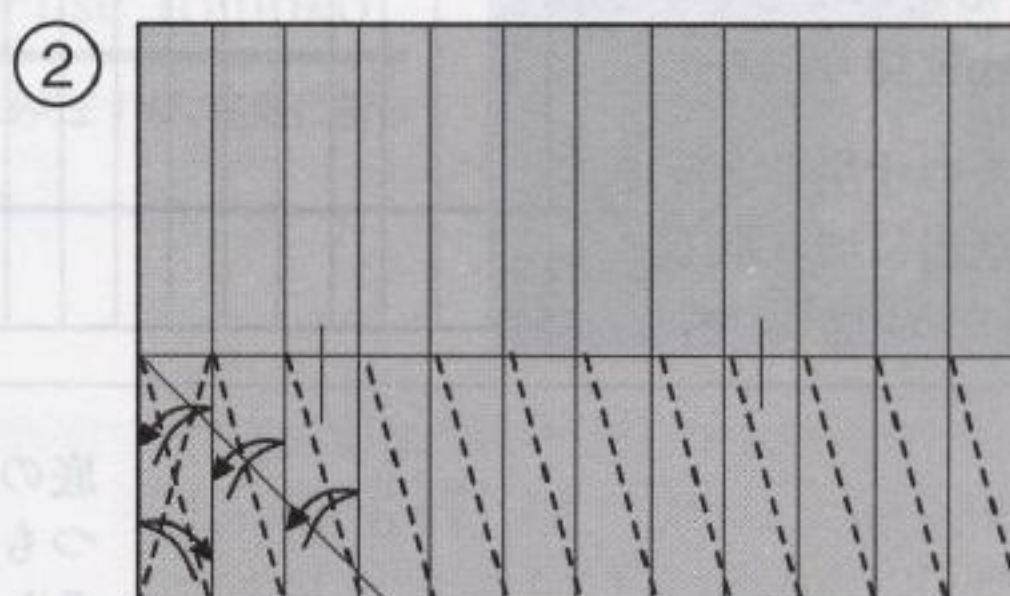


Lid of Undecagon box Twisted Flower

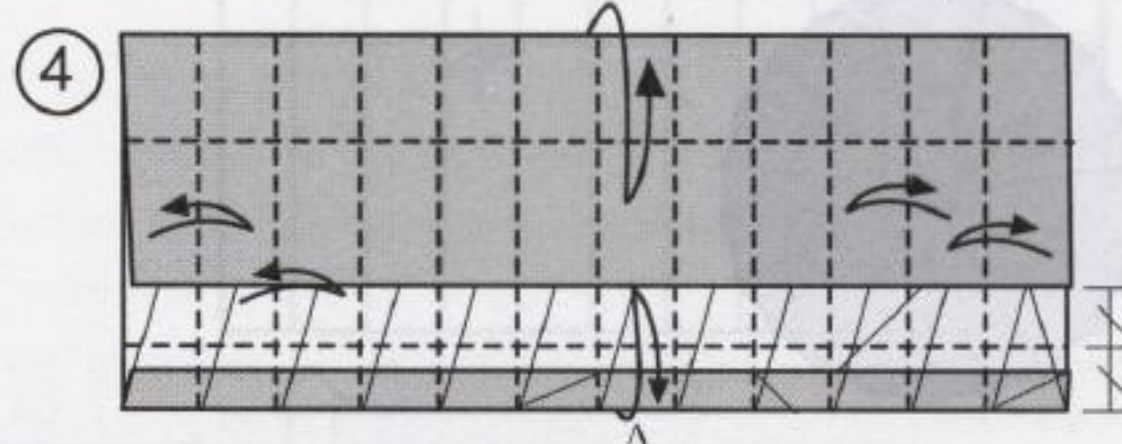
角箱ふた ねじり花

A 4 版 (辺の比 $1 : \sqrt{2}$)
の紙で練習するとよい

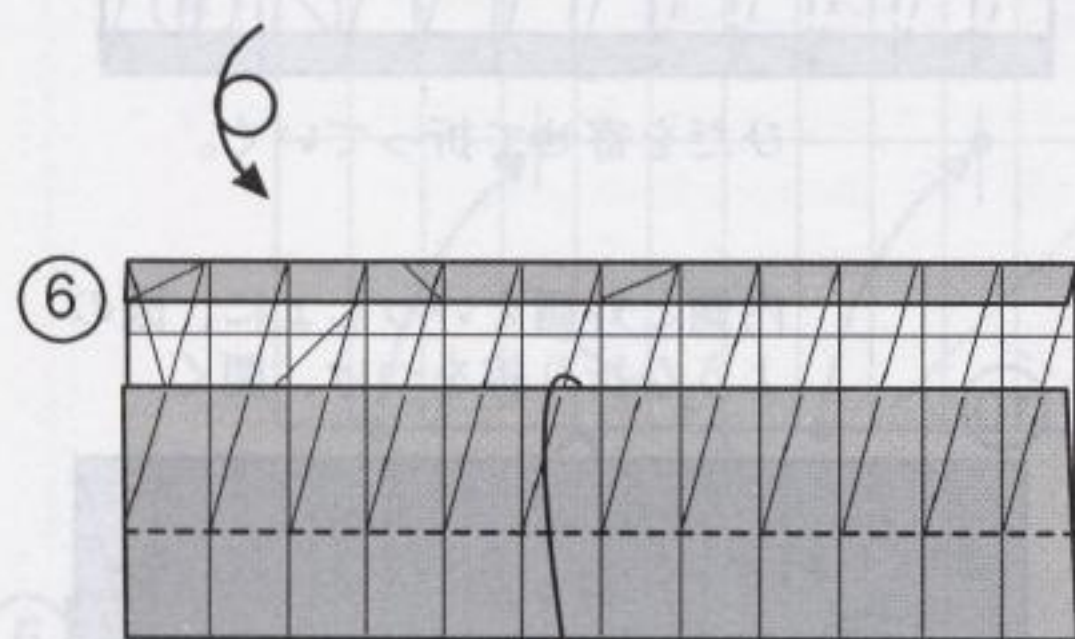
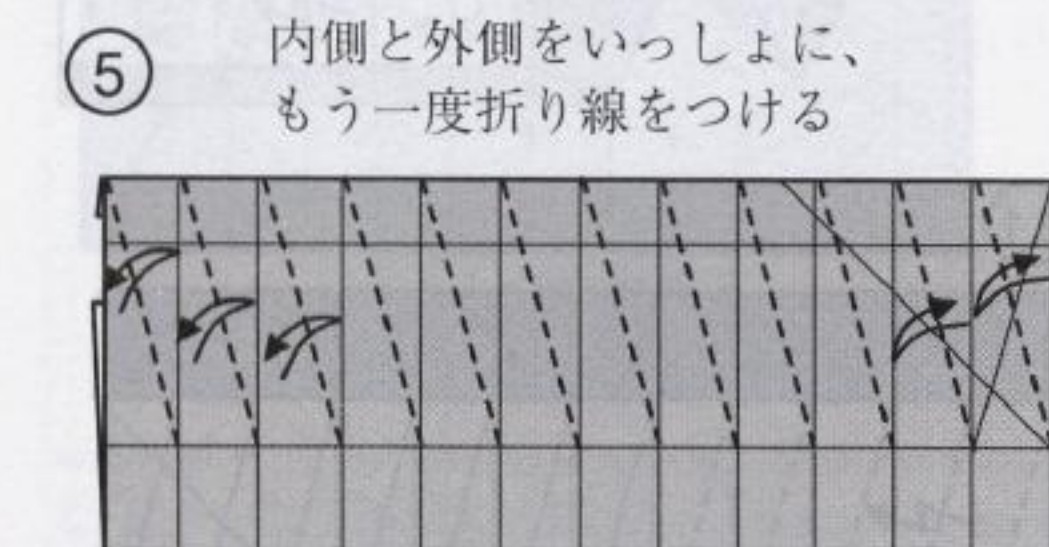
4 ページ⑦から



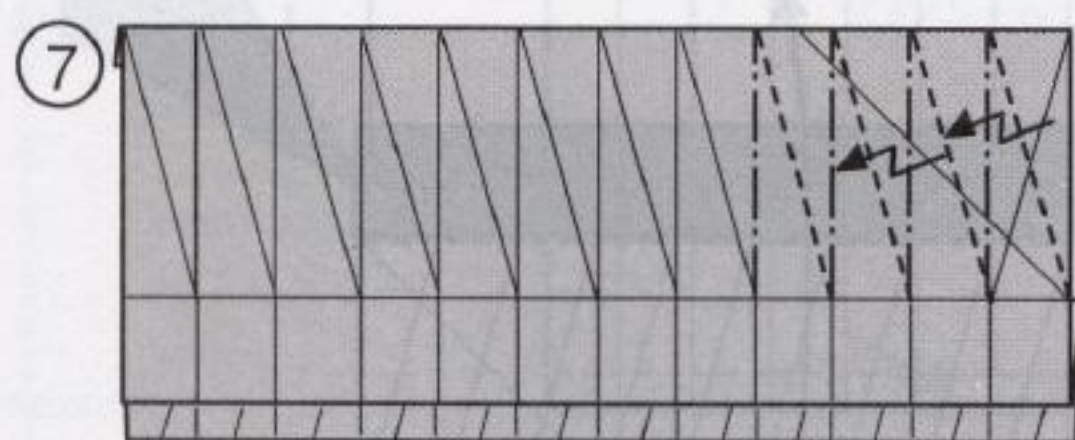
交点に合わせて折る
(a が箱の深さになる)



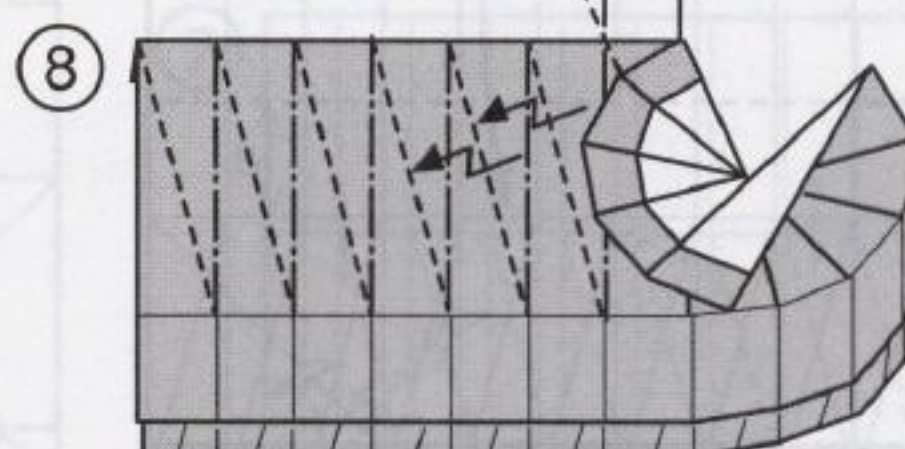
内側と外側をいっしょに、
図のような折り線をつける
(A の折り線は⑬で生きてくる)



一枚だけ折り下げる



順にひだを寄せていく



順にひだをよせて折り、一つ
ぶん重ねて11角形にする

「夏雲とダリア」

暑い立派な夏だった。

日の出より早く、気温が達すると、蟬がいっせいに鳴き出し、ベッドの中で私は空間に浮かんでいるような感覚にとらわれた。我が家は山中の斜面に建っており、蟬の声は天から、地から、沸き上がってくる。この浮遊感は悪いものではない。おびただしい生き物に囲まれて私たちは生きている。と、また認識する。

起きて障子を繰ると、空がどん！と飛びこんで来る。底なしの青。光りをも吸い込んで。午後になって雲がもりもり湧くと、世界は格段に立体化し、夏の力を見せつけた。

光る雲の峰を見つめていると、いつか心が真空になっている。

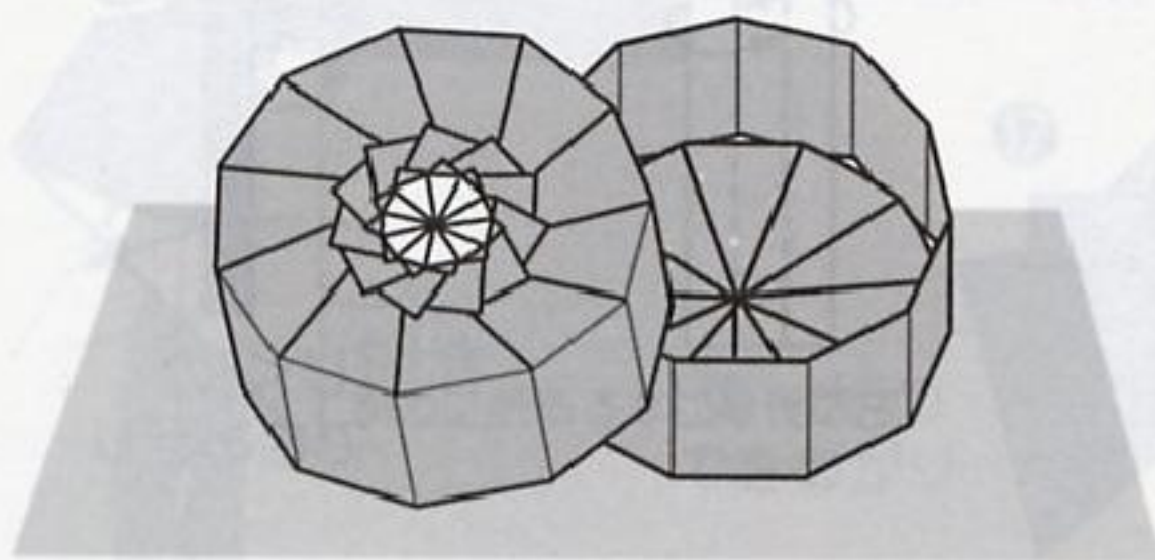
蟬の宿る樹木は思いがけない輪郭と懐の深さをうかがわせてそこに在る。蟬が鳴き、ハチがうなり、アリが這い、雲が輝き、深紅のダリアが揺れ。今日何をしたでもないけれど、この夏の日は特別。毎日が特別。

ここ2年ほどダリアを植えている。このあたりでは球根のことを、イモと呼んでいる。土中の塊はすべてイモ。ワサビもイモである。

で、そのダリアのイモをいかに凍みさせずに越冬させたかが涙の物語りなのだけれど、それは割愛しよう。花びらが豪華に重なって、万緑の中

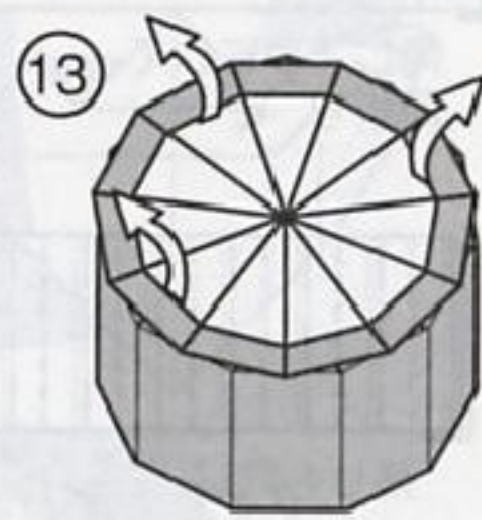
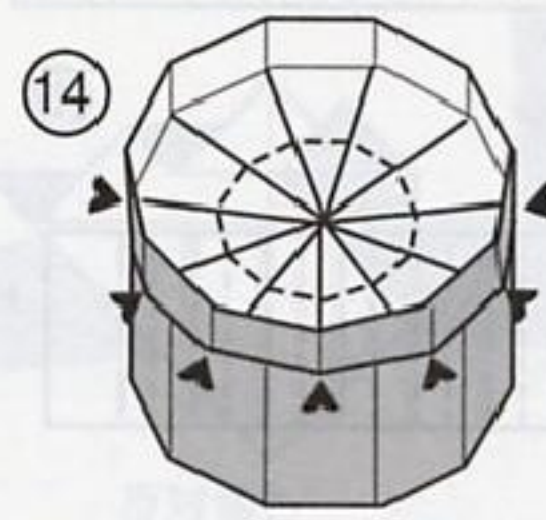
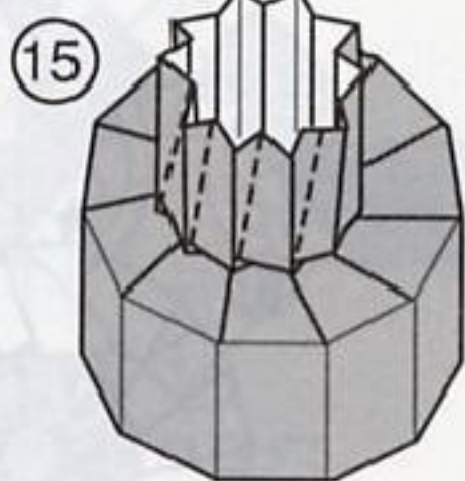
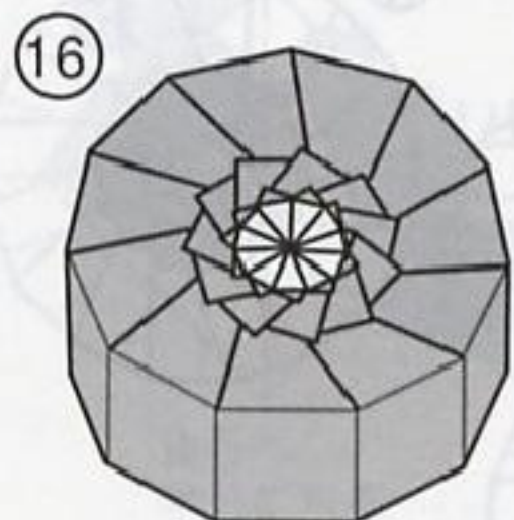
で、あでやかに大輪を開くダリア。園芸品種。人造の美。形状、色、すべてが過剰。だけど、かえってそれが、伸び放題に伸びている夏草や木木や、充溢した夏の力に対抗してバランスを保っている。出かけていて、街を歩いているときや列車の中でも、ときどきふっと深紅のダリアが心に浮かんだ。ダリアを植えはじめたことで、私はよい夏をもらっている。

大学で園芸を勉強したことになっているので、ときどき花の折り紙はしないのですか、と聞かれる。「できない困った学生だったので」と答えている。

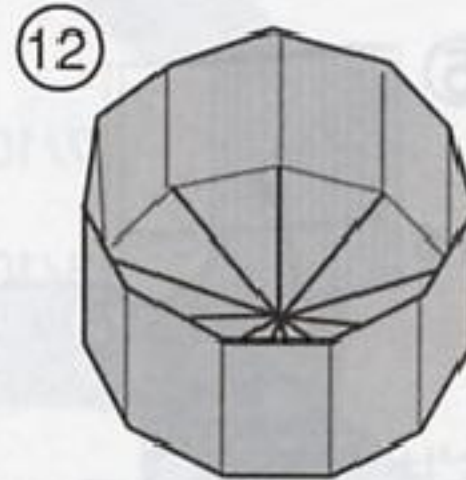
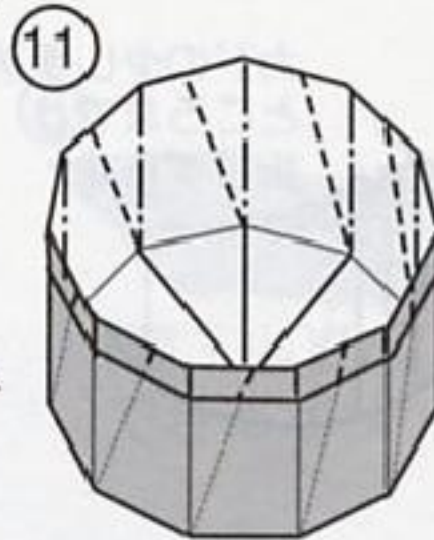


▼印を押すようにして伸ばし山線を立てる

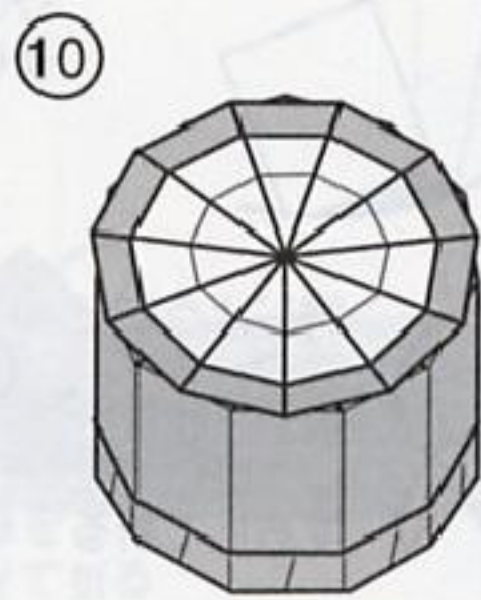
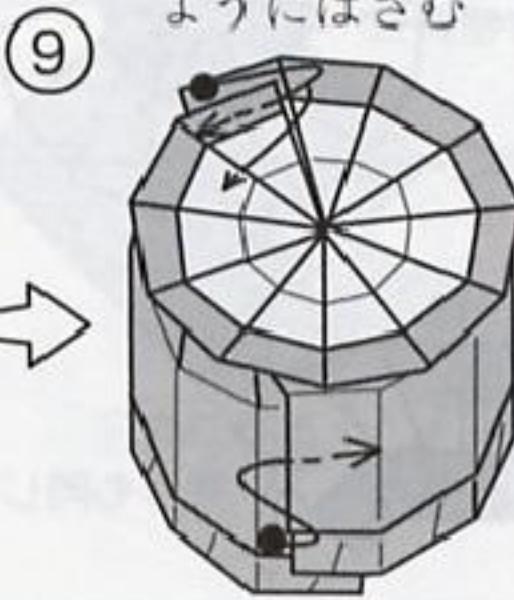
中に折り込んである部分を引き出して立てる



④のAでつけた折り線どおりに、中央によせてねじっていく



上下を入れかえて重なりを巻くようにはさむ

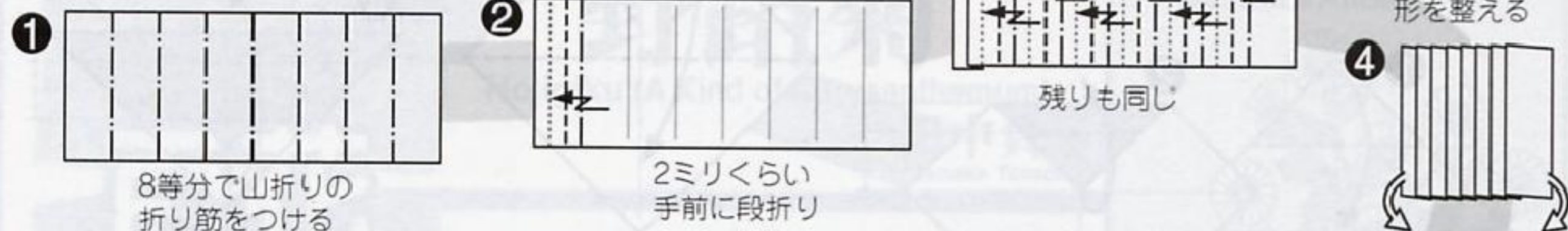


裏返して、内側を順に畳んで平らにする。

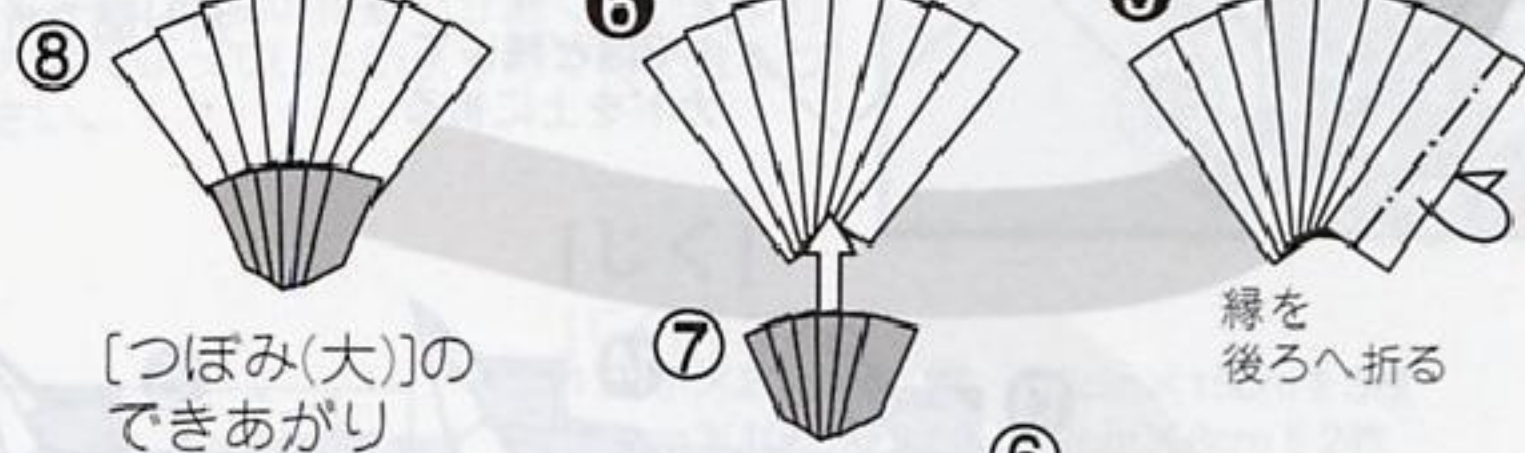
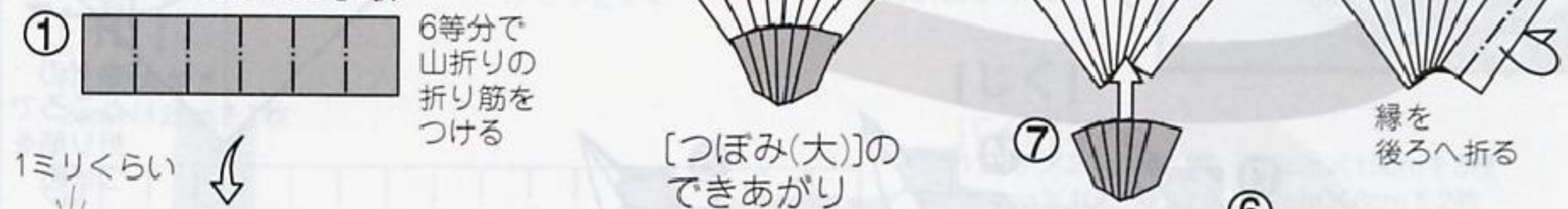


[内側を真上から見た図]

[つぼみ(大)] [つぼみ・大]の大きさ
2cm×5cmを2枚

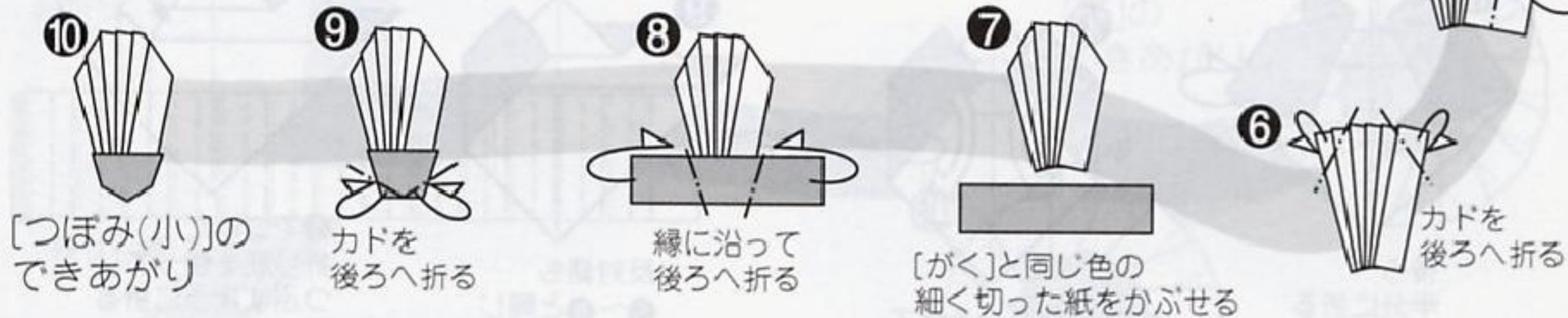
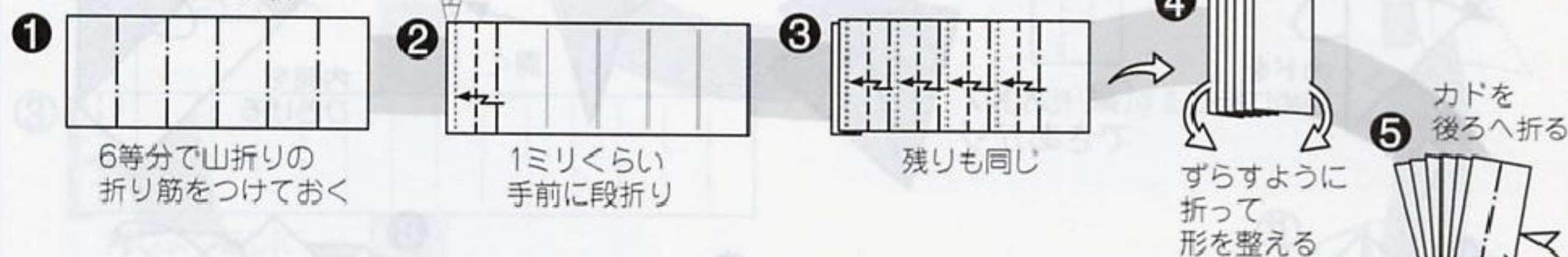


[がく] [がく]の大きさ
1cm×4cmを2枚

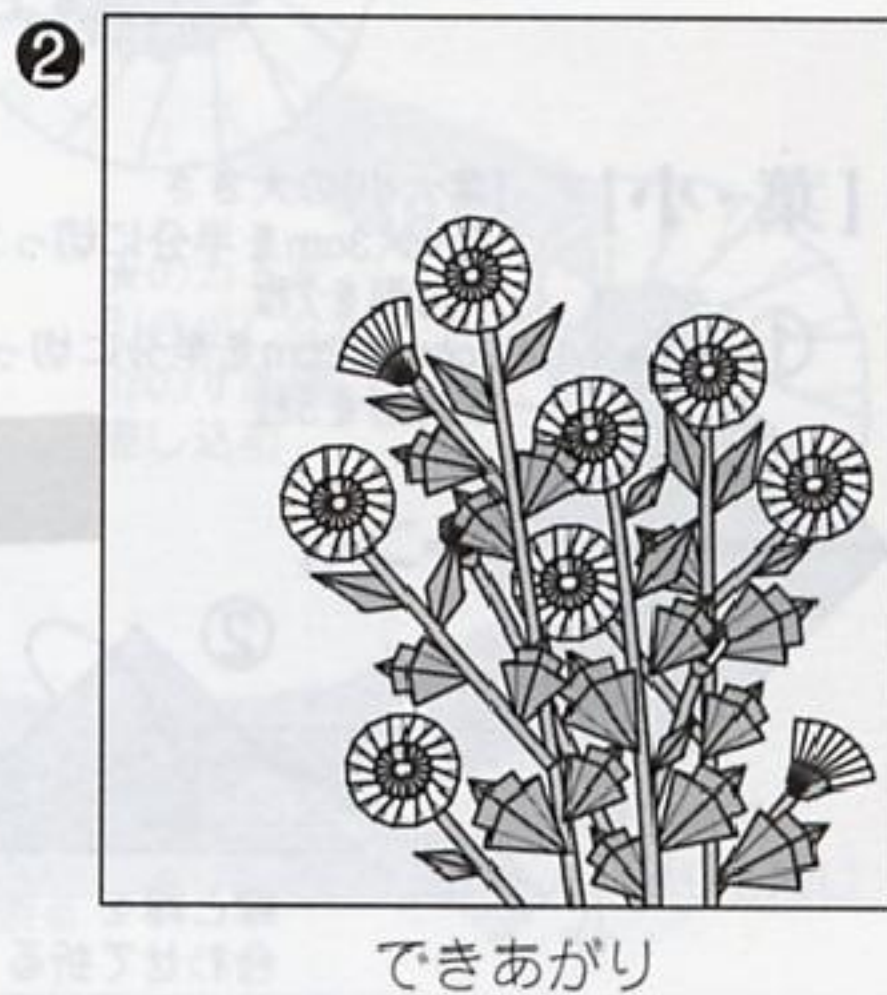


[つぼみ(小)]

[つぼみ・小]の大きさ
1.5cm×4cmを2枚



[組み方]



折り紙博士の

折り鶴変形理論 後編

Deformation Theory of Bird Base ; part two

川崎敏和

Kawasaki Toshikazu

前川鶴の構造

前編で述べたように、折り鶴変形の発展には、伝承鶴→菱形鶴→伏見鶴→ジュスタン鶴と伝承鶴→前川鶴の2系統ありました。後編は2つの流れを統一することから始めます。

図19①(図6③)は前川鶴の基本形です。中央のスリットに沿って切断して広げます。②を半分に切ると角二等分折りされていた4つの四角形(内心四辺形)に分かれます(③)。

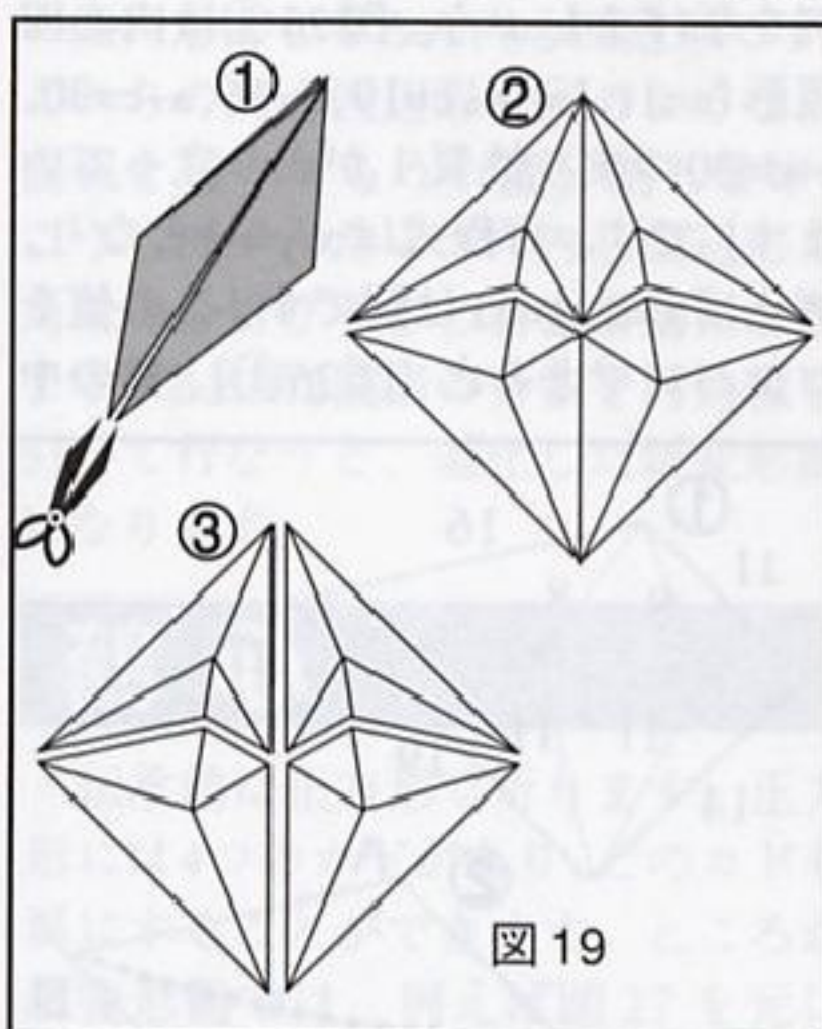


図19

再登場した内心四辺形(内接円を持つ四角形)は不思議な性質を持っています。

性質1

内心四辺形の4辺の長さを順にa、b、c、dとすると、向かい合った辺の長さの和は等しい。つまり $a+c=b+d$ (図20)。

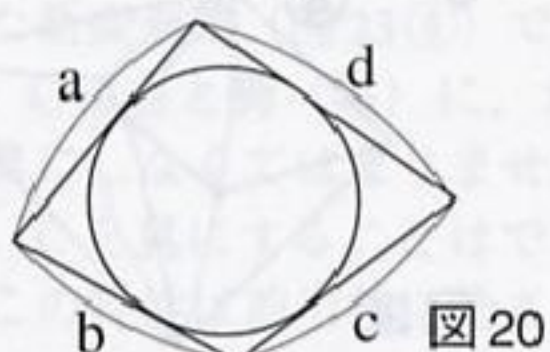


図20

性質2

2つの内心四辺形を二辺がぴったり重なるように貼り合わせると、新たに大きい内心四辺形ができる(図21)。

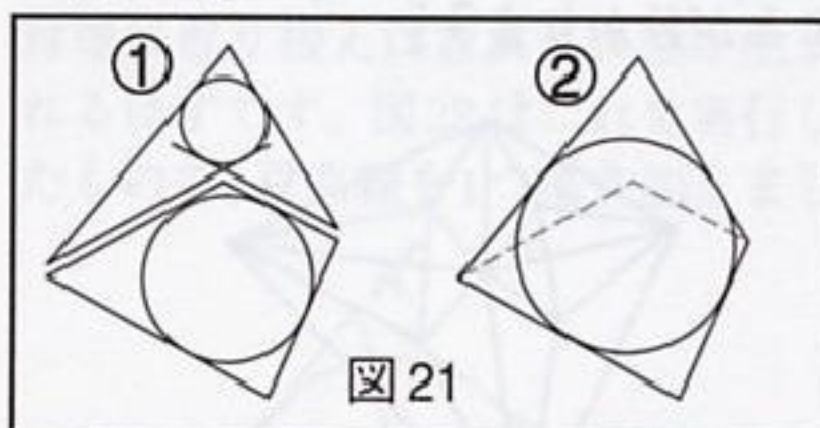


図21

この性質を踏まえて、前川鶴を再分析しましょう。図22①は前川鶴の左半分で、性質2の貼り合わせになっています。したがって②は(三角形に見えますが)内心四辺形と考えなければなりません。さらに②を2つ左右対称に貼り合わせたもの③もまた内心四辺形になります。もっとも③は正方形なので内接円を持つことは、このような回りくどい説明をしなくてもわかります。しかしこの貼り合わせによる説明は重要なので理解しておいてください。

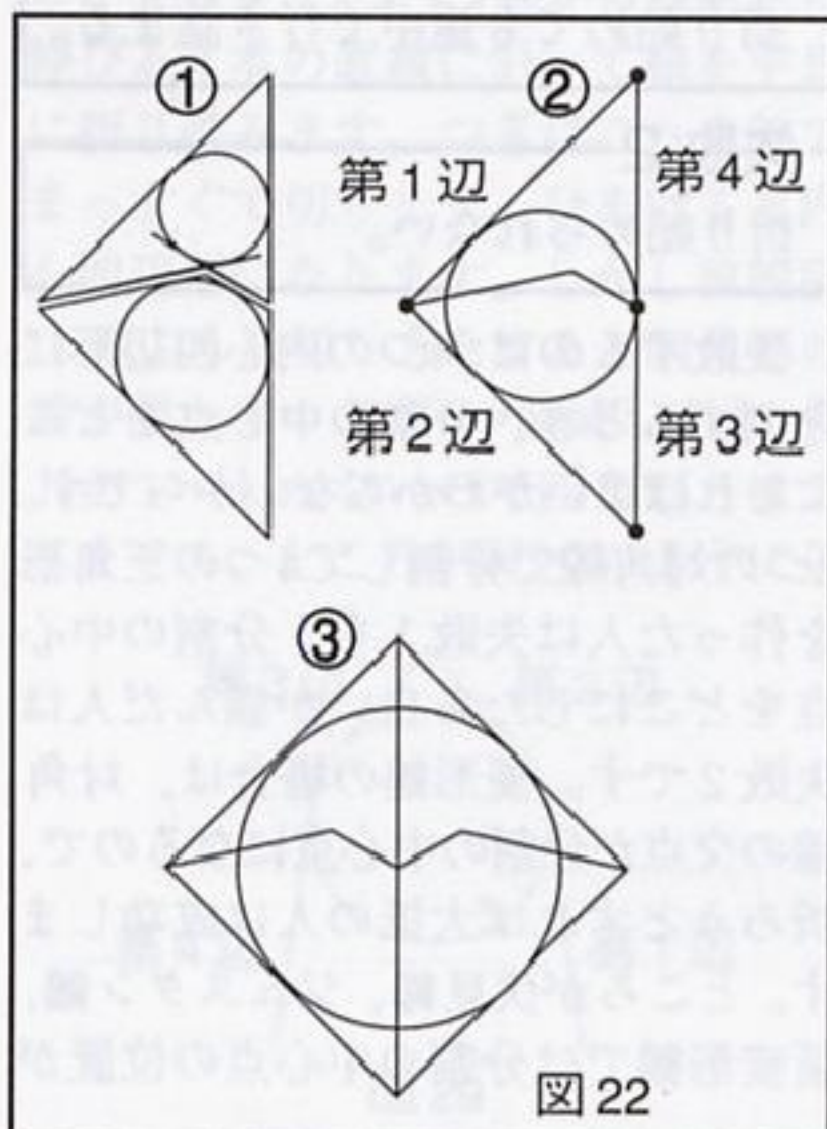


図22

新変形鶴

図23は、前川鶴で行なった2段階の貼り合わせを一般化したものです。

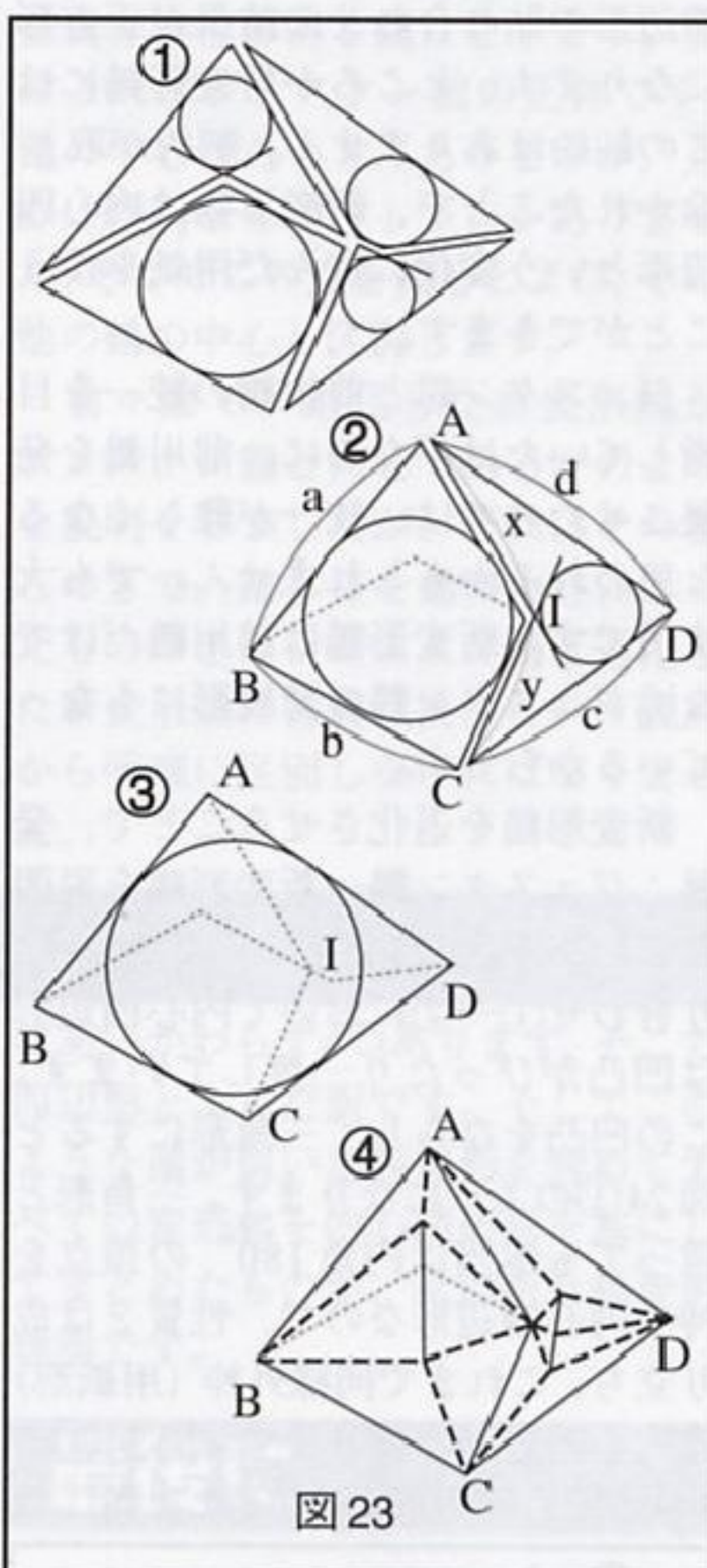


図23

性質2より②③の四角形はみな内心四辺形です。④は①の各内心四辺形を角二等分折りするときの折り線図です。内心四辺形は角二等分折りにより、その縁が一直線上に重なります。これは、これまでに登場した変形鶴の基本形に共通する性質です。こうして新しい変形鶴の基本形が得られます。この変形鶴を、本稿では便宜的に、新変形鶴とよぶことにします。

前川鶴を構成する内心四辺形には厳しい制約:「上下の貼り合わせで直角二等辺三角形になる」がついていました。この制約のおかげで、4内心四辺形の貼り合わせの結果が正方形になります。ところが新変形鶴にはこの制約はありません。制約が取り除かれたことで、新変形鶴は内心四辺形という変化に富んだ用紙を使うことができます。

ジュスタン鶴と前川鶴の統一を目指していたはずなのに、前川鶴を発展させたのでは、統一が難しくなると思われるかもしれません。でも大丈夫です。新変形鶴は前川鶴だけでなくジュスタン鶴の発展形にもなっているからです。

新変形鶴を退化させることで、発展:ジュスタン鶴→新変形鶴を説明しましょう。図23を見てください。貼り合わせ①→②において内心四辺形は凹凸がぴったり一致しています。この凹凸をならして三角形にすると図24①のようになります。三角形と言っても本当は内角 180° の頂点を持つ内心四辺形なので、性質2は成り立ち、これまで同様外枠(用紙形)は内心四辺形になります。図24①の4つの内心四辺形(三角形)を角二等

分りすると②になりますが、この構造はジュスタン鶴(図25)と同じです。こうして新変形鶴を構成する4つの内心四辺形がたまたま三角形になった場合がジュスタン鶴だということが分かります。



図25

鶴の中心

統一に成功しました。これでおしまいにしたいところですが、実は肝心な事が分かっていません。新変形鶴は内心四辺形の紙で折ります。ところが実際に内心四辺形の紙を手にして、新変形鶴を折ろうとすると、まず間違いなく失敗します。

失敗1

折り始めても途中で行き詰まる。

失敗2

折り始められない。

失敗するのは、4つの内心四辺形に分割するとき、分割の中心点をどこにとればよいかわからないからです。2つの対角線で分割して4つの三角形を作った人は失敗1を、分割の中心点をどこにしたら良いか悩んだ人は失敗2です。菱形鶴の場合は、対角線の交点が分割の中心点になるので、折ろうとすれば大抵の人は成功します。ところが伏見鶴、ジュスタン鶴、新変形鶴では分割の中心点の位置が

わからないため失敗します。そこで分割の中心点(ここから先、鶴の中心とよびます)の求め方を説明しましょう。

図23を③②の順に見てください。点Iが鶴の中心です。②の2つの四角形は内心四辺形です。性質1より、 $b+x=a+y$ かつ $x+c=y+d$ となります。書き換えると $x-y=a-b(=d-c)$ となります。この式を x と y に関する方程式と見ると、解は x と y の差が一定値 $a-b$ であるような x, y の組み合わせです。例を挙げましょう。図26①は内心四辺形($a=11, b=14, c=19, d=16, a+c=30, b+d=30$ つまり性質1が成り立っています)です。方程式は $x-y=-3$ となり、例えば $x=8, y=11$ は解です。この値をコンパスでとると(図26①)、鶴の中

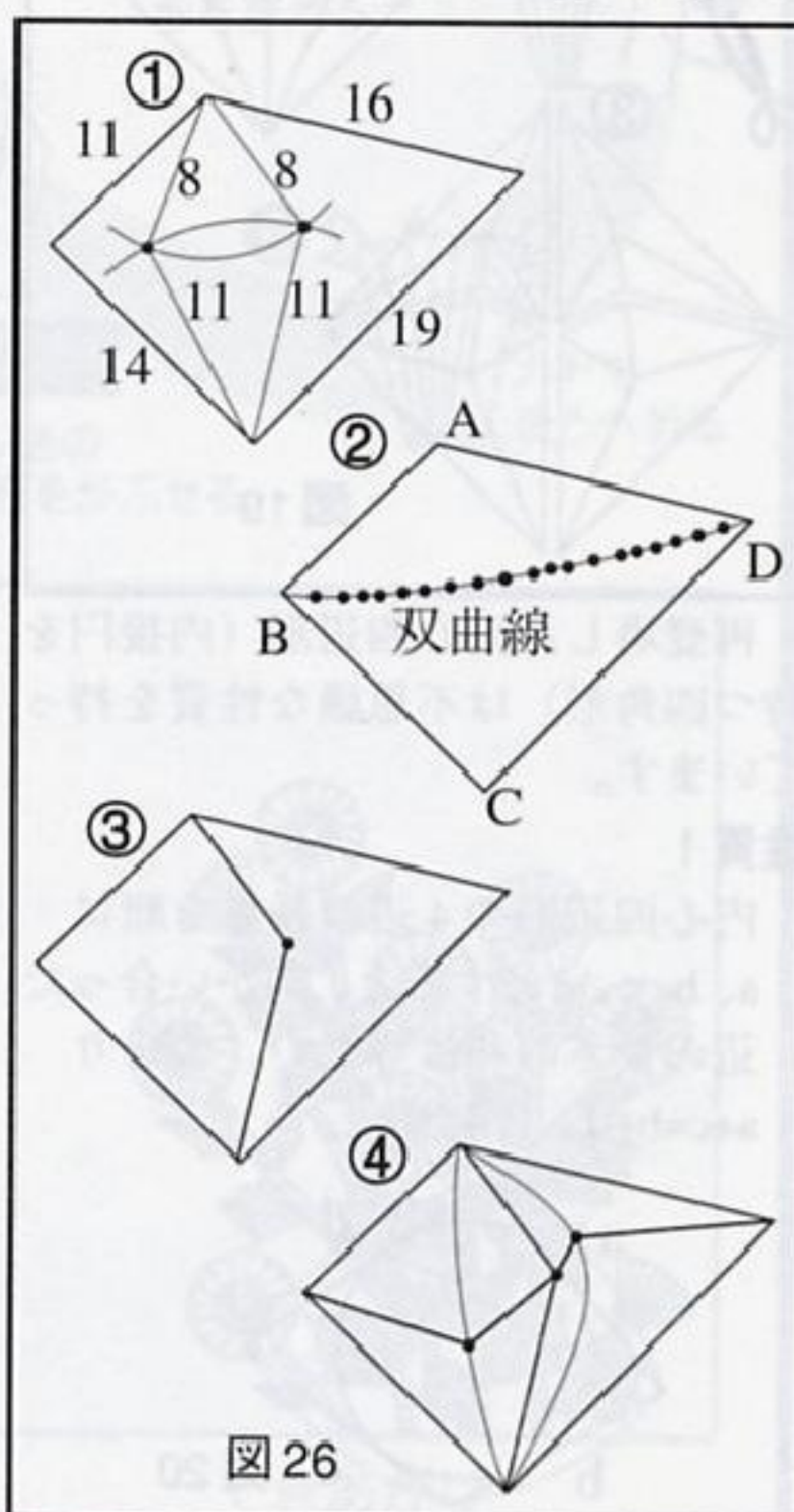


図26

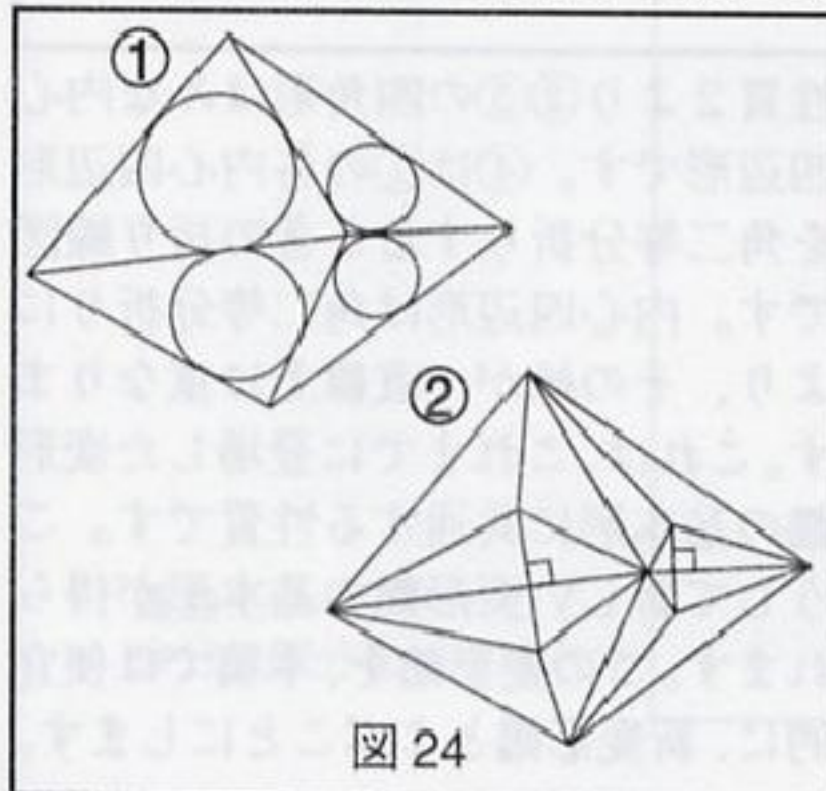


図24

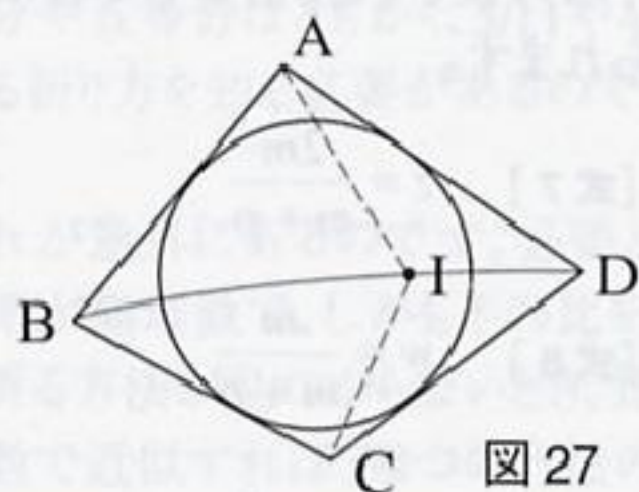
○川崎敏和＝1955年11月26日生まれ。九州大学理学部数学科卒業。専門は代数的整数論。博士課程2年より研究テーマを折り紙の幾何学に変更。佐世保工業高等専門学校基礎専門科目助教授。



心Iが作図できます。yの値がxより3大きければ解になるので、 $x=12$ 、 $y=15$ も解です。この値に対しても同様の作業をすると、別の鶴の中心が求まります。この作業を繰り返すと、図26②のような曲線が現われます。この曲線は点Bと点Dを通る双曲線で、点Aと点Cを焦点に持ちます(証明は高校1年の数学を必要とするので省略)。この双曲線上好きな所に点Iをとり、図26③のように2頂点と線分で結びます。この分割でできた2つの四角形はもちろん内心四辺形です。これらの内心四辺形に④のような双曲線を描いてもう一度分割します。こうしてできた4つの内心四辺形を角二等分折りすると新変形鶴になります。なお第2段階の分割を対角線を引いて行なうと、退化した新変形鶴になります。

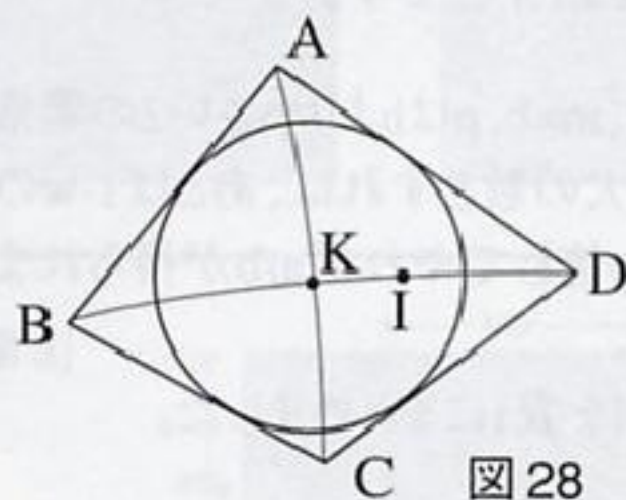
鶴心

伝承鶴は正方形で折ります。正方形には4つのカドがあり、どのカドも翼にすることができます。ところが新変形鶴では、例えば図27を元に



作った新変形鶴(図23④)では、カドA、Cは首と脚(尾)に、カドB、Dは翼にしなくてはなりません。カドA、Cを翼にすることはできません。この特性は前川鶴に始まり以後

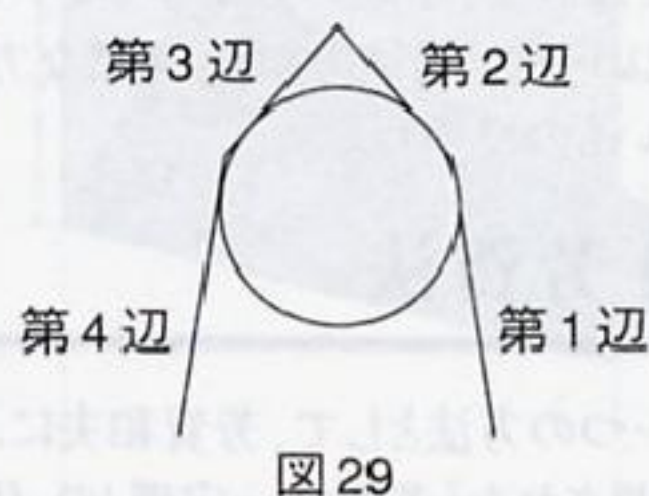
の変形鶴に受け継がれています。ところが菱形鶴→伏見鶴→ジュスタン鶴では、伝承鶴同様首と翼の交換が可能です(この性質を首翼互換性とよびます)。内心四辺形でも4頂点を対等に取り扱えば首翼互換性が生まれるはずで、図28はこれを実行したもので、双曲線を1つ描き加えまし



た。2双曲線の交点Kに着目します。点Kを双曲線BD上にあると解釈する

さらなる発展

四角形と言わないで四辺形と言ってきた理由を説明するのを忘れていました。内心四辺形は簡単に作ることができます。まず1点から放射状に伸びる4本の直線に沿って紙を平坦に折り畳みます。つぎにこれを鋏でまっすぐで切ります。ひろげると内心四辺形になります。しかし前編図11のような切り方をすると四角形の端が開いてカドが1つ消滅します。カドが3つしかないので四角形とはよべません。ところが図29のように辺



とカドB、Dが翼になります。双曲線AC上にあると解釈するとカドA、Cが翼になります。そこで点Kと4頂点を結んで4つの三角形に分割すると首翼互換性のある鶴になります。実はこれがジュスタン鶴の正体です。鶴の中心はたくさんありますが、点Kは特別なもので1つしかありません。そこでこの点を鶴心とよび、その他の鶴の中心と区別します。

前々節で、退化した新変形鶴がジュスタン鶴と同じであるかのような説明をしましたが、それはその場しのぎで、鶴心Kを鶴の中心にとったものつまりジュスタン鶴と退化した新変形鶴は首翼互換性という観点から明確に区別しなければなりません。

はいかわらず4つあります。そこで四辺形とよんだ訳です。そしてこのような端が開いた四辺形を含めてすべての変形鶴を内心四辺形を基にしてまとめたものが、私の折り鶴変形理論です。

最後に

如何でしたか?終盤に方程式、双曲線などがでてきたので嫌になった方もいらっしゃるでしょう。先日笠原邦彦先生にお会いした時も「素人にもわかるように説明してください」と注文をつけられました。今回の解説では笠原先生から合格点をもえそうにありません。実際に折る作業を中心にした解説書を書かなければと思っています。

ラング博士 の 役に立つ 幾何学

"Folding Proportions" 「比を折る」

ROBERT J. LANG

翻訳／羽鳥公士郎

Rational Fractions ; part two

第三回 有理数を折る・その2

今回は、前回に引き続き、 a/b (a, b は整数) というかたちで表される有理数を折る方法を紹介しします。今回も二つの方法を紹介しします。

● 野間法

紙の内部に折り目をつけずに、紙の端に折り目をつけるだけで比を折るとしたら、どのような方法がありうるでしょうか。一つの辺の上だけで次々と折り目をつけていくとすれば、第一回で紹介した二進数法になります。

では、図1のように、隣り合う辺の上にある折り目を合わせて折ったら、どうなるでしょうか。

図2のように各部分の長さを決めると、式1が成り立ちます。 x と y が簡単に折れるように、式2のように定義します。ここで、 p は2の累乗であり、 m と n は $2p$ 以下の整数です。すると、式3が成り立ちます。このままでは使いにくいので、 $m+n=2p$ 、すなわち、 $1-y=x$ という条件をつけましょう。すると、式4が導けます。

$$[式1] \quad w = \frac{x^2 - y^2}{2x}$$

$$[式2] \quad x \equiv \frac{m}{2p}, y \equiv \frac{n}{2p}$$

$$[式3] \quad w = \frac{m^2 - n^2}{4mp} = \frac{(m-n)(m+n)}{4mp}$$

$$[式4] \quad 1 - w = \frac{p}{m}$$

そこで、 $m=b, p$ は b より小さい2の累乗のうち最大の数とすれば、あとは $1-w$ の長さを a/p 倍してやれば a/b が得られます(図3)。

具体例を表1にまとめました。

[表1]

a/b	$1-a/b$	p	m	$m/2p$	p/m	a/p	N
1/3	2/3	2	3	3/4	2/3	1/2	6
1/5	4/5	4	5	5/8	4/5	1/4	9
1/6	5/6	4	6	3/4	2/3	1/4	7
1/7	6/7	4	7	7/8	4/7	1/4	9
2/7	5/7	4	7	7/8	4/7	1/2	8
3/7	4/7	4	7	7/8	4/7	3/4	9
1/9	8/9	8	9	9/16	8/9	1/8	12
2/9	7/9	8	9	9/16	8/9	1/4	11
4/9	5/9	8	9	9/16	8/9	1/2	10
1/10	9/10	8	10	5/8	4/5	1/8	10
3/10	7/10	8	10	5/8	4/5	3/8	10

野間法を使えば、紙の内部に折り目をつけずに、すべての1より小さい有理数を折ることができます。しかし、二進数法を三回(二つの辺の上で一回ずつ、そして最後にもう一回)適用しなければなりませんので、手順の数が多くなってしまふという欠点があります。完璧な方法はないものですね。

● 芳賀法

もう一つの方法として、芳賀和夫によって発見された「芳賀第一定理」の、伏見

康治による変形を紹介しましょう。この方法で辺を五等分するには、図4のように折ります。

芳賀第一定理の一般的な形式は図5のようなものです。まず、ピタゴラスの定理から、式5が導けます。そして、上の2つの三角形が相似であることから、 z の値が式6のように求まります。

$$[式5] \quad y = \frac{1-x^2}{2}$$

$$[式6] \quad z = \frac{x}{y}(1-x) = \frac{2x}{1+x}$$

今までと同じように、 $x=m/p$ (p は2の累乗、 m は p 以下の整数)としましょう。すると、式7が成り立ちます。

さて、図6のように折ると、 w について式8のような関係が成り立ちますので、扱いやすくなります。 p を b より小さい2の累乗のうち最大の数として、 $m=b-p$ とすると、式9が成り立ちます。あとは先程と同じように、 $1-w$ の長さを a/p 倍してやれば a/b が得られます。

$$[式7] \quad z = \frac{2m}{m+p}$$

$$[式8] \quad w = \frac{m}{m+p}$$

$$[式9] \quad 1-w = \frac{p}{b}$$

芳賀法では一度だけ斜めに折りますが、そのときに折り目をつける必要がないということに注意してください。必要なのは辺と辺の交点ですから、そこだけを

◆ロバート J. ラング=Robert J. Lang アメリカ合衆国オハイオ州生まれ。

6才から折り紙をはじめ、折り紙歴は32年。これまでに6冊の著書とCD-ROMを出版する。

代表作の一つ"Black Forest Cuckoo Clock"はテレビ番組「なるほど・ザ・ワールド」で紹介された。

不切正正方一枚の昆虫などを得意とするが、近年は折り紙の数学に興味をよせている。

レーザー装置を製作するSDL社の副社長も勤める。カリフォルニア州ブリザントン在住。



＜前号の訂正＞

p.14●実用例の文中の太字部分、「 $m=a$ 、 $n=b-a$ 、 p は a 以上かつ $b-a$ 以上の2の乗数のうち最小の数」は正しくは、●対角線交差法の変形中の最後の文「 $y=a/b$ とするには、 p 、 m 、 n の値を次のようにします」の後に入ります。訂正してお詫び申し上げます。(編集部)

押さえておけばよいのです。また、野間法に比べて、手順が少なくてすみませす(表2)。

【表2】

a/b	$1-a/b$	p	m	m/p	p/b	a/p	N
1/3	2/3	2	1	1/2	2/3	1/2	3
1/5	4/5	4	1	1/4	4/5	1/4	5
1/6	5/6	4	2	1/2	4/6	1/4	4
1/7	6/7	4	3	3/4	4/7	1/4	5
2/7	5/7	4	3	3/4	4/7	1/2	4
3/7	4/7	4	3	3/4	4/7	3/4	5
1/9	8/9	8	1	1/8	8/9	1/8	7
2/9	7/9	8	1	1/8	8/9	1/4	6
4/9	5/9	8	1	1/8	8/9	1/2	5
1/10	9/10	8	2	1/4	8/10	1/8	6
3/10	7/10	8	2	1/4	8/10	3/8	6

● 次回の予告

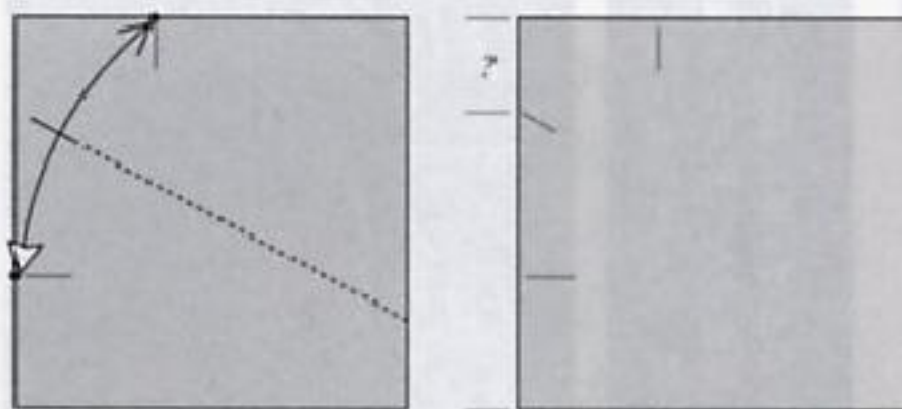
前回と今回とで、有理数を折るための方法を四つ紹介しました。ここで、次のような疑問が生じるかもしれません。三等分や五等分はともかく、5/11や4/17を折る折り方を知る必要があるのでしょうか。

それが意外にあるのです。必要とする比率が無理数で、しかもその比を正確に折る方法が見つからないとき、比を有理数で近似すれば、四つの方法のどれかで折ることができます。

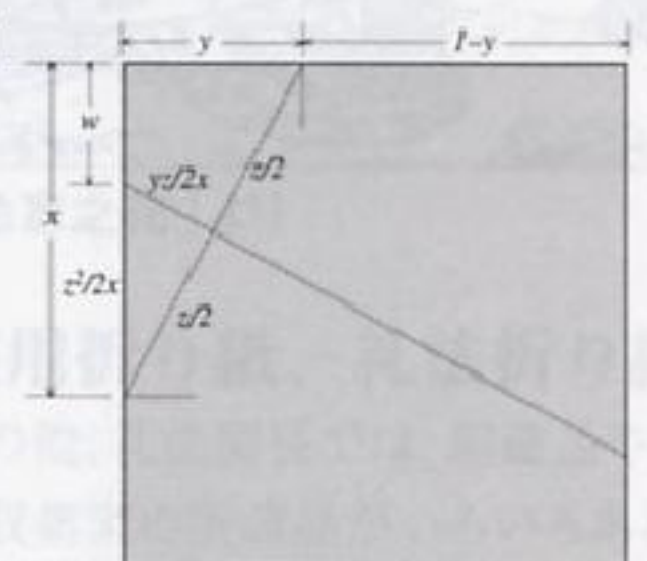
では、無理数を有理数で近似するにはどうしたらよいのでしょうか。それが次回のテーマです。

次回は数論と呼ばれる分野に深く分け入り、連分数という珍獣と出会います。

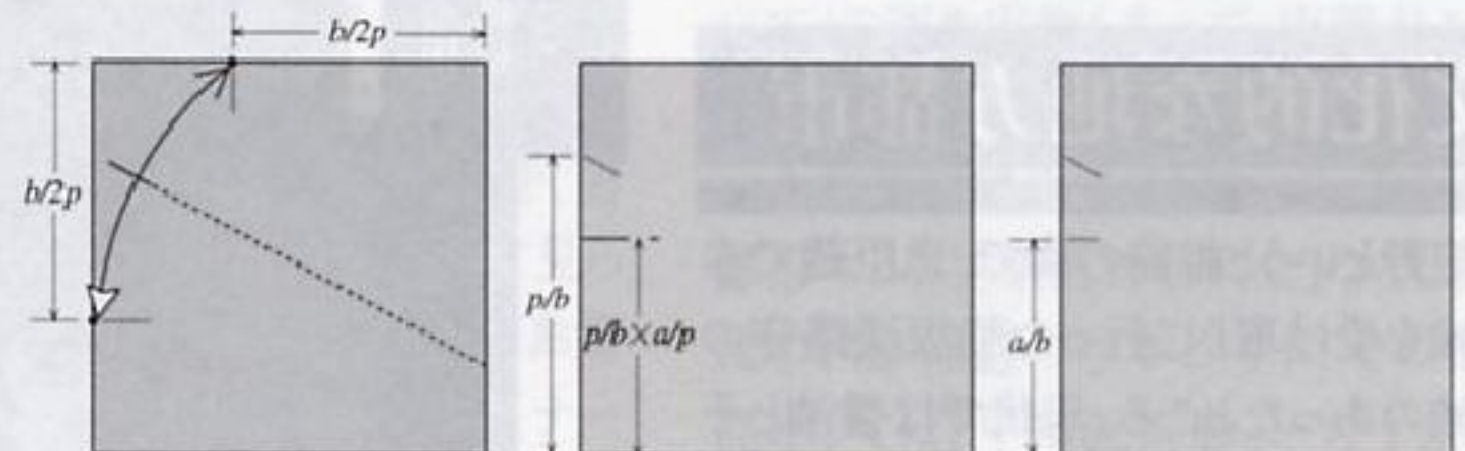
【図1】



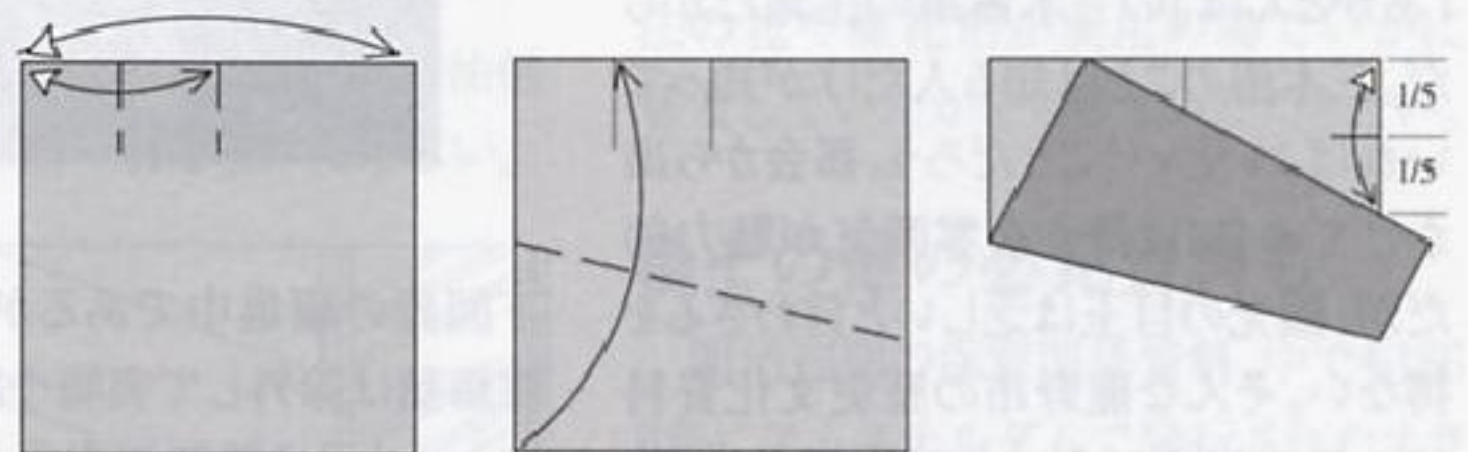
【図2】



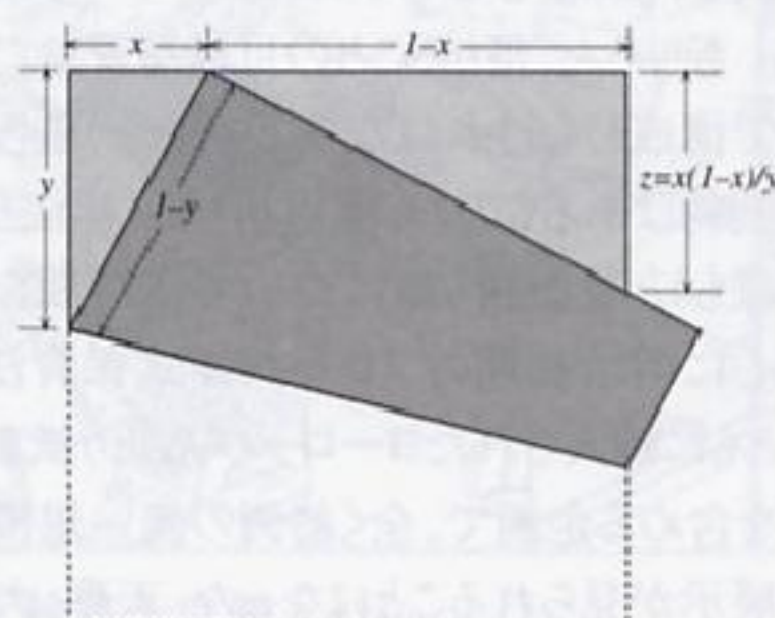
【図3】



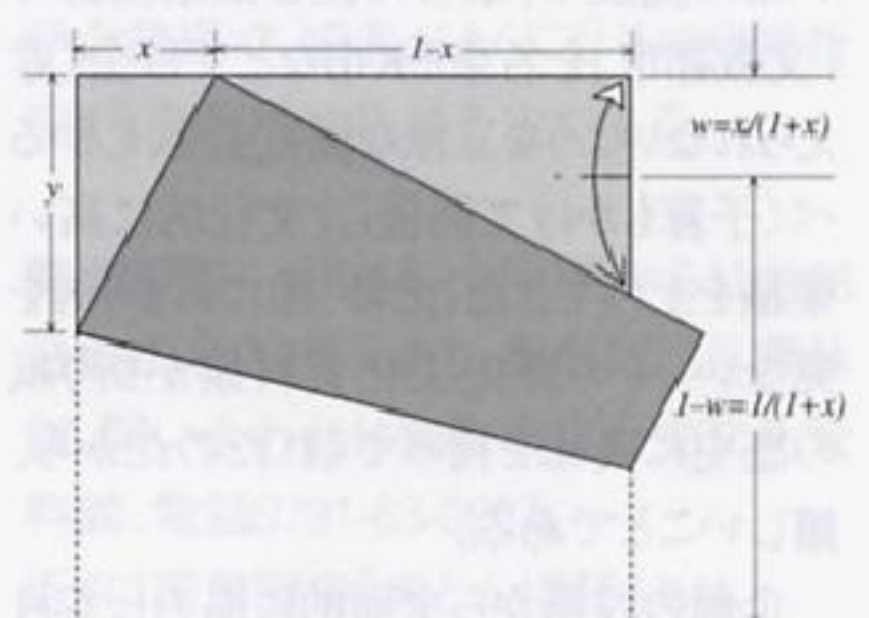
【図4】



【図5】



【図6】



A BRIEF HISTORY OF PAPERFOLDING IN JAPAN

"The History of Origami" is exhibited at Tatsuno City Museum of History and Culture

Okamura Masao

第三回

「折紙の歴史展」紹介

岡村昌夫

一九三四年東京生まれ 都立高校の国語教師を五年前に定年退職 折り紙以外の主な趣味は能・歌舞伎を観ること



下図録の編集集中であるが、文字だけの書籍類は除外して実物や絵画資料を並べたいという館側の意向もさることながら、写真パネルで場所を塞ぐようなことはしないという格調の高さというか、見識の高さには感心させられた。

もちろん、借りることの可能な資料だけで構成しなければならないという厳しい制約はあるものの、実用折り紙(礼法折り紙も)と遊戯折り紙について江戸期を中心に明治初期のフレーベル式保育法とともに輸入されたヨーロッパ系折り紙までを含める企画で、全く前例の無い規模の展示が見られることになった。天理、大阪

II 連載・岡村研究 II

日本の折り紙史を 読む - 特別編 -

府立図書館、神戸市博、江戸東京博、お茶の水女子大、関西大、高木盆栽美術館、くもん子ども研究所、個人では高木智氏、アン・ヘリング氏等々から出品される名品揃いである。

超貴重な資料出品

先ず驚いたことに、国宝が出陳されるのだ。足利義満のとき(1390年)に奉納された熊野速玉大社の古神宝の中の「紅帖紙」が大小各1点、現存最古の「たとうがみ」である。これは「折り紙」と言うには単純なものだが、そのルーツの一つには違いない。もう少し折り紙的に発展した「たとうがみ」の出でくる『七十一番職人歌合』(1500年成立)は、最古最善の写本の前田育徳会本である。後水尾院が写させて加賀前田家に賜った由緒正しい貴重な巻き物で色彩が美しい。宮内庁書陵部の『野宮定基日記』は未だ翻刻されたこともない珍しい資料で、元禄時代のお公家さんの日記から中に艶書を入れたという複雑な香包みの折り方を図解している部分が展示される。京都

文化的な地方都市

龍野というと姫路の隣で、忠臣蔵で赤穂城を受け取りに行った脇坂淡路守の居城のあったところ、現代では醤油とそうめんの産地で有名だが、市の観光用キャッチフレーズは「童謡の里」である。「あかとんぼ」の三木露風の生地だからだ。三木清のことは知る人だけが知っていればよいということだろう。都会から出かけてゆくには静かな雰囲気の魅力だが、観光の目玉は乏しいと言わざるを得ない。そんな龍野市の歴史文化資料館の設立以来10年の地道な活動は、時には目を見はらせるものがあった。失礼ながら予算がふんだんにあるとも思えない市の施設で、筆者の住む東京西部の「文教都市」を名乗るK市などでは全く考えられないような立派な展覧会を、しかるべく予算もかけて開催し、文化的に高い業績を上げてきたことは、他にあまり例を見ない。その歴史文化資料館が折り紙の歴史に興味を持ってくれたのだから、嬉しいことである。

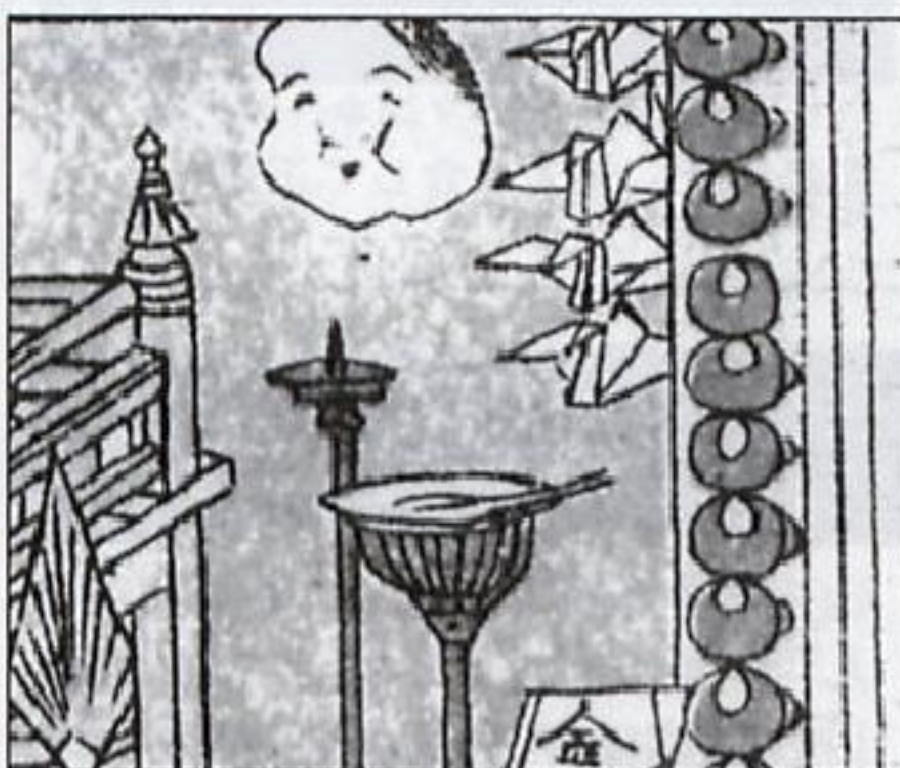
企画の段階から全面的に協力して目

府立総合資料館から借り出す花包みの裾模様がある振袖(江戸後期)も、目の覚めるような美しさで印象に残るものとなるだろう。

●古典折り紙三大資料も

『秘伝千羽鶴折形』は吉徳資料室本(初版本)と旧兎玉本(求版本)の二種、『折形手本忠臣蔵』は色刷り異版本(筆者蔵)と明治版(吉徳蔵)の2種と『別本』(筆者蔵)を。大阪朝日新聞社の『かや草』も、貸してくれることになった。

以上を遊戯折り紙の古典三大資料と呼ぶのがいつから始まったことか知らないが、殆ど他の資料が知られていなかった頃のことである。現在なら、高木智氏蔵の『森脇家資料』を付け加えるべきで、今回はその全貌が明らかになる。他にも



■「絵本時世粧」より

●折り紙種々相

流され、飛ばされ、衣装の模様にされる折り鶴の数々。舟や薦僧や三方などを折って遊ぶ人たち。女性には嗜みとされる折り紙が、早い段階で男児にとって好ましかるものとされてしまい、それでも折って遊ぶ男の子は絶えなかった。そんな状況を各種の絵本や浮世絵などを通してじっくりと見る事が出来るのも今回の目玉の一つである。

『けいせい折居鶴』、『絵本常盤草』、『欄間図式』などの著名資料、『撰陽奇観』の「福助折形工夫の伝」(写本)や「天神さま・お姫様折形の伝」などの展開図付き刷り物や、歌麿の「見立て宝舟」その他の浮世絵類、中でも前号で紹介した豊国(国貞)晩年の傑作「今様三十二相

高木氏のコレクションからは大量にお借りすることになった。筆者が今回参画する気になったのも、このコレクションを頼りにしたからであることは言うまでもない。

●特別コーナー

例えばつぎのようなコーナーが設けられる。

まず、「吉原の千羽鶴」である。前号で紹介した礪川浮世絵美術館の「北国五色墨」の他に、清長の「新吉原丁子屋」、豊国の「絵本時世粧」と「昔語紫色拳」、北溪の「北里十二時」、さらに北斎の五枚続きも並ぶのである。もちろん全部本物で写真などではないのだ。よく集められたものだと思う。

次に、『修紫田舎源氏』の表紙で有名な国貞の絵と同じ構図や類似したものを各種並べることになっている。これらは、少女が鶴に息を吹き込んだ瞬間を男に見られてどんな反応を示すかという視点で国貞が描き分けようとしたのだと思う。「折鶴はけつの穴から活ツを入れ」という川柳のような下品な連想はともかくとして、頬をふくらませて吹くお多福顔を、間もなく恋人になろうとしている男性に見られたらどんな表情をするか、現代のお嬢さんがたにもよく見てもらいたいコーナーである。

逢いた相」は必見であろう。西川祐信の「西川筆の海」一冊も極めて珍しい。



■「絵本十寸鏡」より



■「春色恵之花」より

●実用折り紙、礼法折り紙

その他、礼法関係では、館蔵品や地元の収集家の所蔵品がいろいろある。正式の料理の盛り付けに使用される「甲立て」の図や実物もあって、実態がよく分かると思う。

小笠原流関係では、高木氏蔵の古い雛形や「小笠原流折形大全」など、伊勢流の『包の記』の写本と刊本、その他珍品としては「甲州流折形、一百十形」など。『女重宝記』や『女諸礼集大全』その他、数多くの女性用実用書の類では、礼法の包や蝶花形が実用の場でいかに普及していたかを知っていただきたい。

●その他の必見資料も

明治初期の保育関係資料、中でも1863年にアムステルダムで発行されたオランダ語のフレーベル関係の折り紙書は初公開だが、「糸入れ」や「紙鉄砲」などアツというものが出てくるのだ。日本折紙学会後援で、読者がよくご存じの複雑折り紙も看板用に並ぶ予定である。

開催期間 1999年10月9日から11月28日まで。陳列替えあり。原則的に月曜休館。問い合わせは龍野市立歴史文化資料館、電話0791-63-0907。

近くに国民宿舎「赤とんぼ荘」あり。

前川 淳の

折紙散歩

第三回

東京近郊折鶴
飲食店編 ①~ Orizuru Restaurants in
the Suburbs of Tokyo ~

これを書いているのは8月。
わたしの夏休みは、コンベン
ションの期間だけです。一方、
阪神タイガースは7月に夏休
みに入りました。



筆者紹介＝東京生まれ。折り紙創作・研
究家。折鶴モノコレクター。「一足めの
わらじ」は科学技術計算。阪神タイガ
ースの熱狂的なファン。

These pages "Origami Sampo" (Origami Walk) show "origami in the streets"
and travel notes about origami.

In this issue, I introduce some restaurants whose names include "Orizuru"
(paper crane).

折鶴を見た

ある日某所で、階段の下り口にある
案内看板にドキリとした。目をこらすと、
そこには下向きの矢印が描いてあっ
た。なぜこんなものに？ 聞いて呆れる
な。わたしの目には、それが一瞬「正面
からみた折鶴」に見えたのである。折鶴
柄の手拭いから桑名市(注)のマン
ホールの蓋まで、折鶴物のコレクターと
なって幾春秋、ついにわたしは、矢印を
折鶴と見誤るまでになった。このような
道に入り込むと、生活にも少なからず影
響が出る。「今日は美味しいものでも食
べよう」と訪れる飲食店も、吉祥寺の「う
どん・おりづる」や、中野の「居酒屋おり

づる」になったりする。これはもはや、「折
鶴の呪い」と言うべきだ。今回は、そんな
わたしが訪れた「折鶴の店」から三店を
紹介しよう。



三重県桑名市のマンホールの蓋
同じ物を、知人を介して正規のルート
(?)で購入した。

吉祥寺の妹背山

吉祥寺(東京都三鷹市)の駅ビルは、
その名をLONLONという。パンダかトキ
の名のようなこの駅ビルに、「うどん・おり
づる」がある。店構えは立ち食いといっ
た趣だが、なかなかどうして本格的なう
どんを饗する店だ。しかし、注目すべき
は味よりもショーケースである(店のひと
ごめん) そこには、ご想像のように、ロ
ウ細工のうどんと並んで、折鶴が飾られ
ている。

街を歩いていて、ショーケースに折り
紙が飾られているのを発見することは
少なくない。それは、浅草の「折り人」こと

山田純さんが店長をする国際通りのも
んじゃ焼き店「なんじゃもんじゃ」など、
「折り紙関係者」の店には限らない。正
月期の折鶴のディスプレイは言わずも
がな、「蘭部式ユニット」(注)の十二枚
組などは、普通の店でもよく見かける。
普通の店? それじゃあなにかい、山田
さんの店は普通じゃないのかい? 正
直言って普通ではない。一度行ってみ
るとよい。普通でないと言え、桑名市
もさりげなく普通ではない。同市内を散
策すると、「千羽鶴折形」の上級作品
「芙蓉」「つり船」などが飾ってある店を
複数発見することができる。

で、「うどん・おりづる」の
ショーケースには何があったのか。それは、写真でわ
かるように、ふたつの鶴が
羽を合わせた「妹背山」で
ある。「妹背山」自体は「千
羽鶴折形」でも初級の作品
である。場所が桑名市では
ないことを考えれば充分注
目に値するが、それだけで



吉祥寺 うどん・おりづるのショーケ
ースとレシート

折紙辞典

【桑名市】（くわなし）地名 三重県北部、伊勢湾に面する人口約10万の市。市内にある長圓寺は、現存する世界最古の遊戯折り紙の書物「秘傳千羽鶴折形」所収の折鶴の繋ぎ折りの考案者である僧・義道（魯縞庵）が住職をしていた寺。市は、折鶴の繋ぎ折りを「桑名の千羽鶴」として市の無形文化財に指定するほか、マンホールの蓋、歩道のタイル、東名阪自動車道の看板などに折鶴のデザインを使い、秋の「御台所祭り」では折鶴のお焚き上げを行う。隣接する菰野町にも、「恋結び折鶴伝説」なるものがある（詳細は折紙探偵団新聞47号参照）

【蘭部式ユニット】（そのべしきゅにっど）名詞 複数枚の組み合わせで立方体や星形の立体をつくるユニット折り紙の元祖。蘭部光伸氏の考案による。正式名称は「カラーボックス」。改めて記すと、ひとり暮らしの学生なんかを使う合板でできた整理用の箱（君の家にもひとつぐらいはないか？）と同じ名であることに気付く。ユニット折り紙という概念は、この作品を母体に、笠原邦彦氏によって生み出された。

はわざわざ指摘するほどのことではない。しかし、この妹背山、ただの妹背山ではない。折鶴の後部が扇状になっているのだ。それほど凝った技法ではないが、まったくのシロートの技とも言い切れない。「うどん・おりづる」侮り難し。うどんのコシもなかなかだ。

都庁を臨む折鶴

新宿の高層ビル街の一角に位置するNSビル。NSビルのNSは、野村証券の略だという。いくぶん拍子抜けのする命名のいわれだ。そのNSビルの三十階に、日本料理としゃぶしゃぶの店「折づる亭」がある。のれんに折鶴で遊ぶ童子の図、のれんをくぐって左にはのれんの絵のオリジナルと思われる額。他にも、照明の透かしや柱の金具に折鶴が使われるなど、見どころの多い店だ。そんなところを見て感心しているのはおのれだけじゃい、というツッコミが聞こえたような気もするが、それはまあ置こう。メニューの「折づるコース」は安くはないが、ランチタイムは千円余と手頃であ

る。地上三十階の眺望も素晴らしい。以上、店の回し者のような紹介になってしまった。

なお、この店のキャッシャーには、千野利男さんの「門飾りの鶴」が飾ってある。これは、実は・・・、わたしの父の手になるものだ。過日、家族で会食をした際に置いてきた。父は折り紙にまったく興味がなかったのだが、最近では、易しい作品を折りまくっている。息子としては、不思議な気分である。



新宿 折づる亭ののれん
折鶴を持って嬉しそうな童子はわたしの同類か？

寿司と折鶴

次は寿司。寿司屋で折り紙とくれば、何と言っても羽鳥昌男さん（江東区東向島 梅寿司）だ。細工寿司で鍛えた手わざ(?)が見せる折りの技術は当代随一ものである。創作をせずに、「折り」で折り紙界に名を馳せているのは彼だけだ。しかし、今回紹介するのは梅寿司ではない。渋谷から東急東横線で二十分、日吉駅（横浜市港北区）から徒歩五分の、その名も「鰯折鶴」なる店である。

まず、気になるのはショーケース。見ると、あるある、大きな千代紙でつくられた折鶴が糸でさがっている。店内にはそれよりさらに大きな折鶴。一メートル四方ぐらいの大きさの紙だろうか。のれんに

も折鶴の意匠。洗面所にも折鶴。折鶴を名乗るからには、こうでなければいけない。合格だ。「合格だ」って、店からすればなにに合格したのかわけがわからない。余計なお世話である。

余計なお世話ついでに言う、うどん・おりづるも折づる亭もそうだが、おてもとの袋に折鶴の意匠を使っていないことはたいへん残念であると言えよう。東京板橋の弁当店「つるや」、滋賀県大津市のそば店「つる屋」等を見習って欲しい。

上記三店以外にも店名に

「折鶴」「千羽鶴」を含む店は何軒かある。情報がありながらまだ訪れていない店も約十軒。「折鶴」を含まないまでも、上記のように「つる屋」といった屋号はかなり多いと思われる。かくして、折鶴を求める道は険しく、まだまだ続くのであった。



日吉 鰯折鶴ののれん
折鶴は記号化されている。下向きの矢印にも見える(?)

■今回の色紙百花は「野路菊(のじぎく)」(P.8)といって作者がお住まいの地方にだけ自生する花だそうです。県の花として知られていて、野菊とは違う種類である、とのこと。

■奇数角形も好評第三回目「十一角形箱」(P.4)。作品の魅力はもちろんのこと、人気の一つに作者の生活を綴ったエッセイがあります。海外での出来事や自然に囲まれた生活のちょっとしたエピソードが読者の心に心地よく染みていきます。

■第5回折紙探偵団コンベンション折り図集(好評発売中)に掲載されている作品から2点。まずは「Cobra(コブラ)」。今回のコンベンションの招待作家、David Derudas氏(イタリア)の作品。作品にも表れているように、繊細で素敵なひとでした。

もう一方の「死神」は実際のコンベンションの講習では顔の造形だけ教えられたとか。創作者自身から作品を教わることが出来るのもコンベンションの大きな魅力です。



「野路菊」作:田中具子(P.8)

Nojigiku (A Kind of Chrysanthemum) by Tanaka Tomoko (P.8)

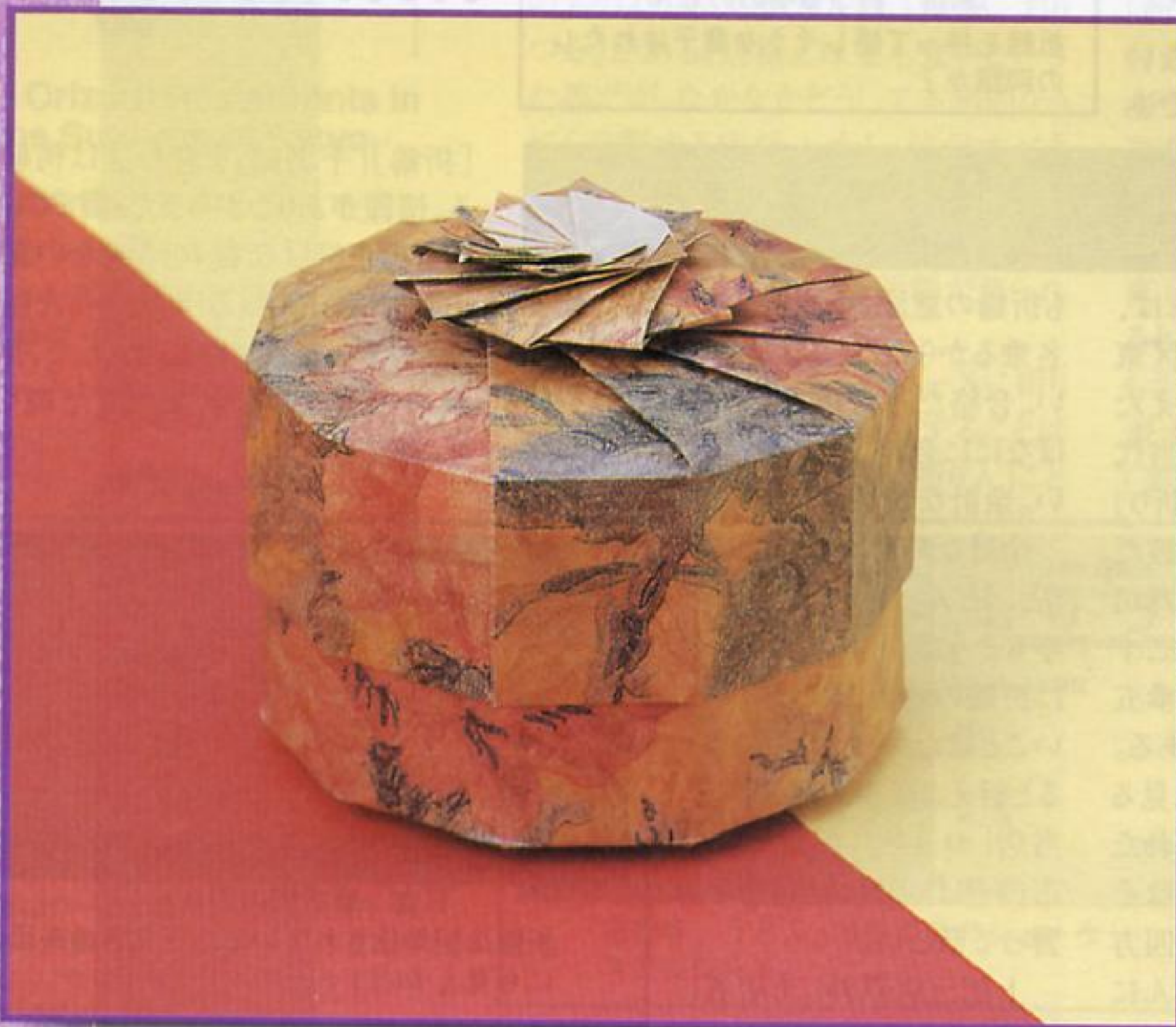
■白く小さな花が清楚さを感じさせる作品です。工程の最初にある細かい段折りを丁寧に折って下さい。

「十一角形箱(ねじり花)」

作:布施知子(P.4)

Lid of Undecagon Box
(Twisted Flower)
by Fuse Tomoko (P.4)

■奇数角形の第3弾、十一角形箱の登場です。回を重ねるごとに増える角。いったいどこまでいくのでしょうか?





「コブラ」

作: David Derudas
Cobra by David Derudas

※折り図は「第5回折紙探偵団
コンベンション折り図集」に掲載

■さすがに正方形からの折り出しではありません。1対34という長方形で折られていて、多少手間がかかりますが、造形の美しさは素晴らしいの一言。折り図は第5回コンベンション折り図集に掲載。



「死神」作: 宮島 登
Death by Miyajima Noboru

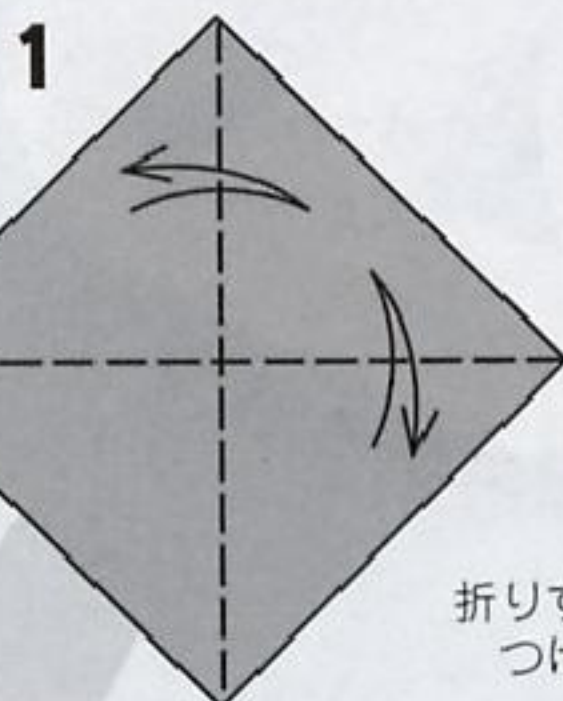
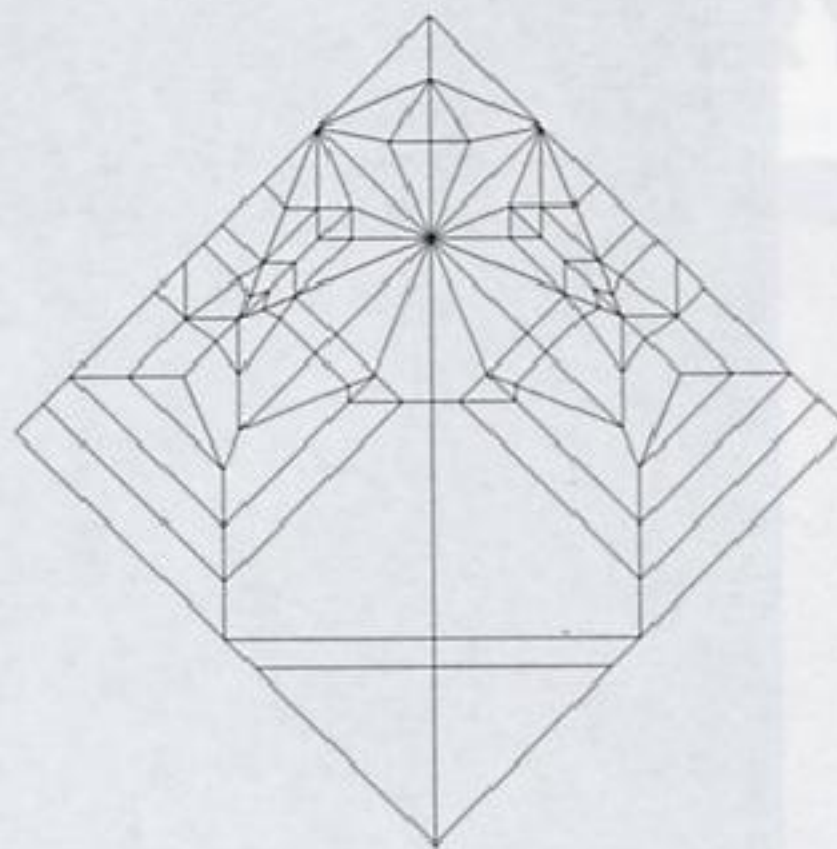
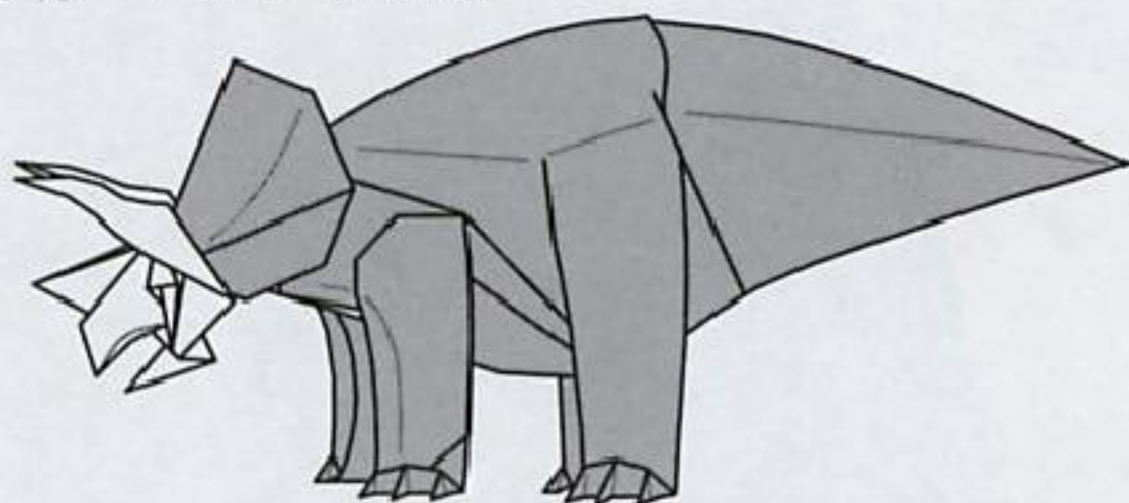
※折り図は「第5回折紙探偵団
コンベンション折り図集」に掲載

■独特の立体感を持つ作品。コンベンションは新作を披露する場でもあります。残念ながら手にある鎌の折り方は未発表。

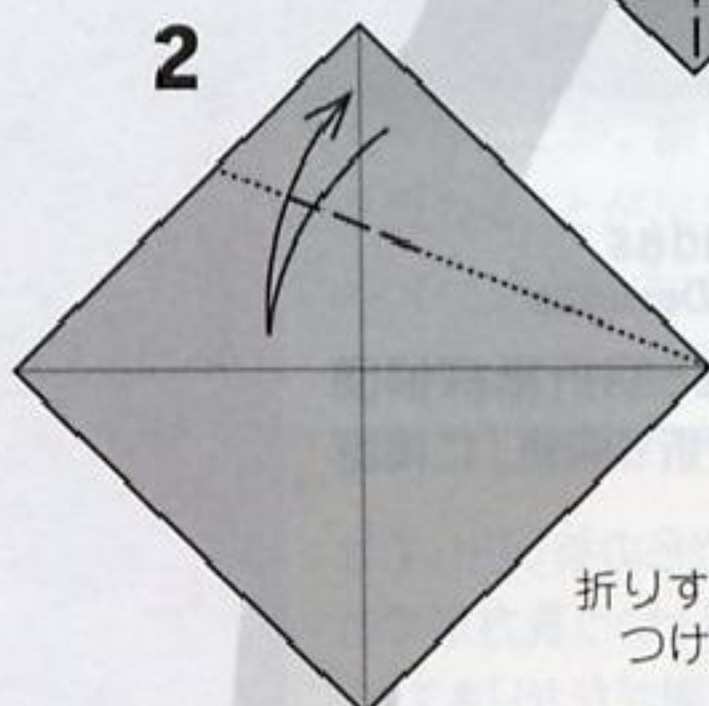
TRICERATOPS

Model & Diagrams by
Kawahata Fumiaki
川畑文昭 1999.7.8

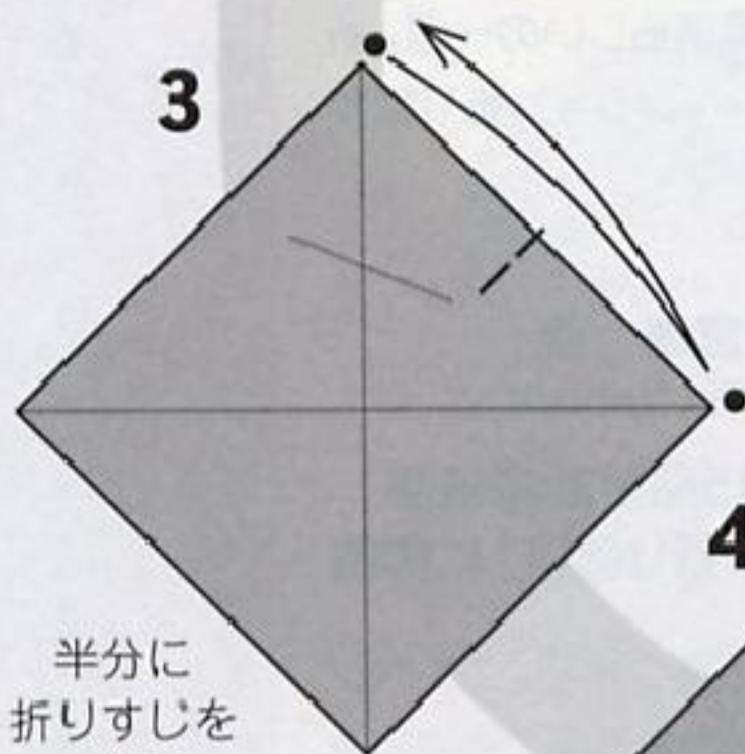
'99 model



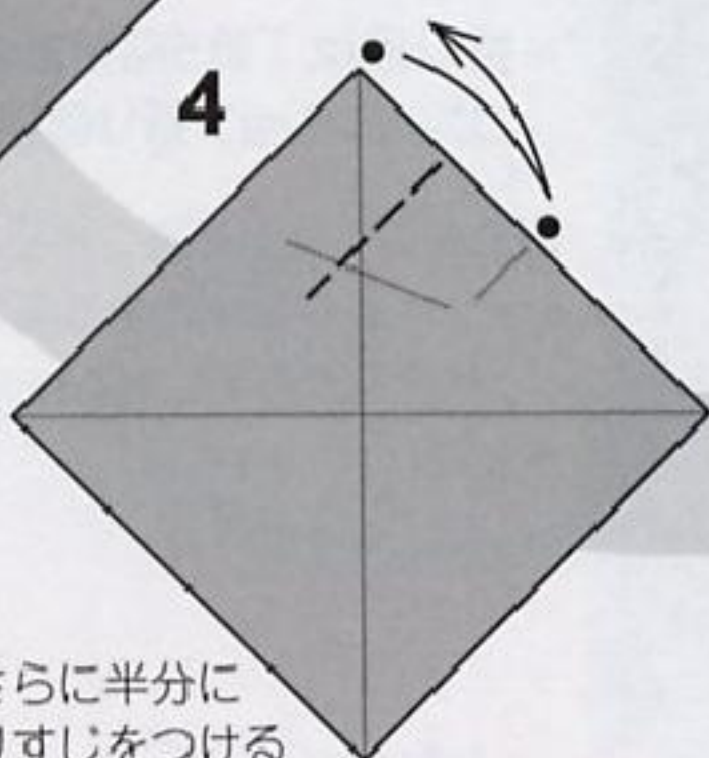
折りすじをつける



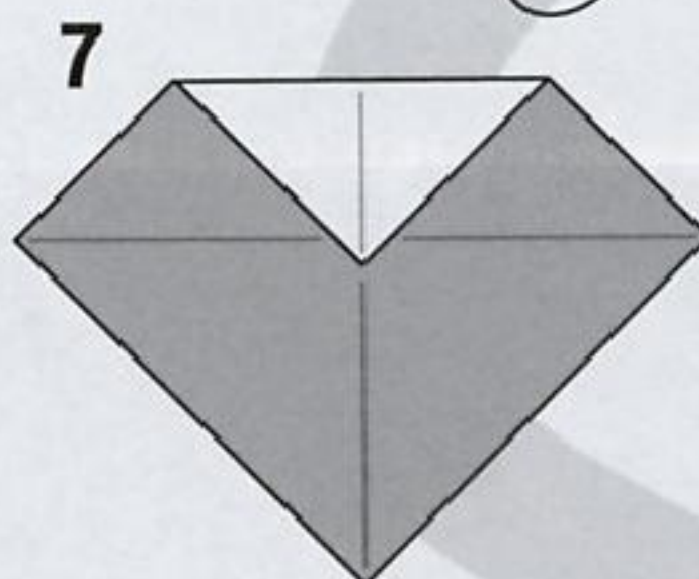
折りすじをつける



半分に
折りすじを
つける

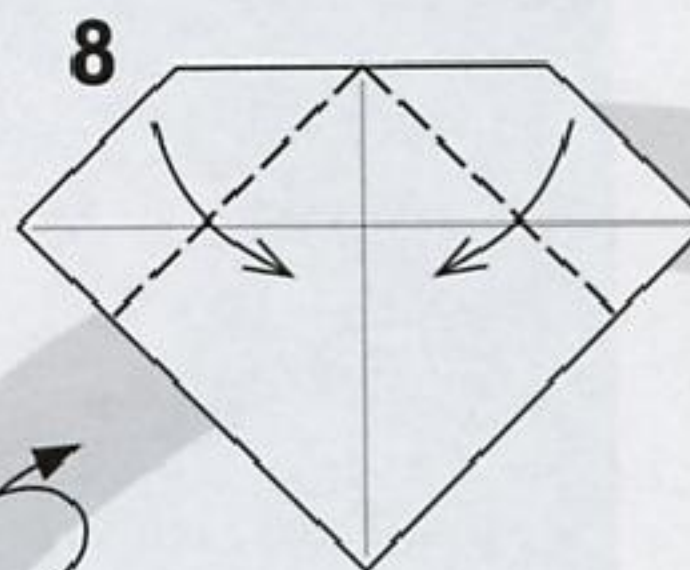


さらに半分に
折りすじをつける

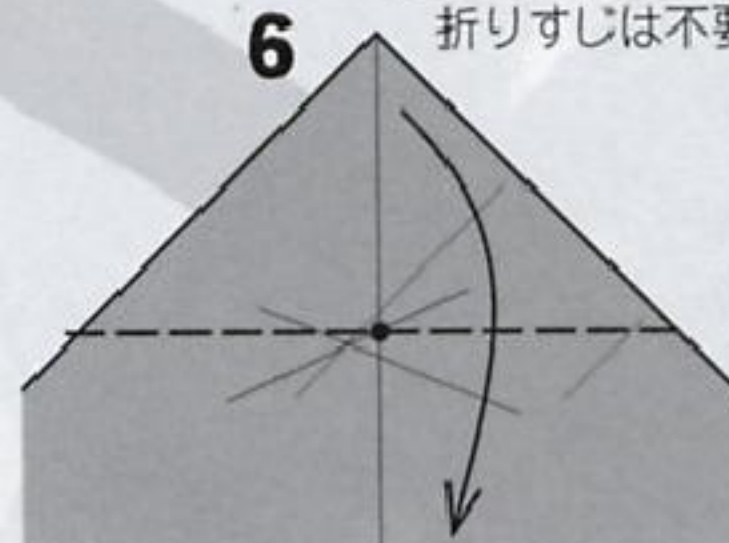


拡大図
折りすじの
交点を基準に折る

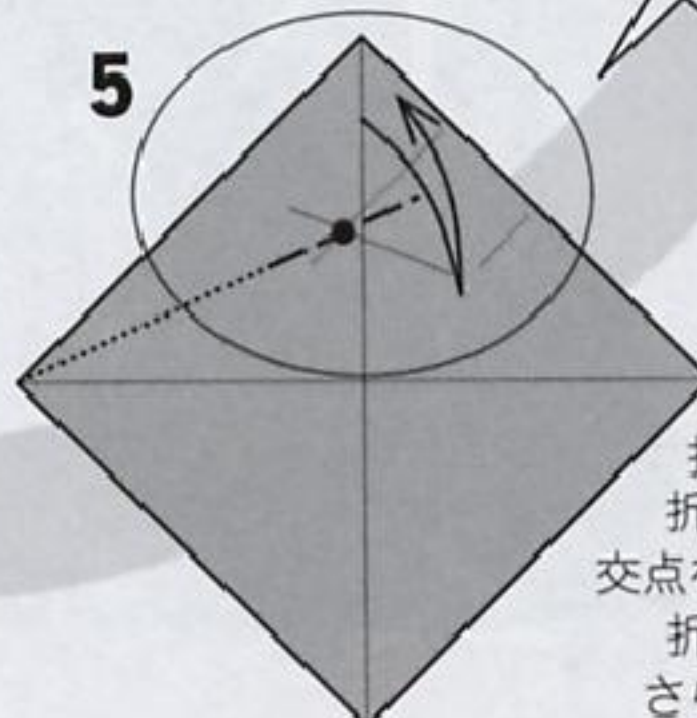
うらがえす



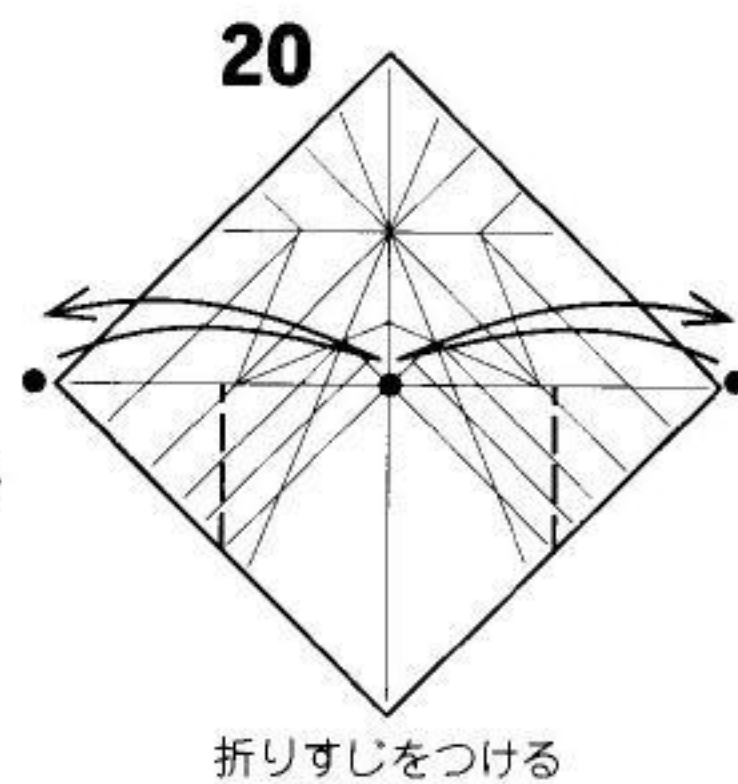
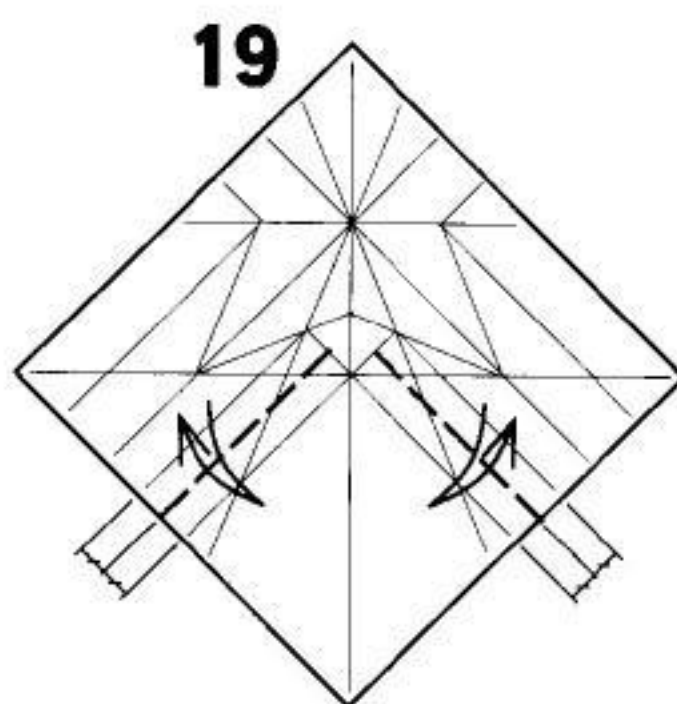
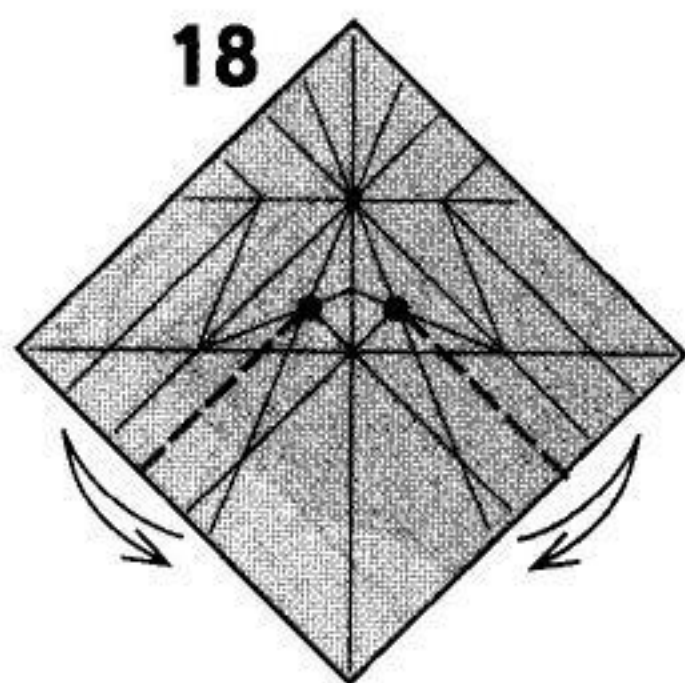
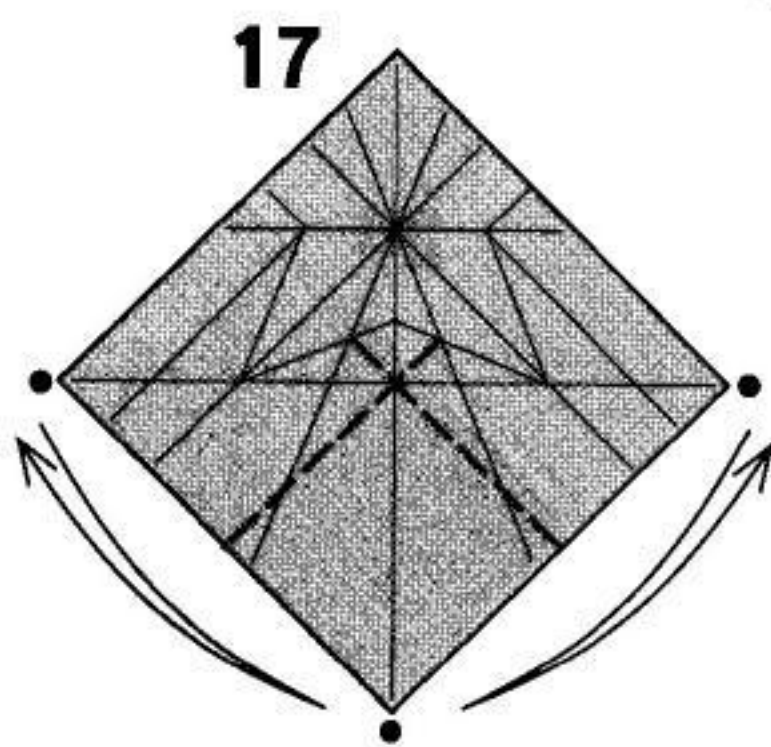
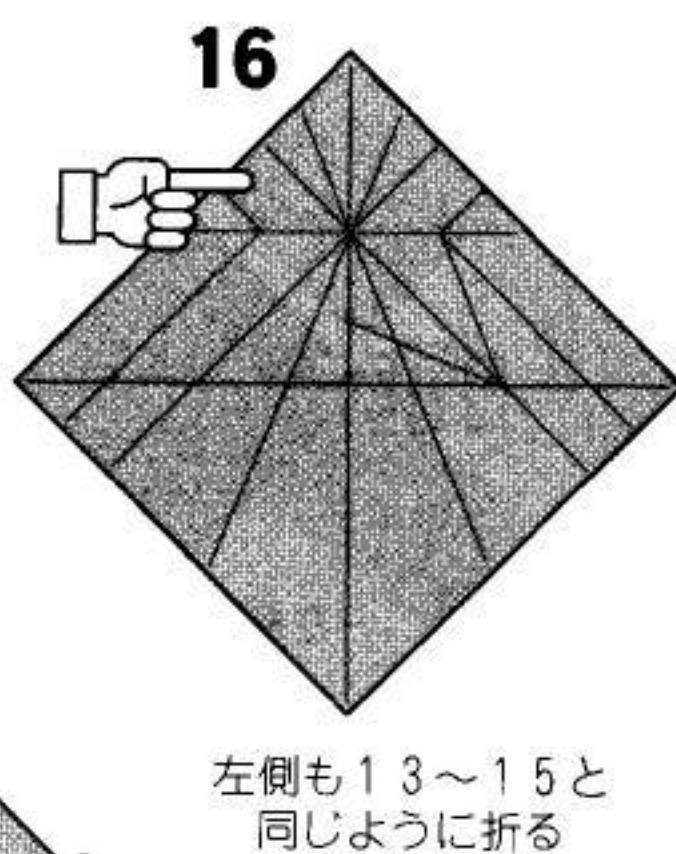
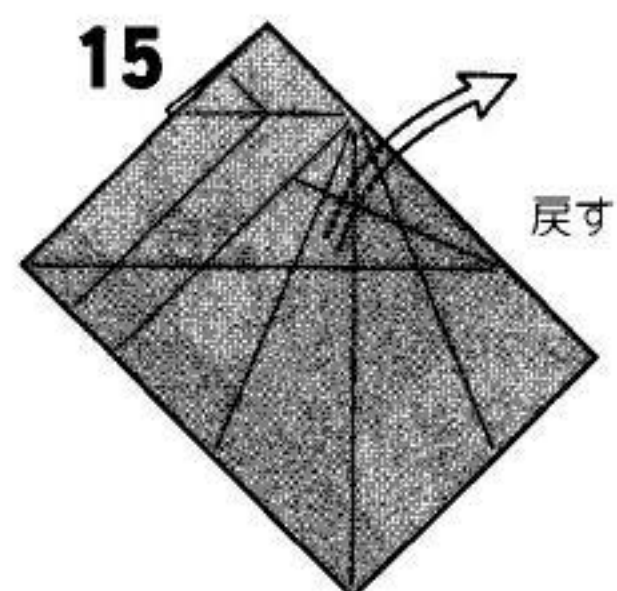
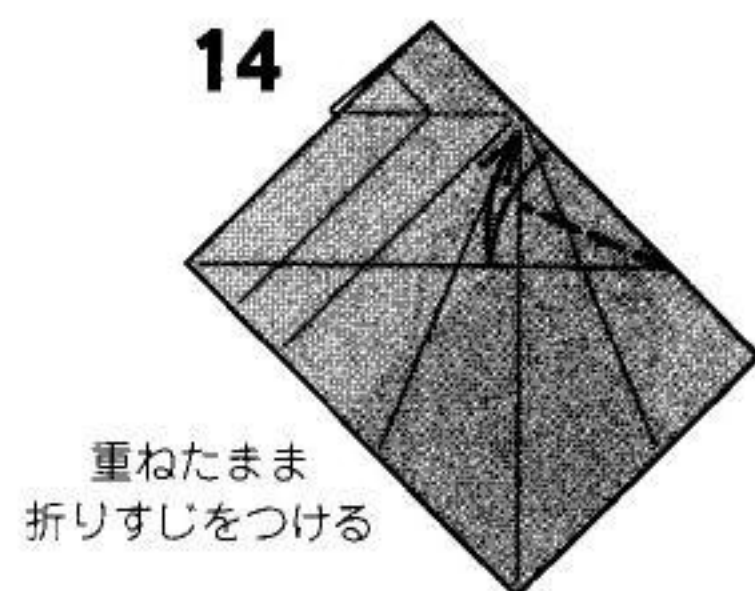
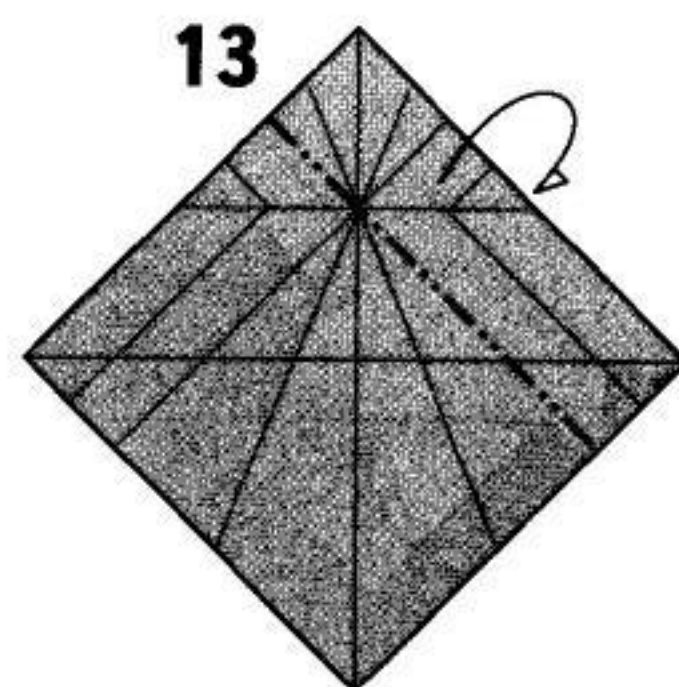
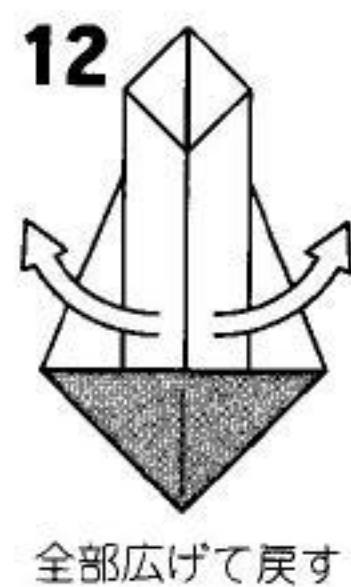
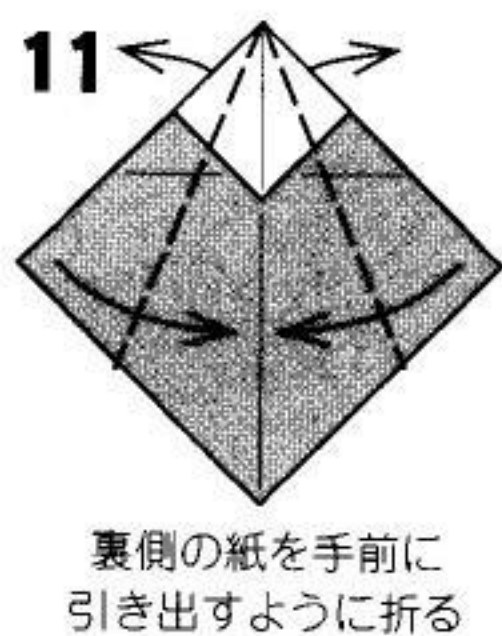
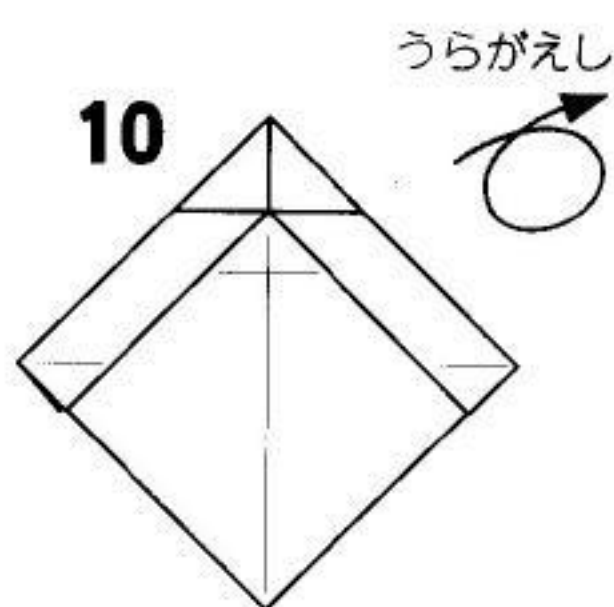
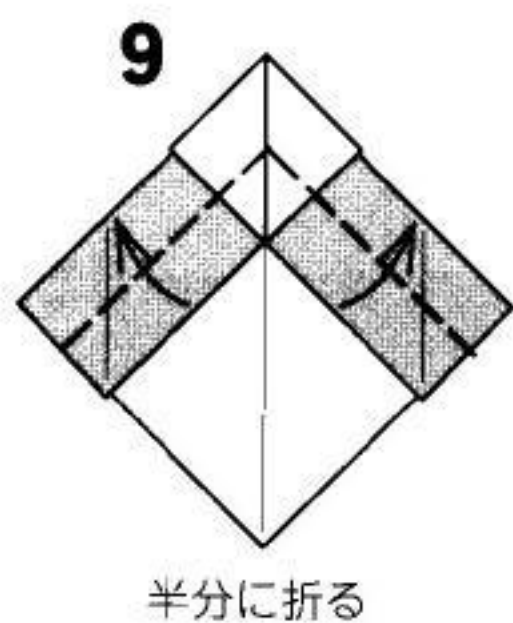
1～5ステップは
この折る位置を
を見つけるための手順。
後の図では今までの
折りすじは不要



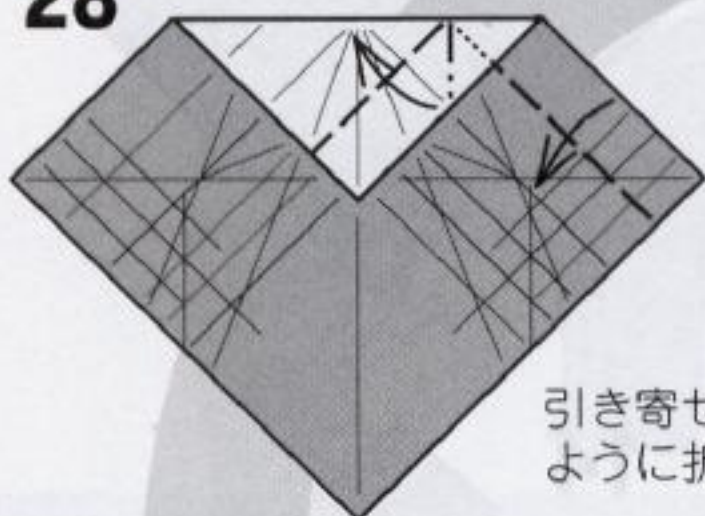
拡大



折り筋と
折りすじの
交点を基準にして
折りすじを
さらにつける

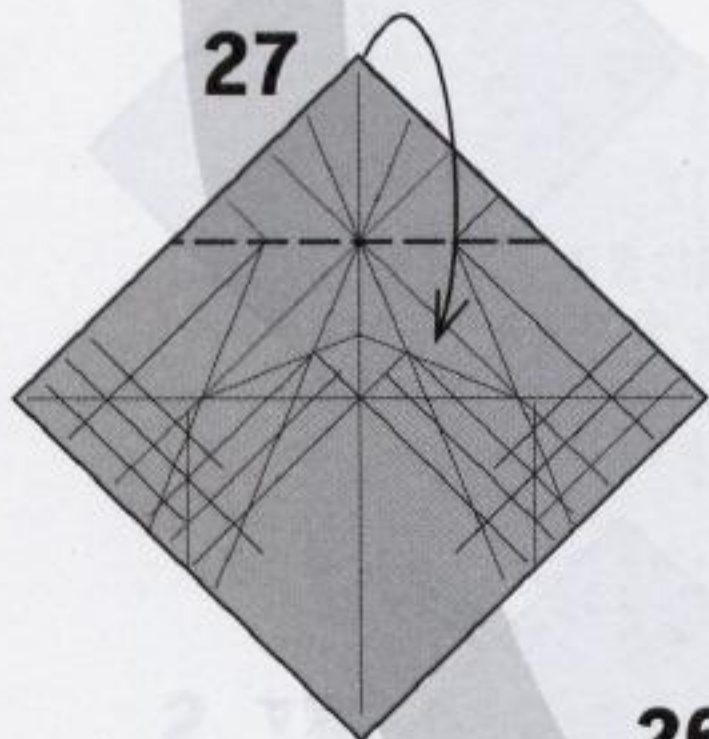


28

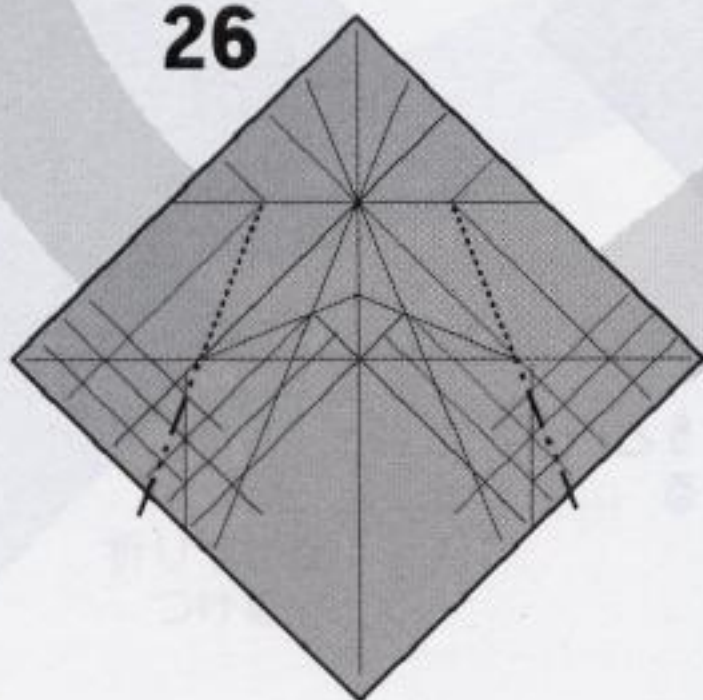


引き寄せる
ように折る

27

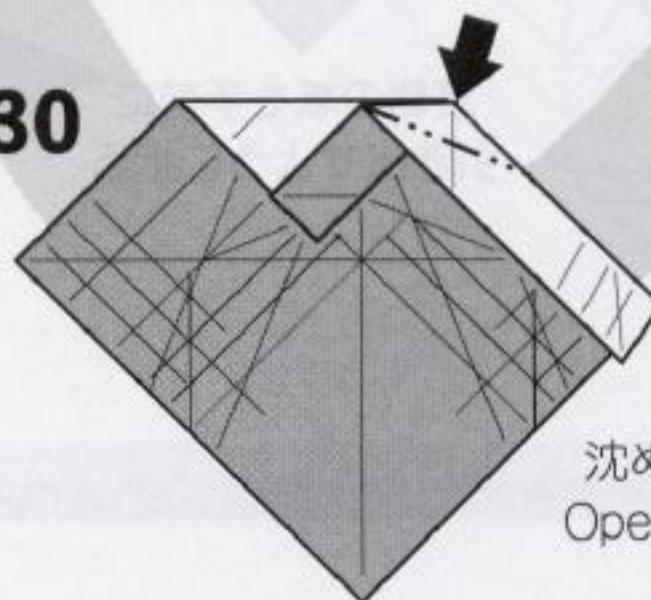


26



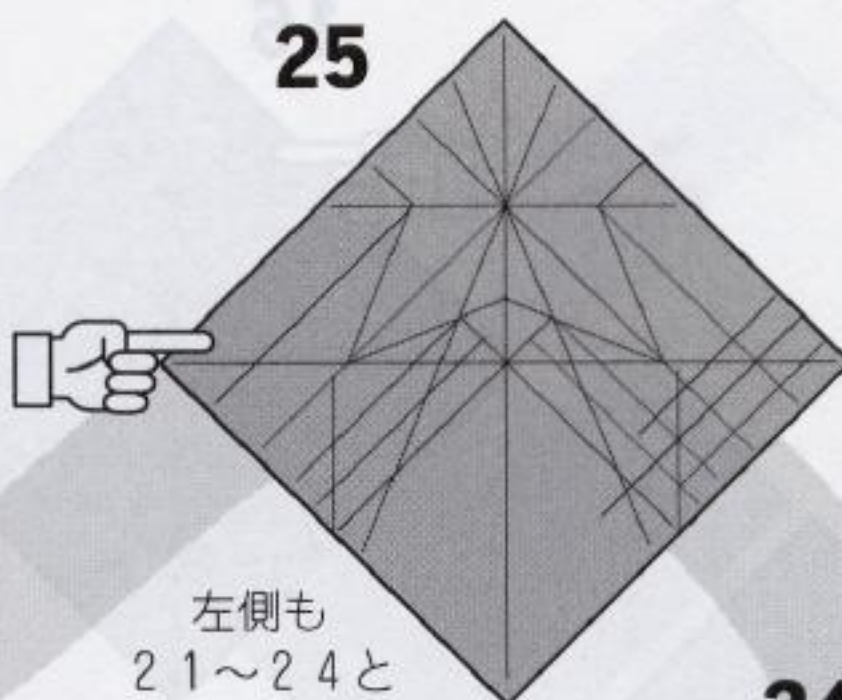
折りすじを延長

30



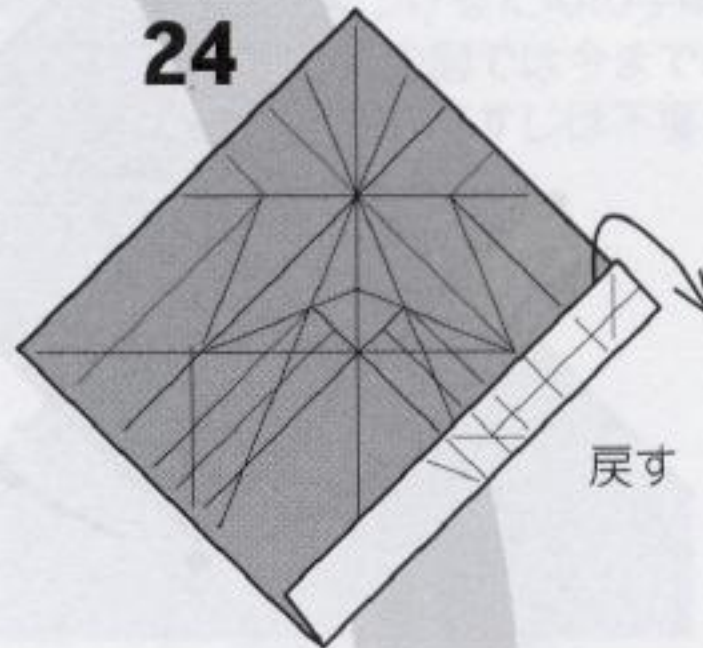
沈め折り
Open Sink

25



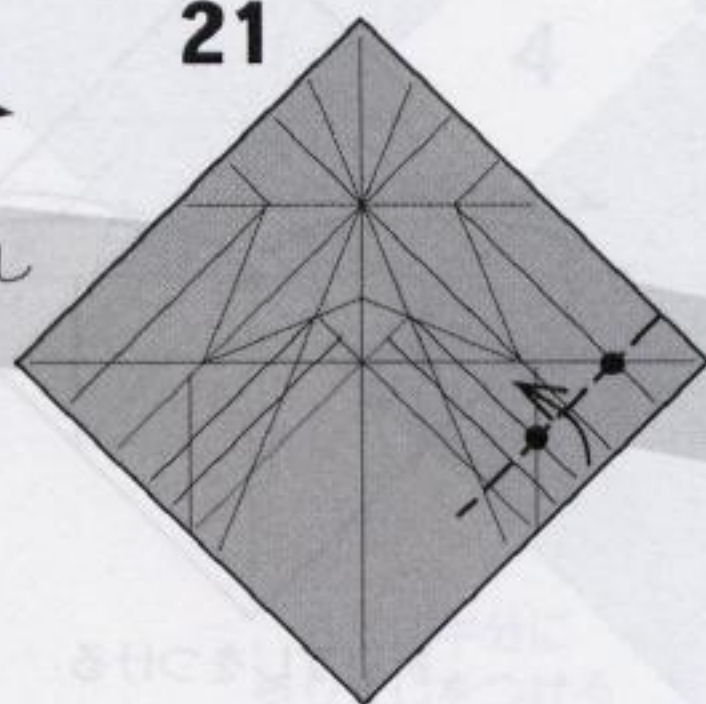
左側も
21~24と
同じように折る

24



戻す

21



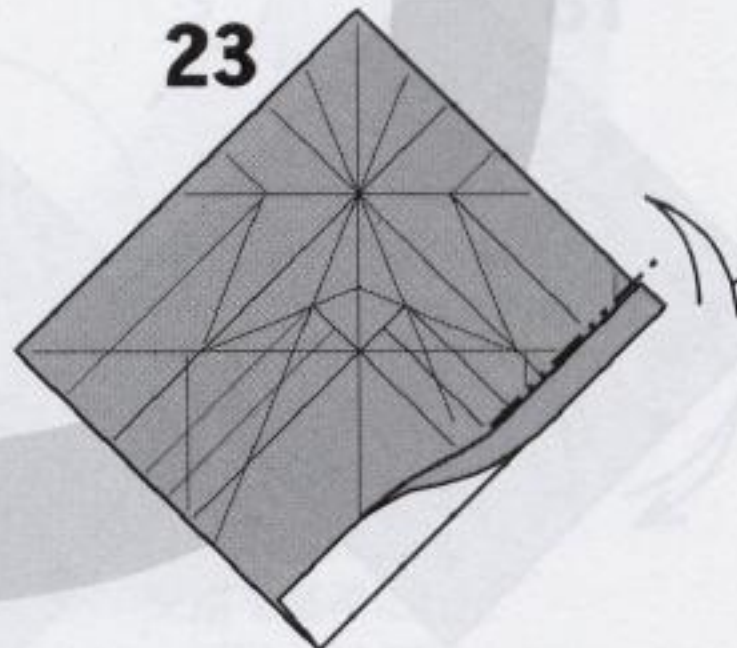
うらがえし

22



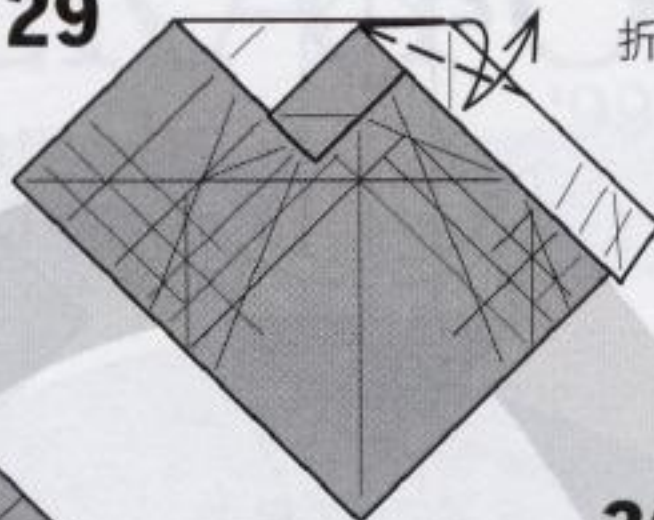
半分に折る

23



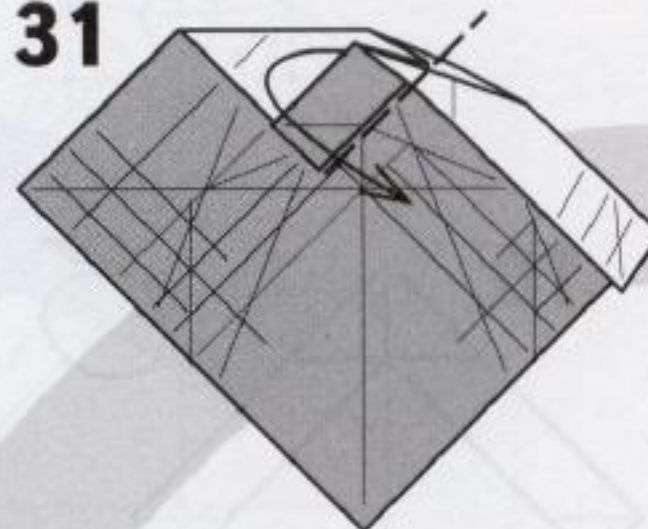
折った辺に沿って
折りすじをつける

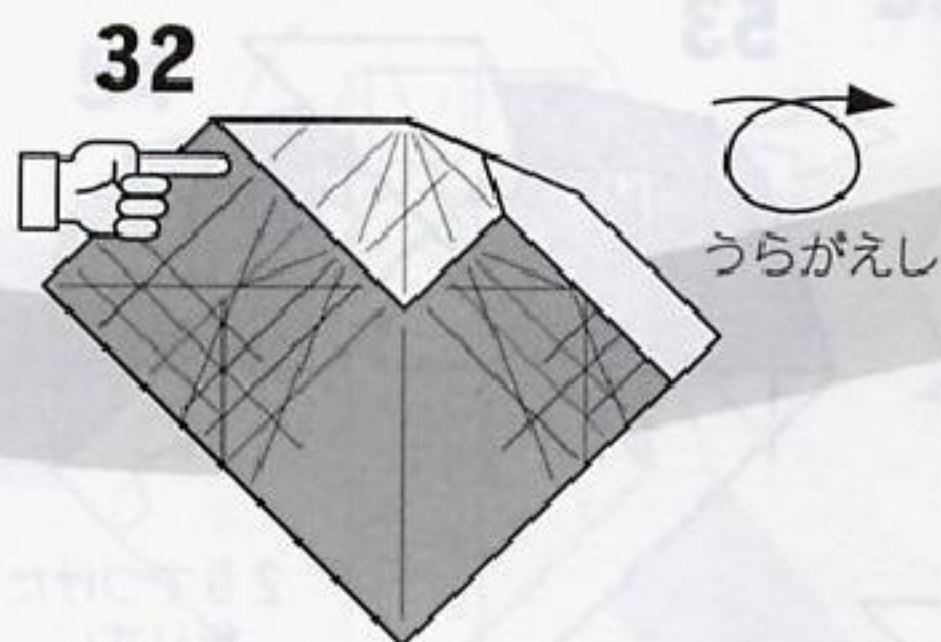
29



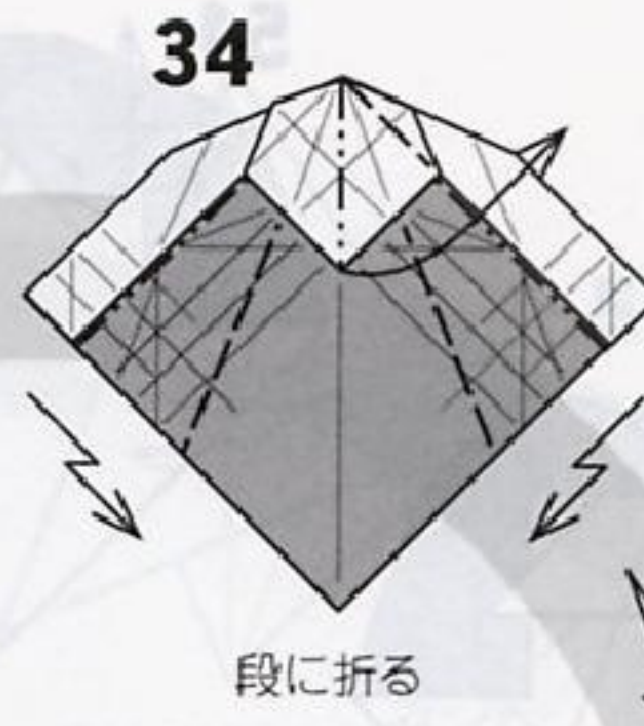
折りすじを
つける

31

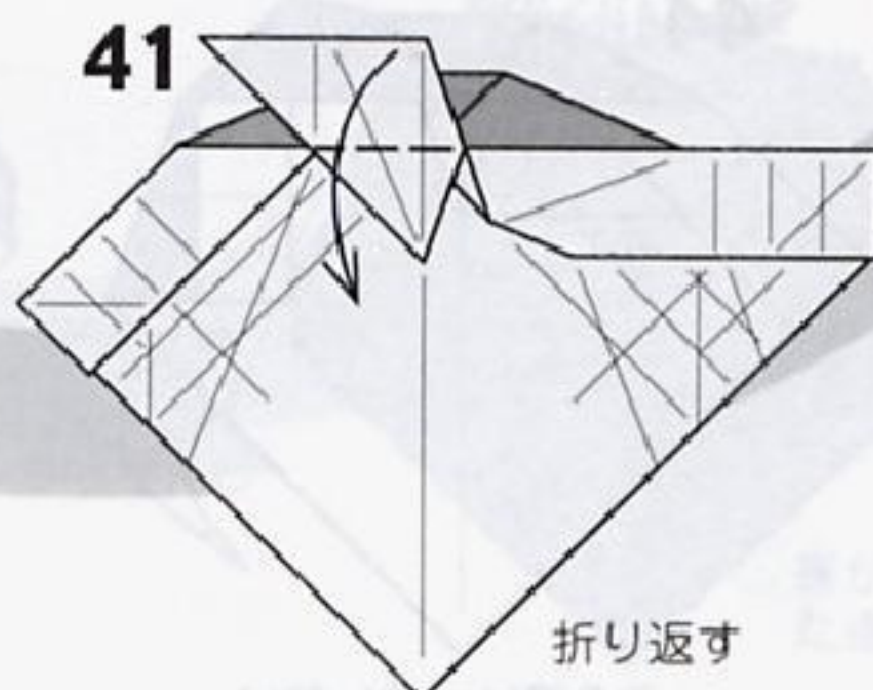
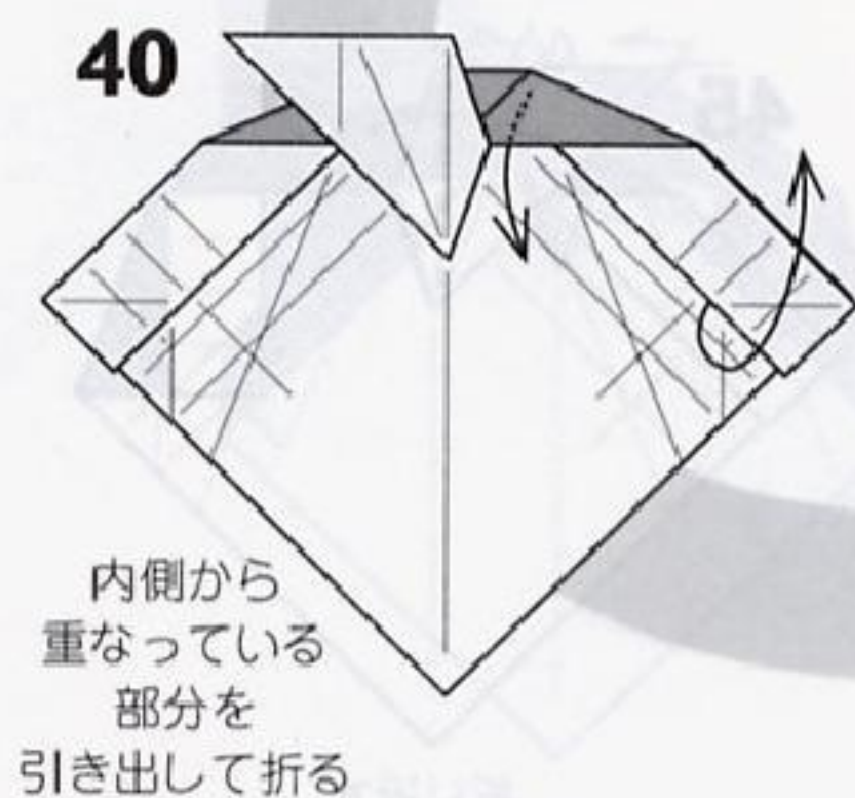
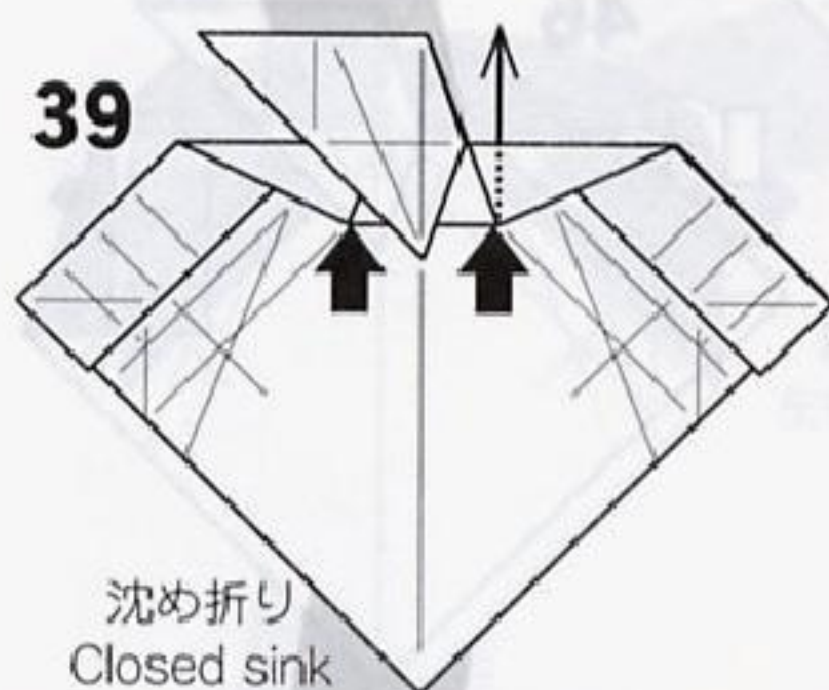
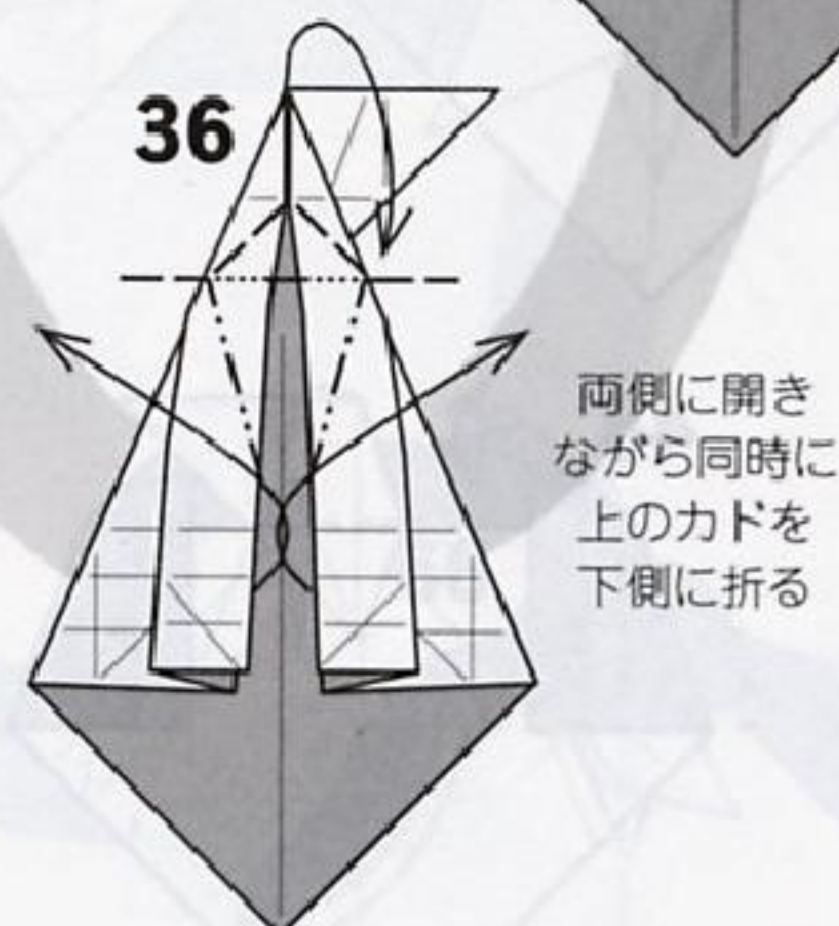
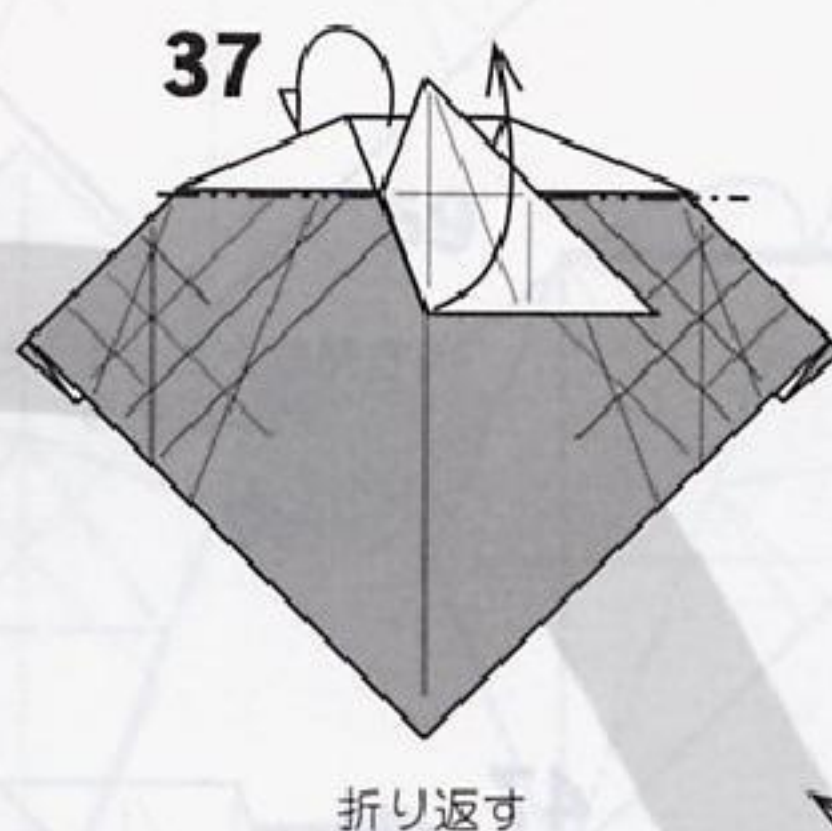
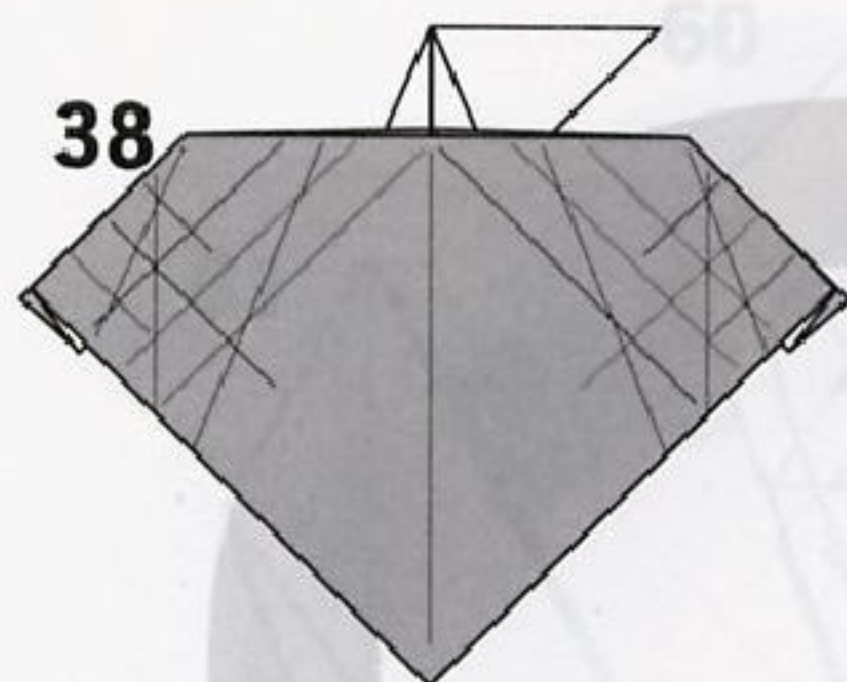
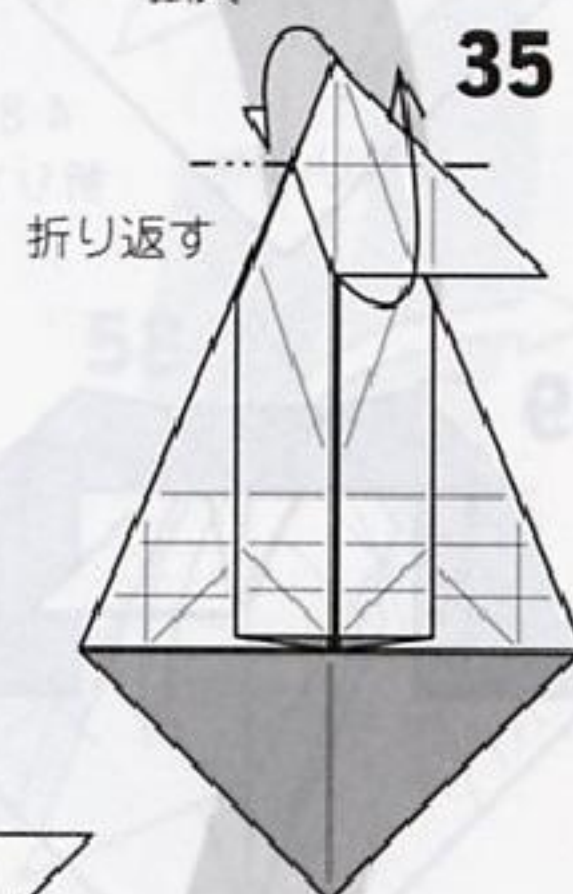


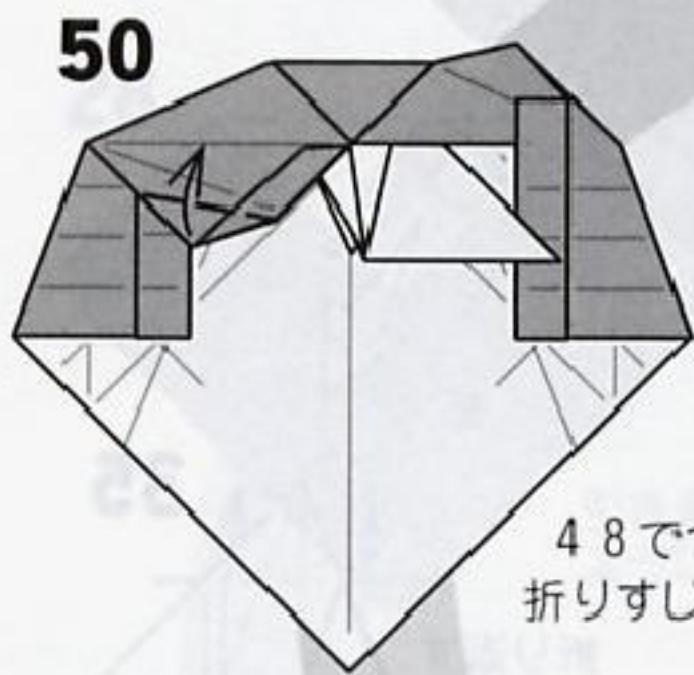


左側も28~31と
同じように折る

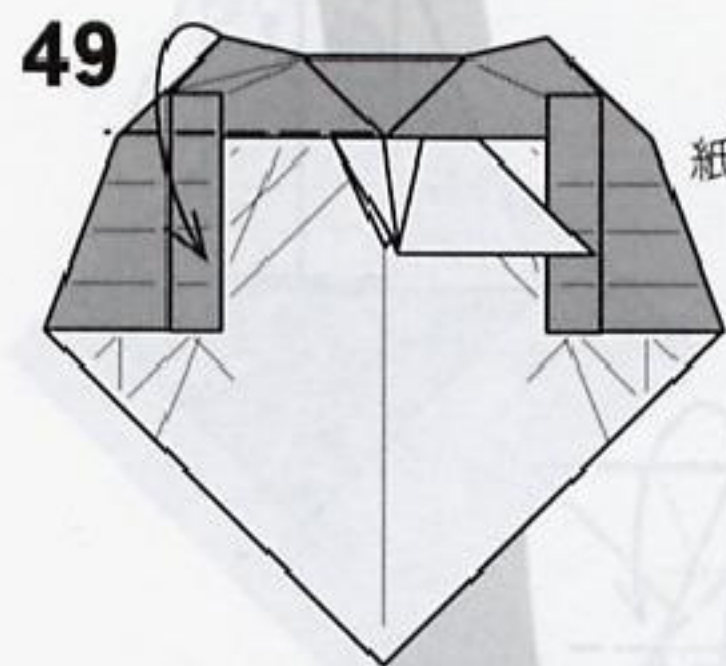


拡大

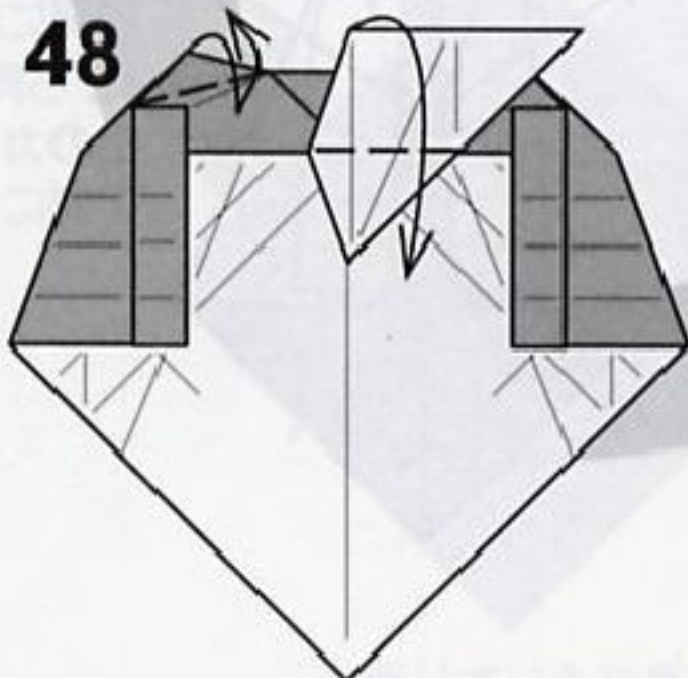




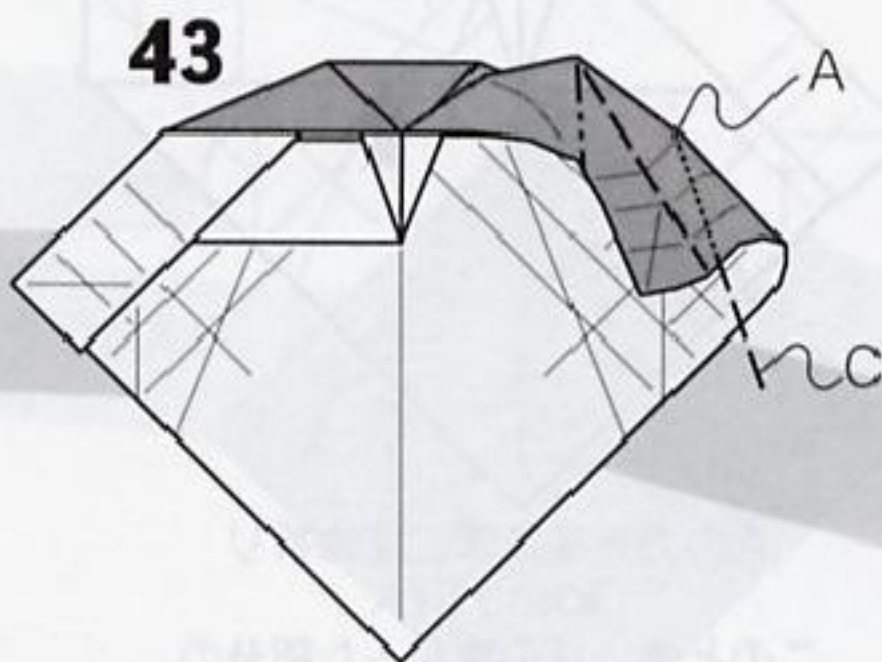
48でつけた
折りすじで折る



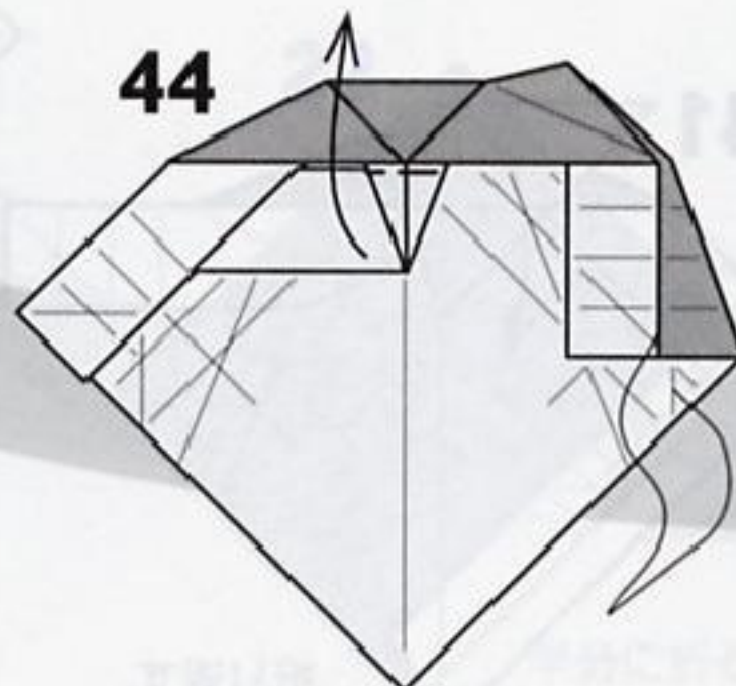
上にある
紙を折り返す



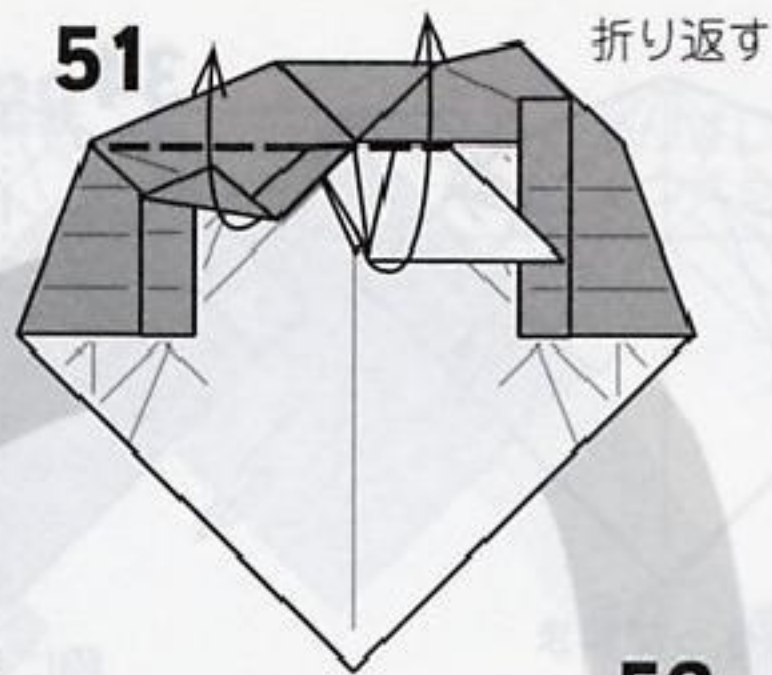
折りすじをつける



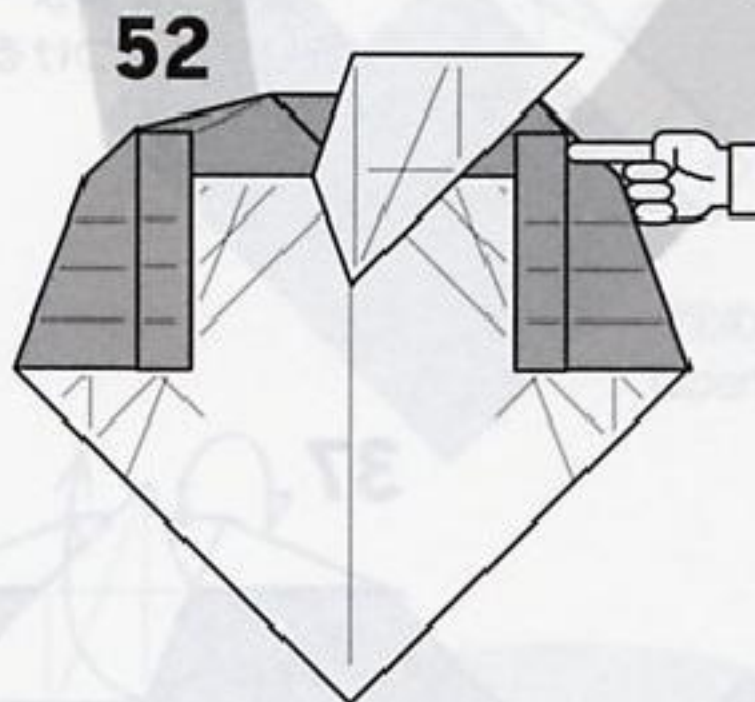
26でつけたC線
つかってまとめる



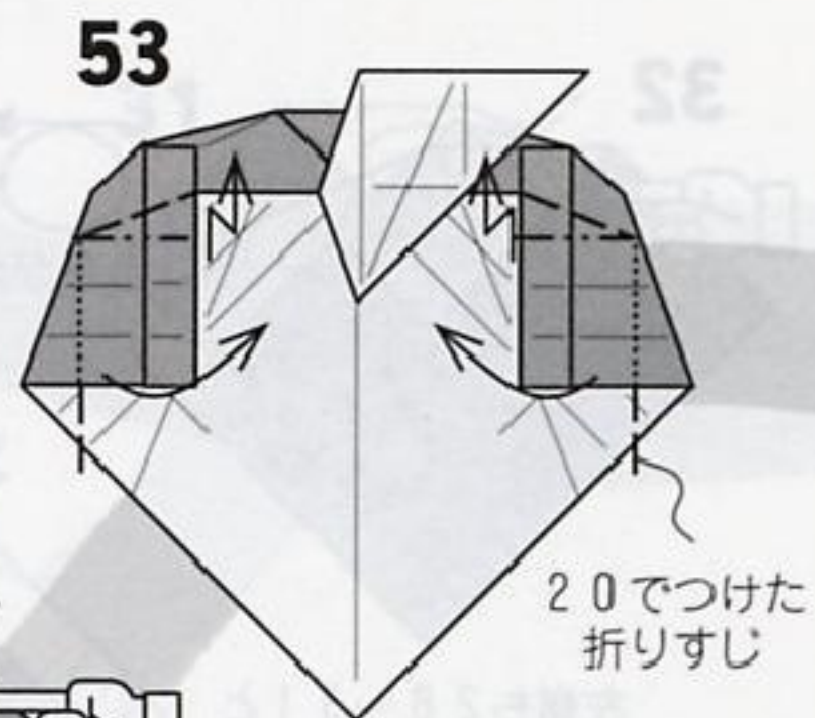
この線は一致しない



折り返す

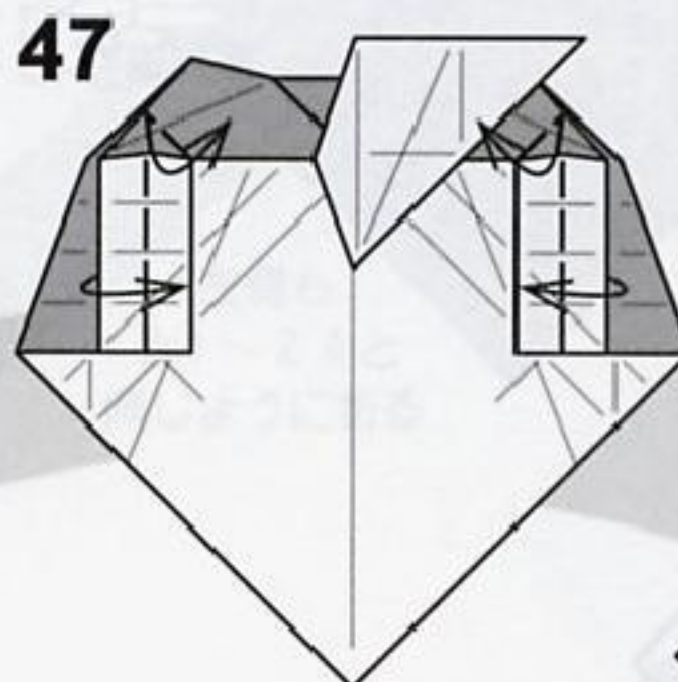


右側も48~51と
同じに折る

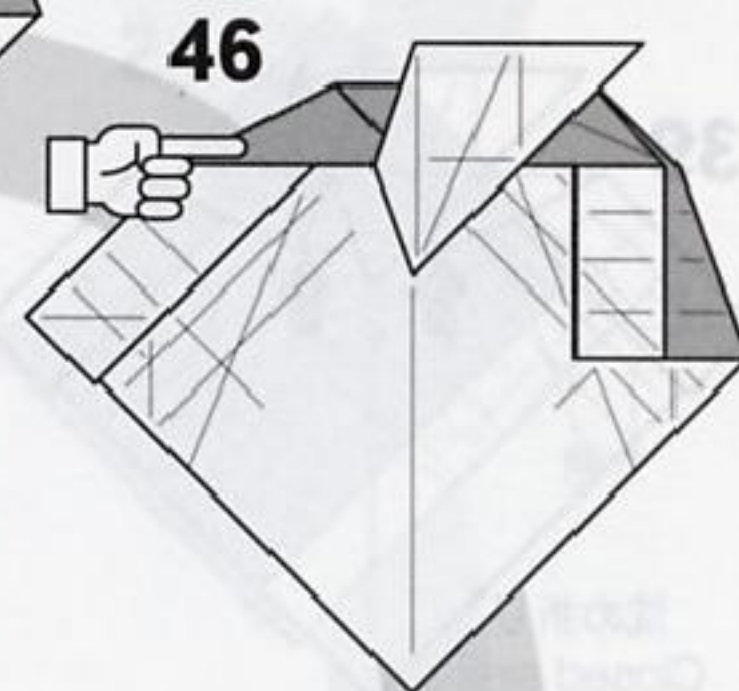


20でつけた
折りすじ

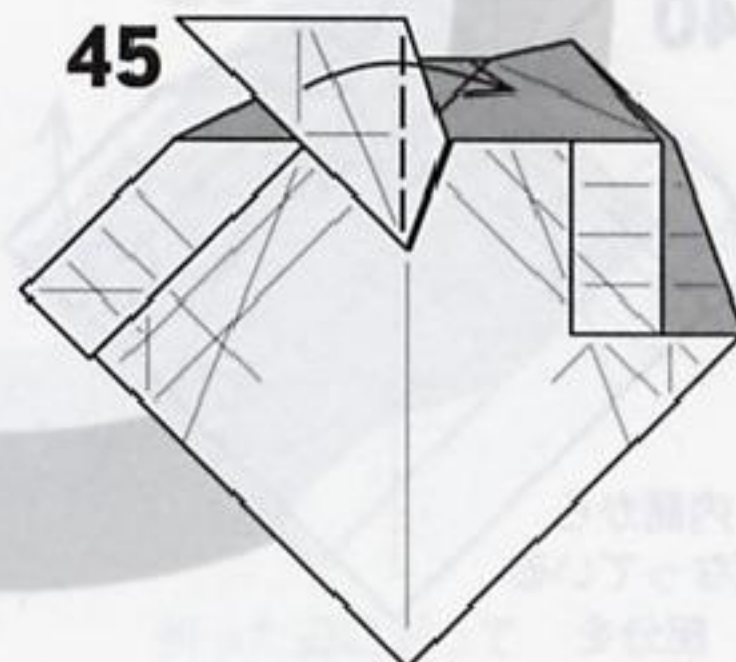
段折りで引きよせる
様に折る



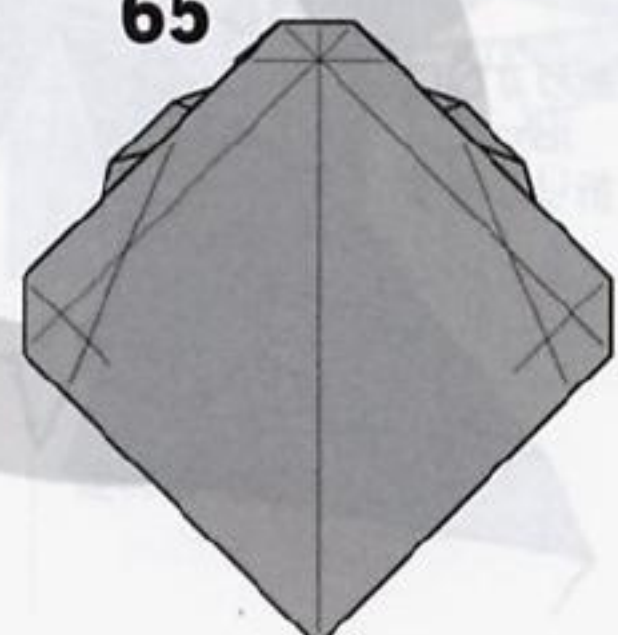
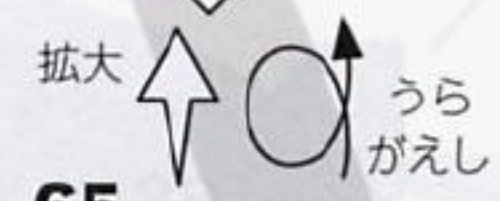
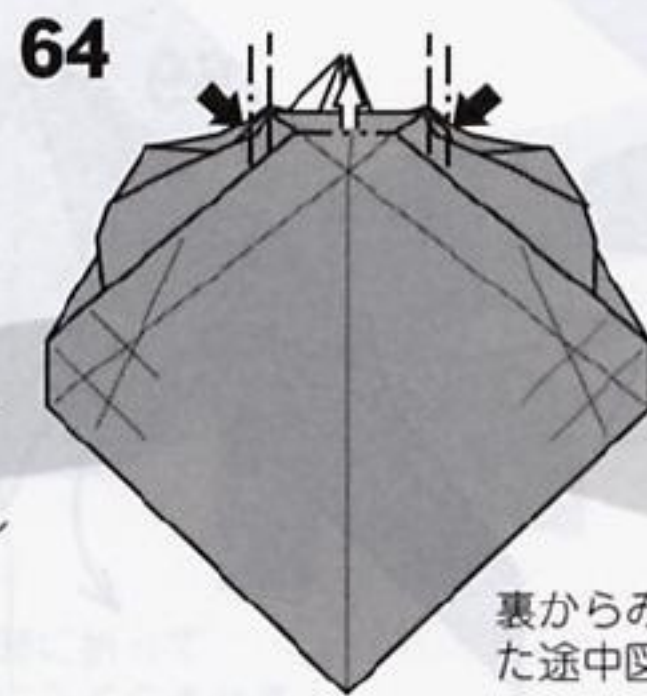
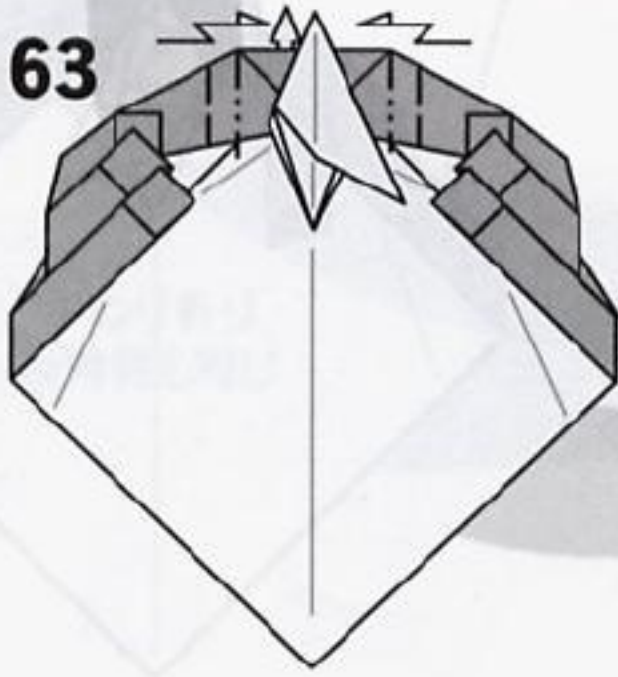
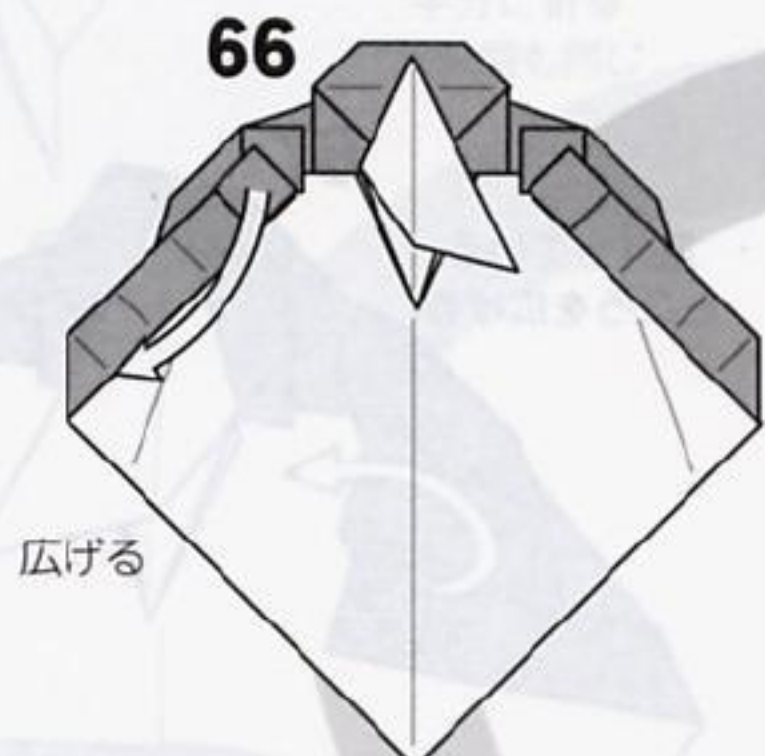
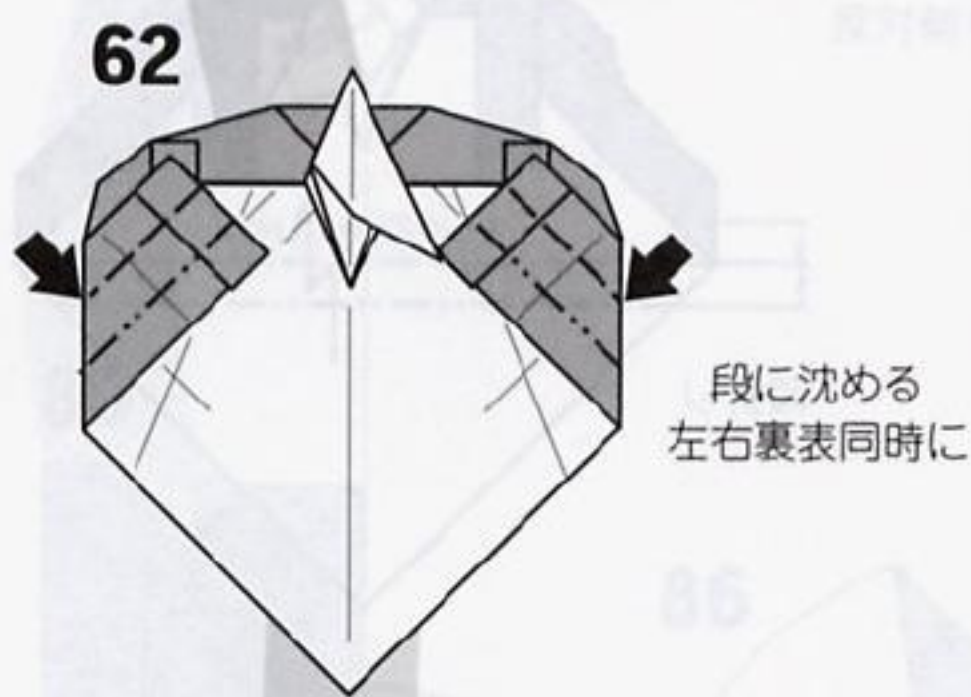
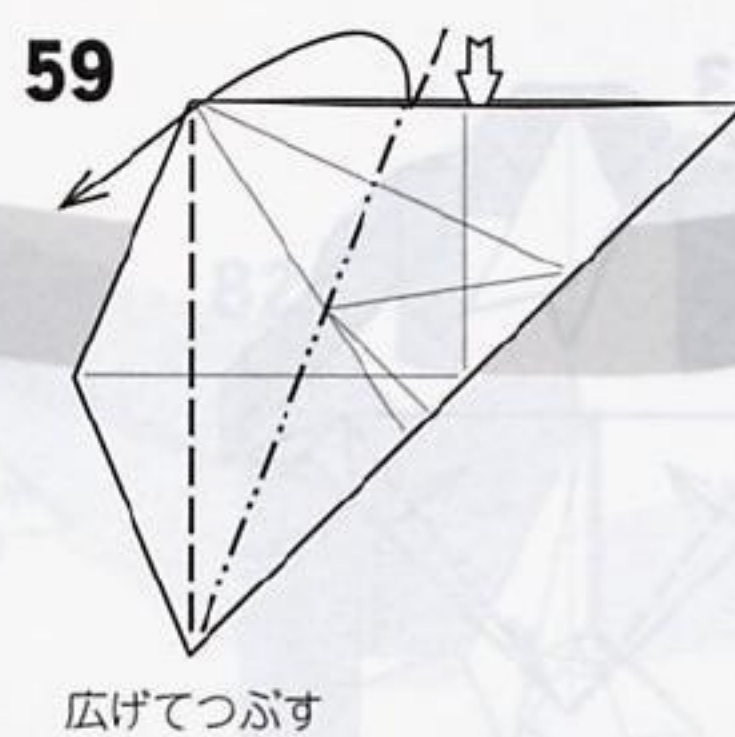
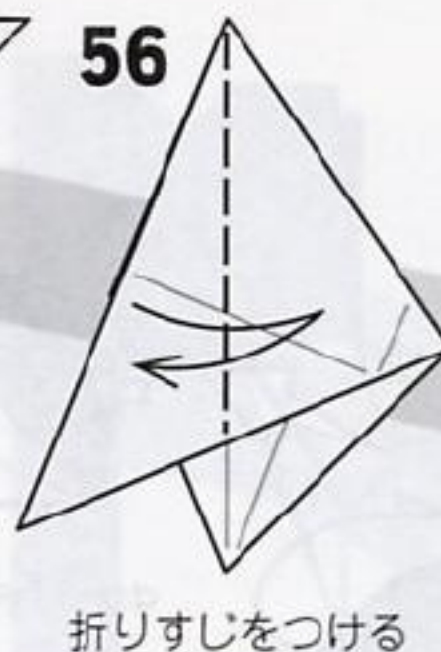
半分に折る



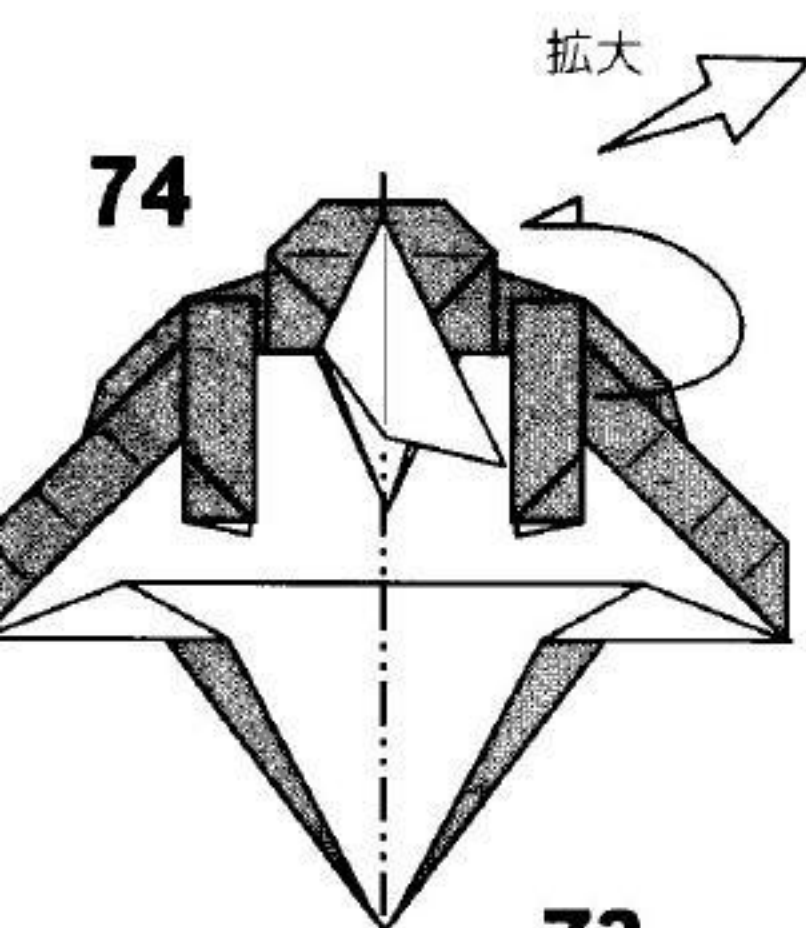
左側も40~44
までと同様に折る



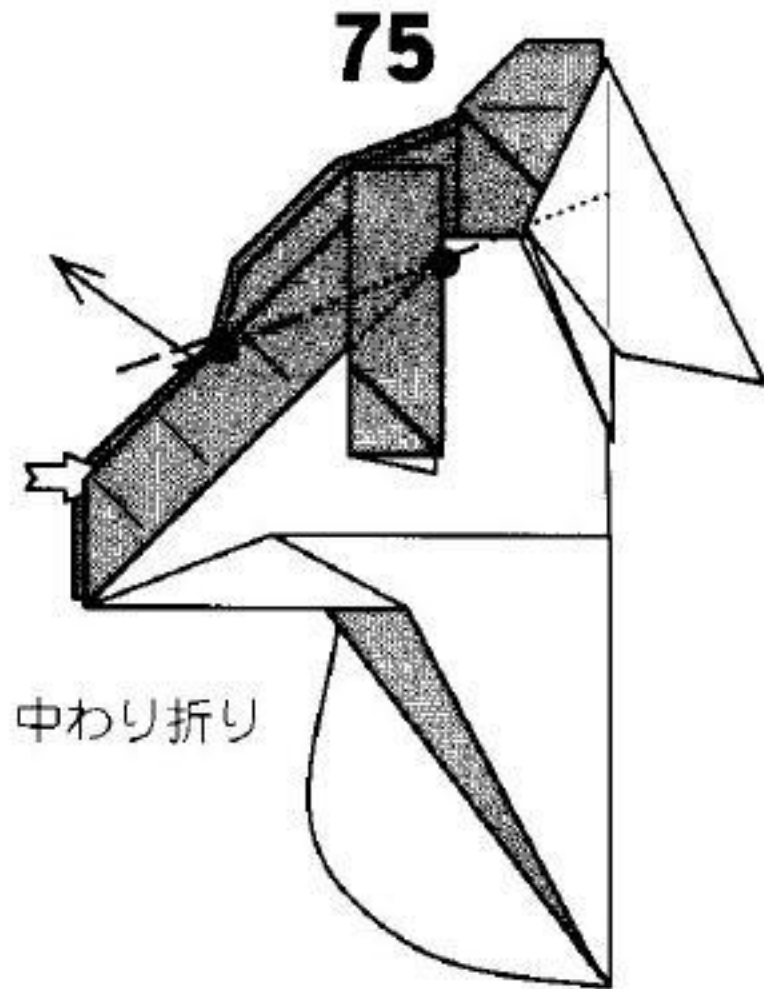
折り返す



74

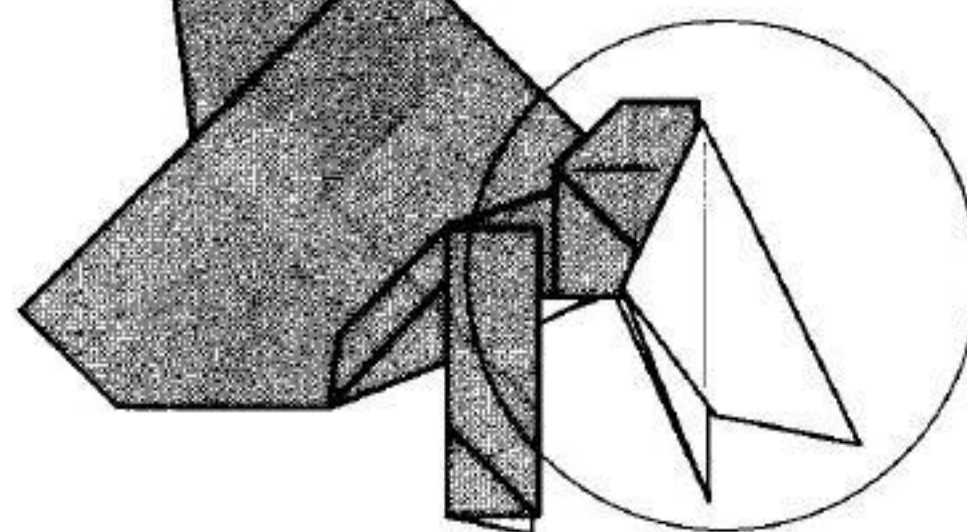


拡大

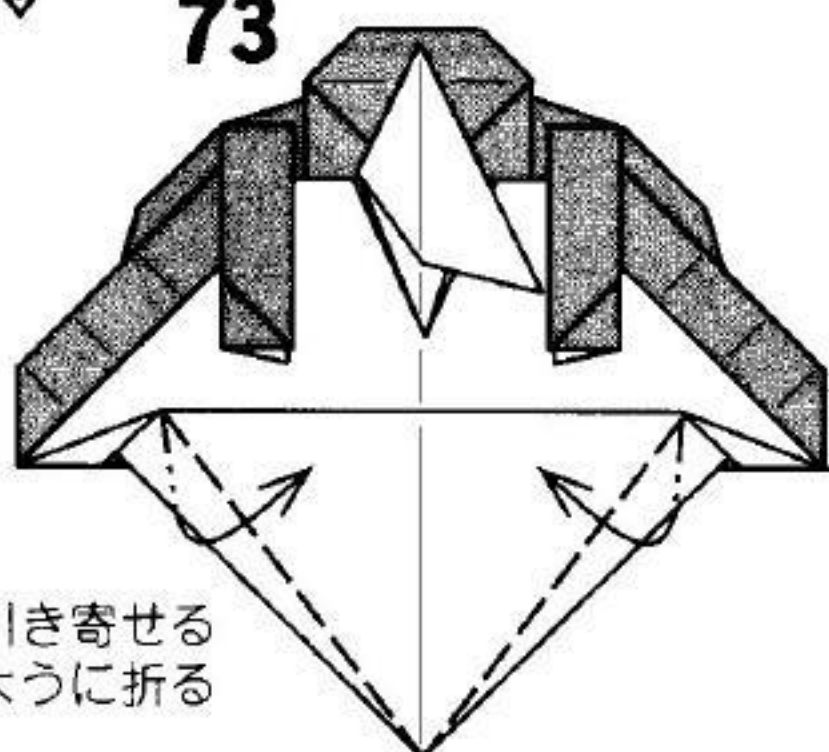


中わり折り

76

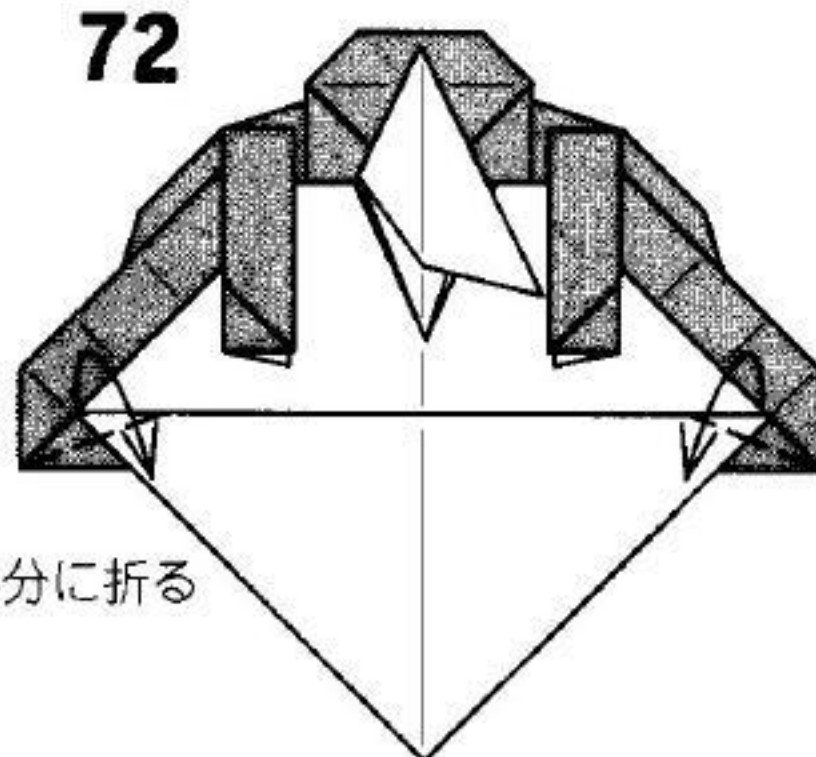


73



引き寄せる
ように折る

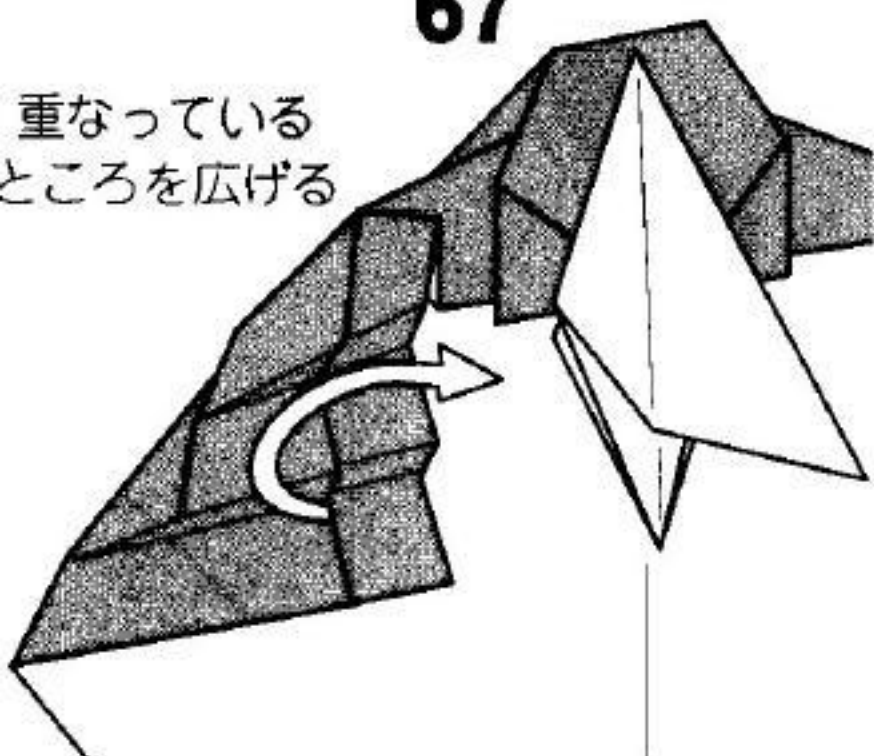
72



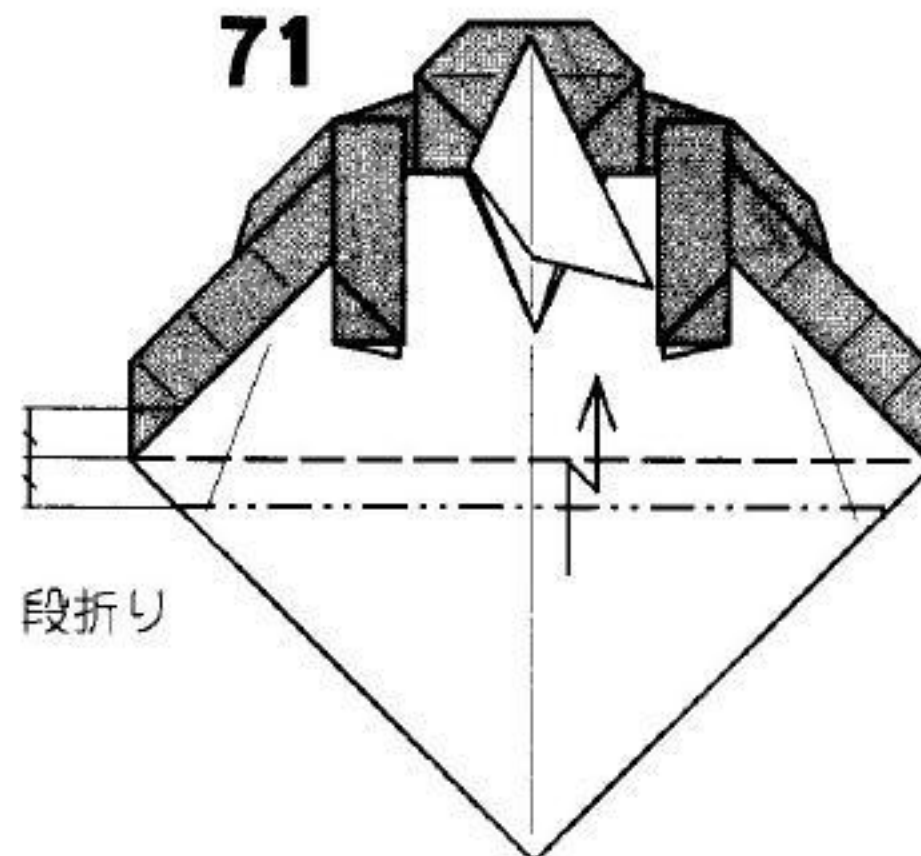
半分に折る

67

重なっている
ところを広げる



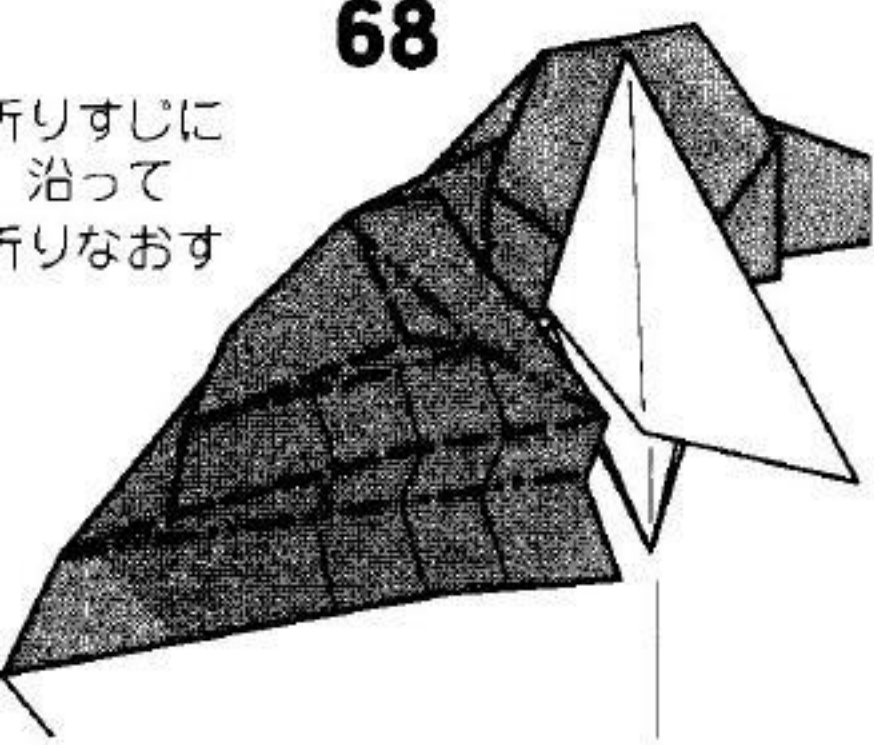
71



段折り

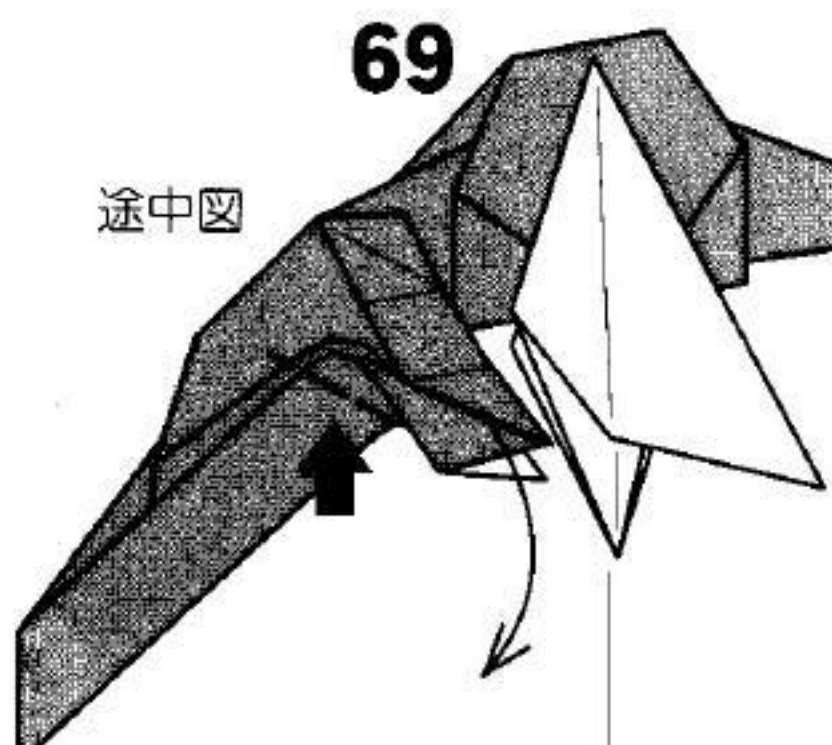
68

折りすじに
沿って
折りなおす

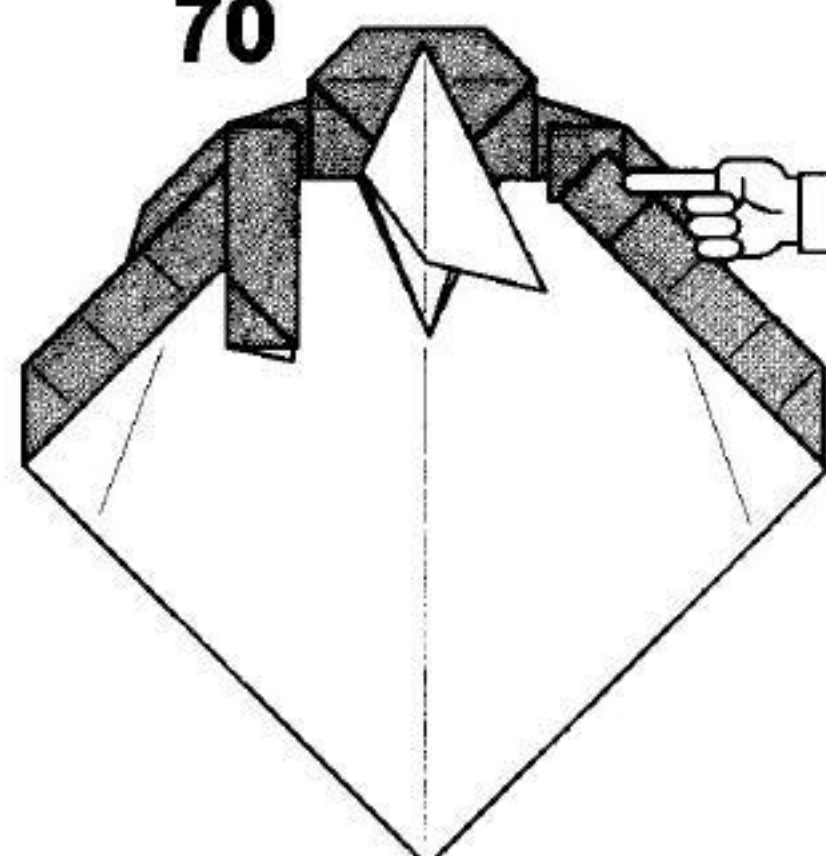


69

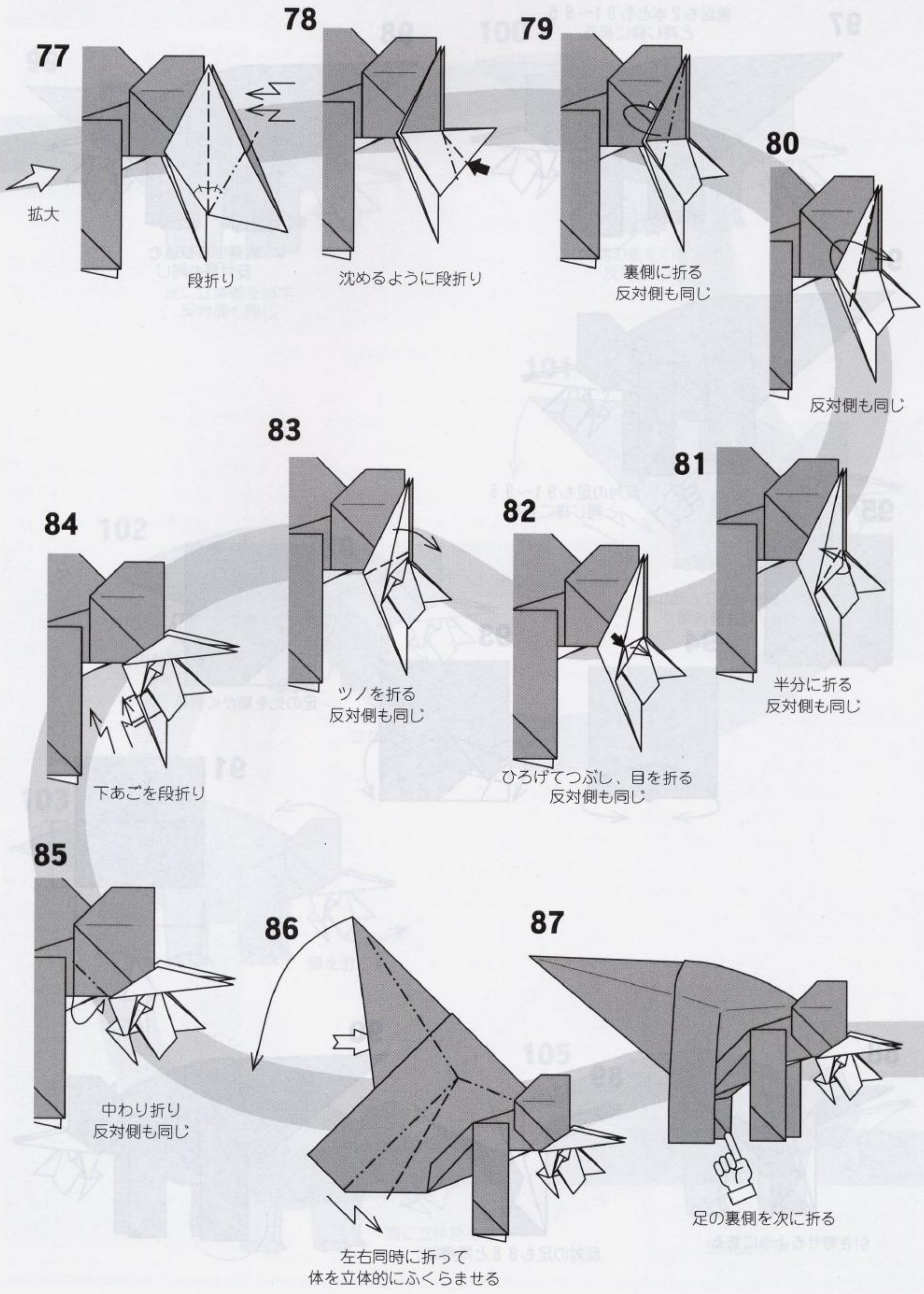
途中図



70

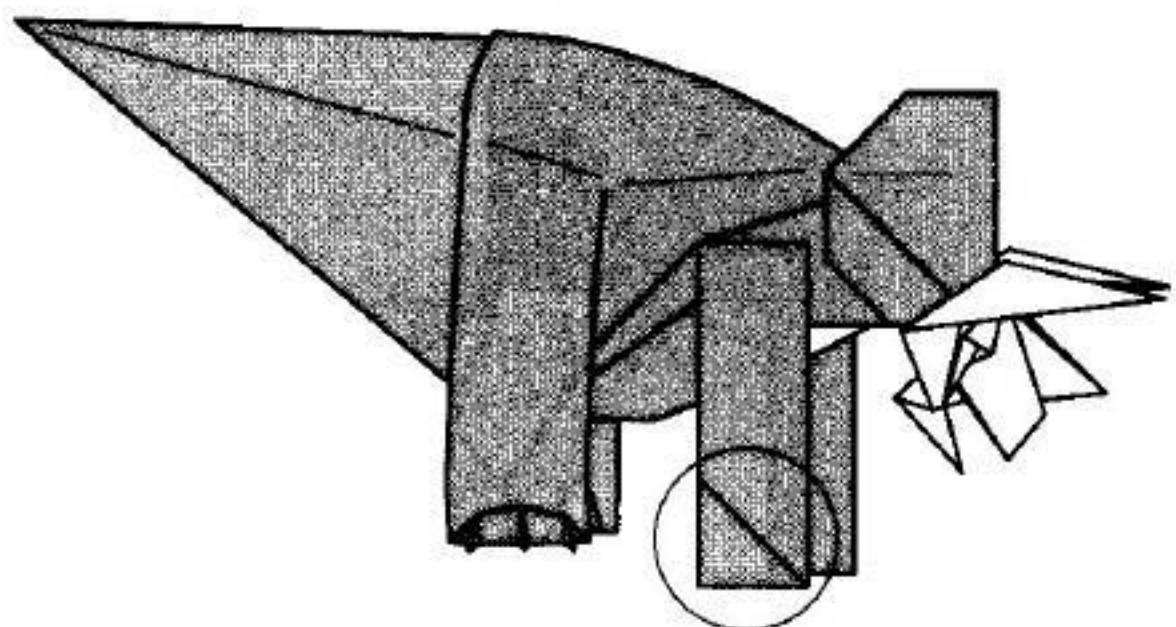


右側も 66~69と

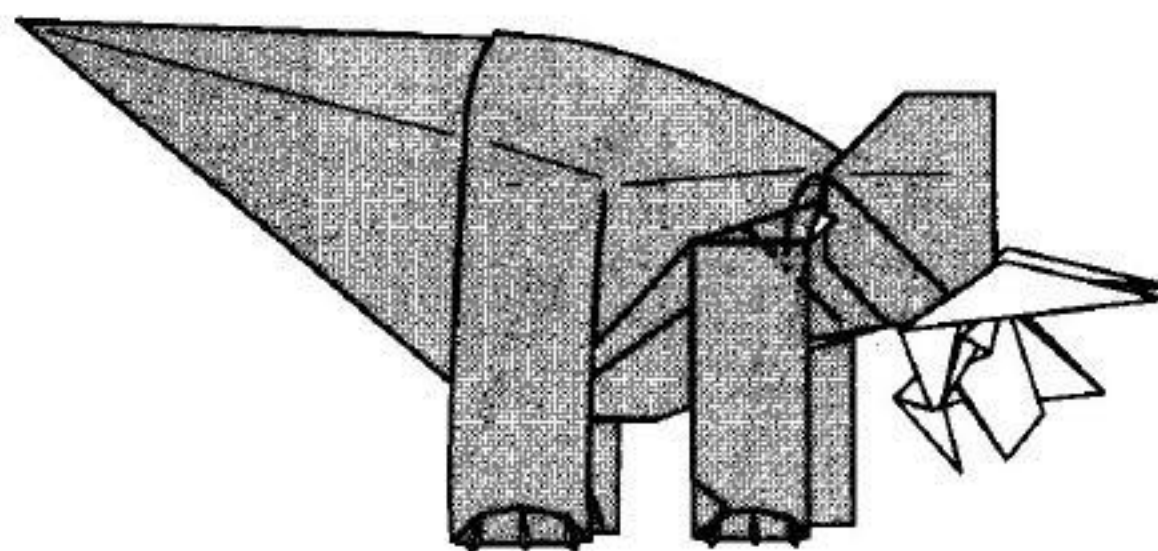


97

前足も2本とも91~95
と同じ様に折る

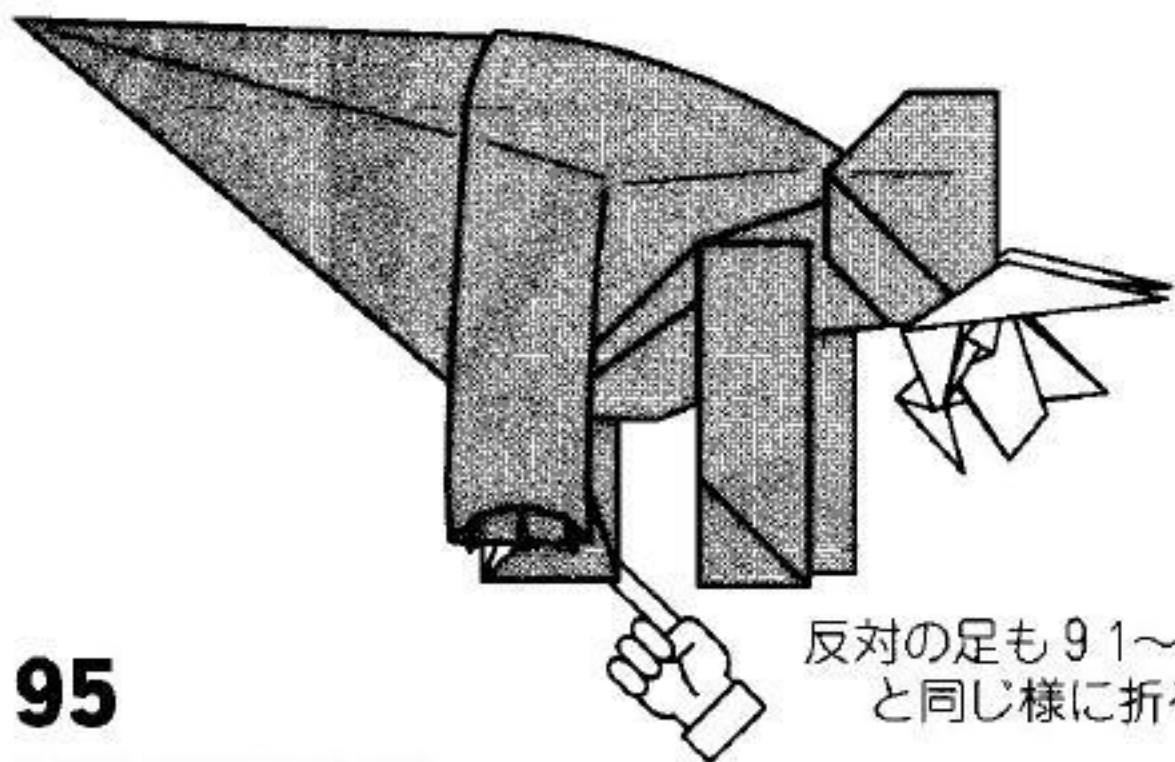


98

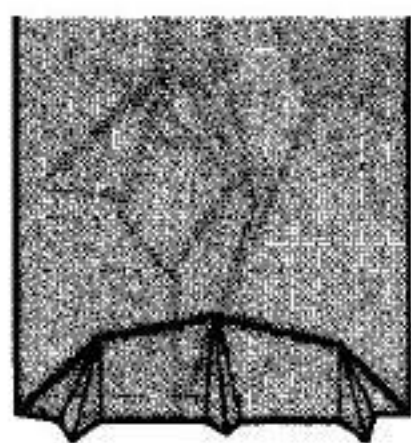


内側に折り込む
反対側も同じ

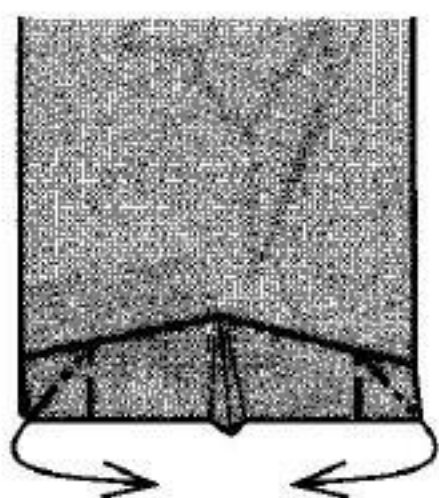
96



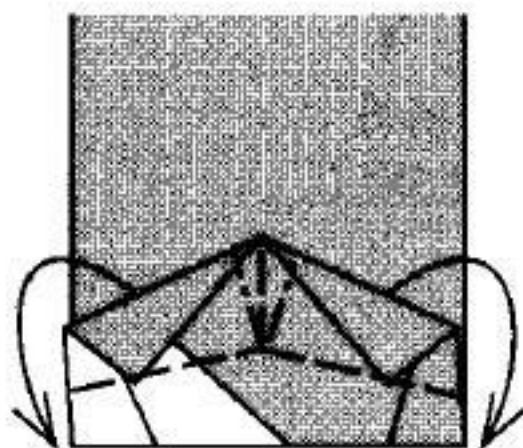
95



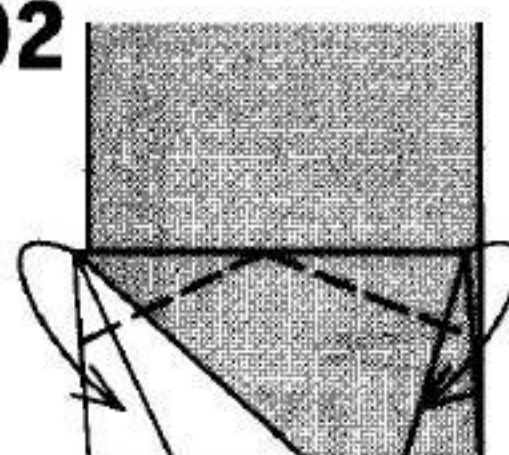
94



93

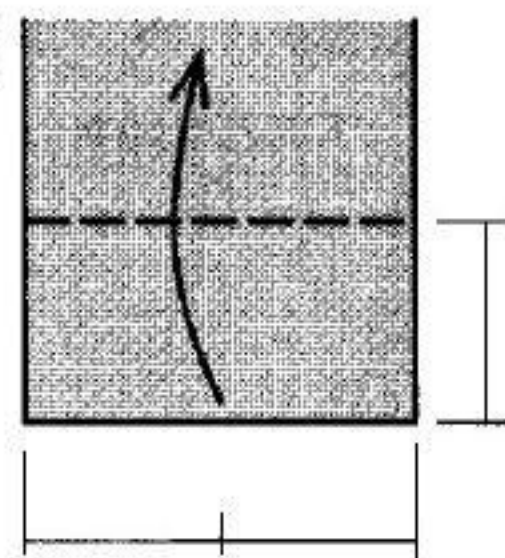


92



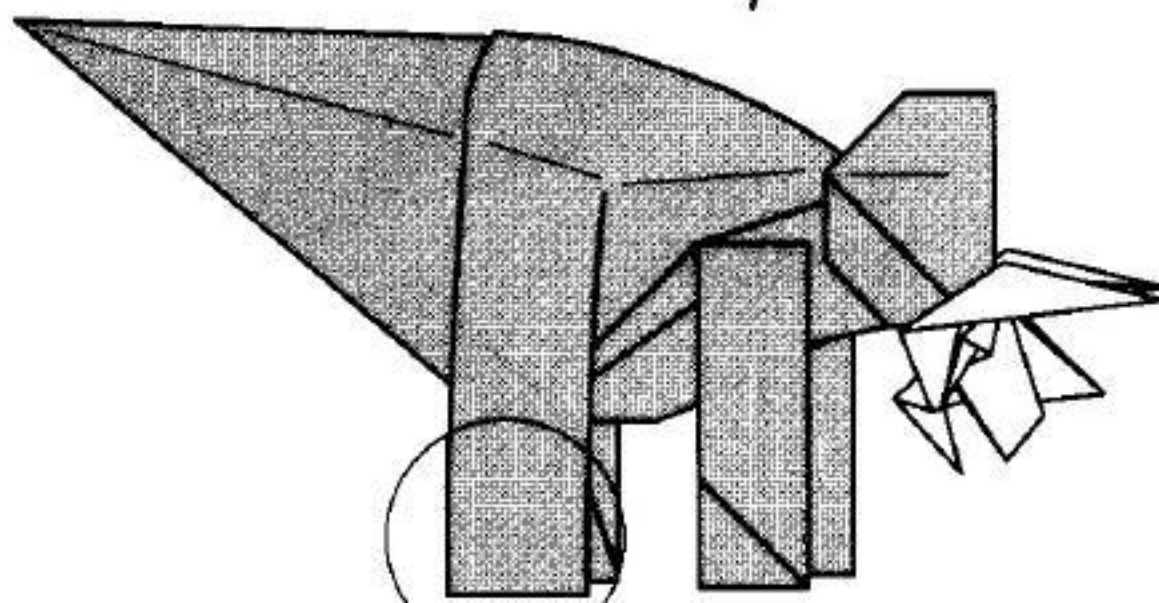
足の先を細かく折る

91

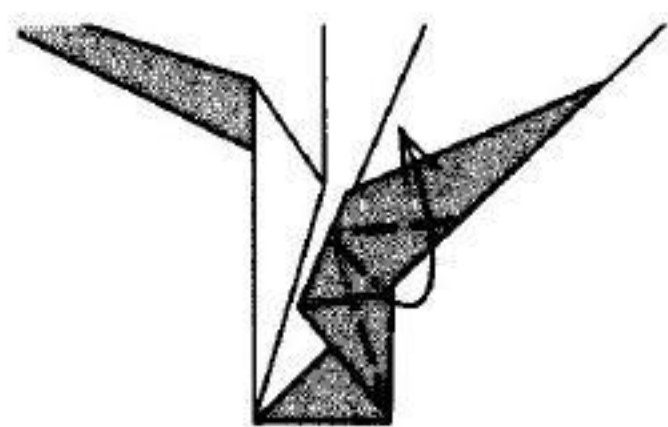


拡大

90

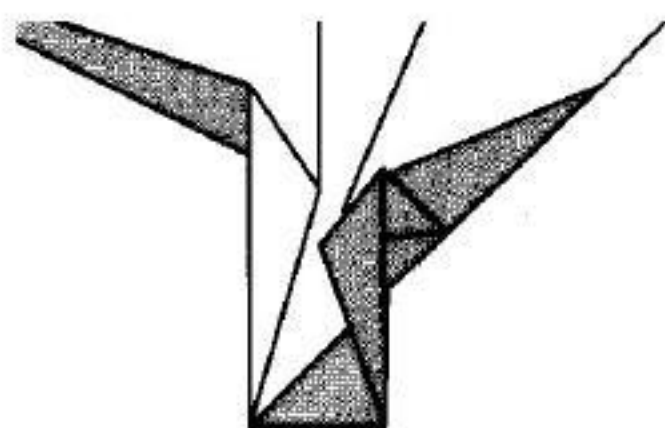


88



引き寄せるように折る

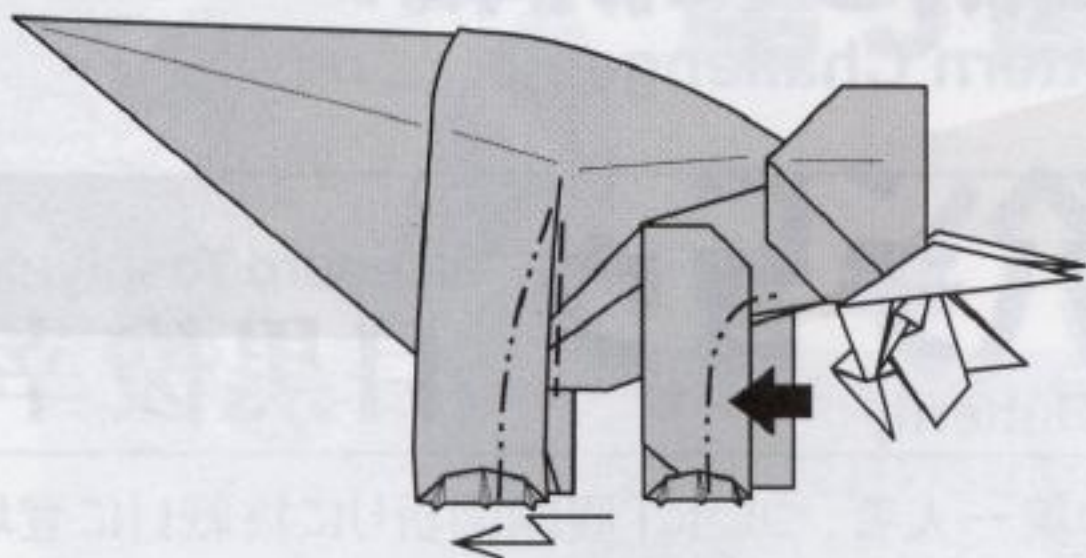
89



99

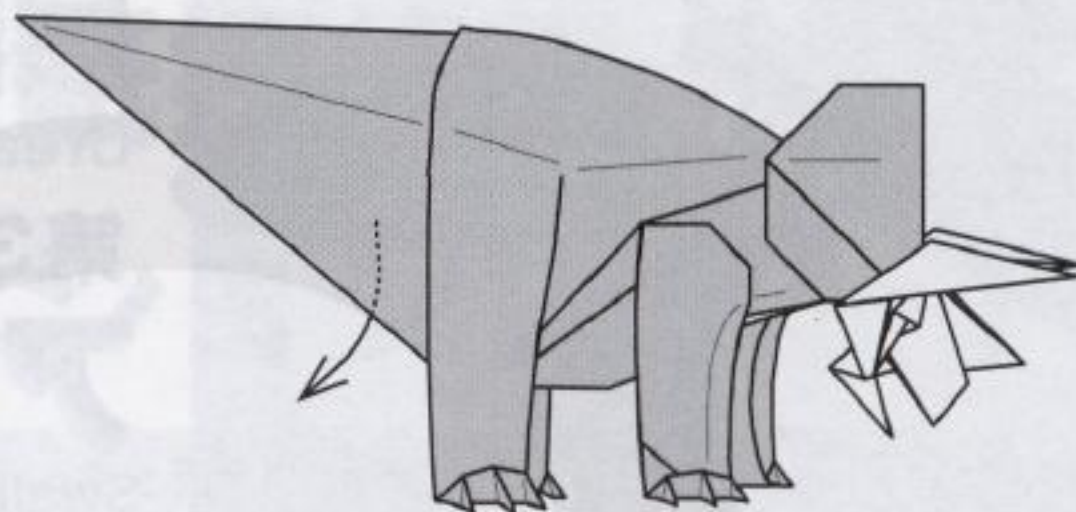
10

99



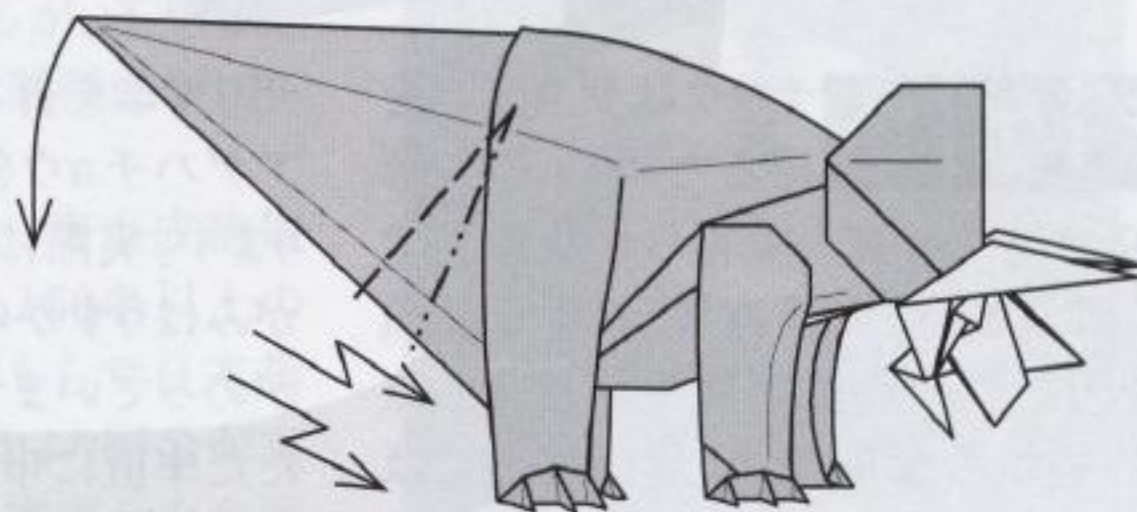
足に立体感を出す
反対側も同じ

100



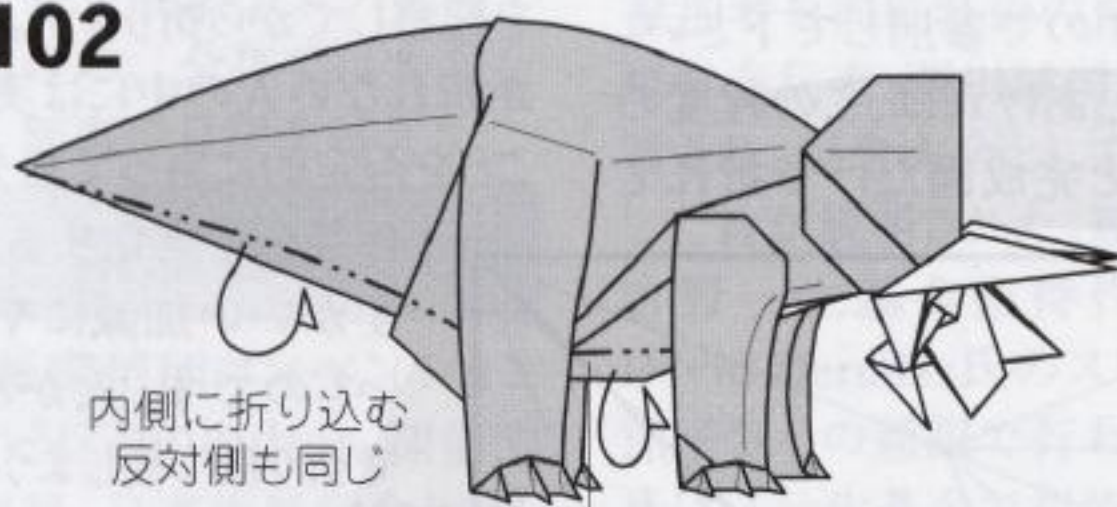
内側の紙を引き出す
反対側も同じ

101



段に折って立体感を出す
反対側も同じ

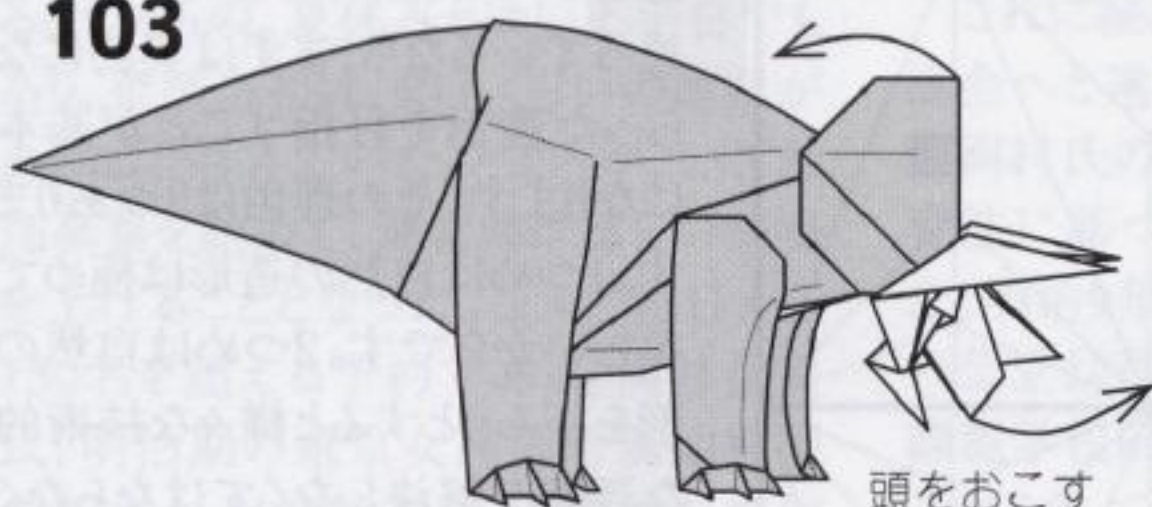
102



内側に折り込む
反対側も同じ

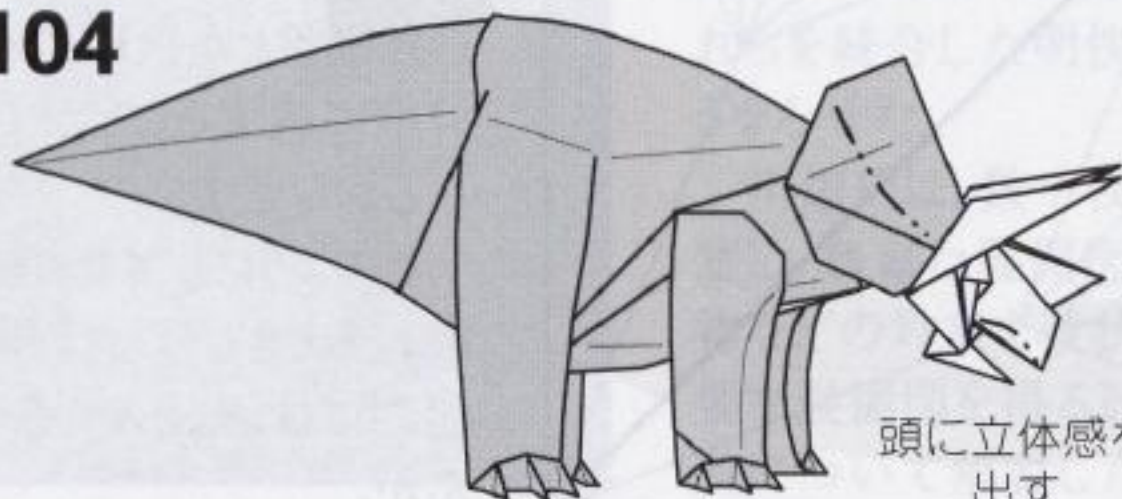
山に折り
立体感を出す

103



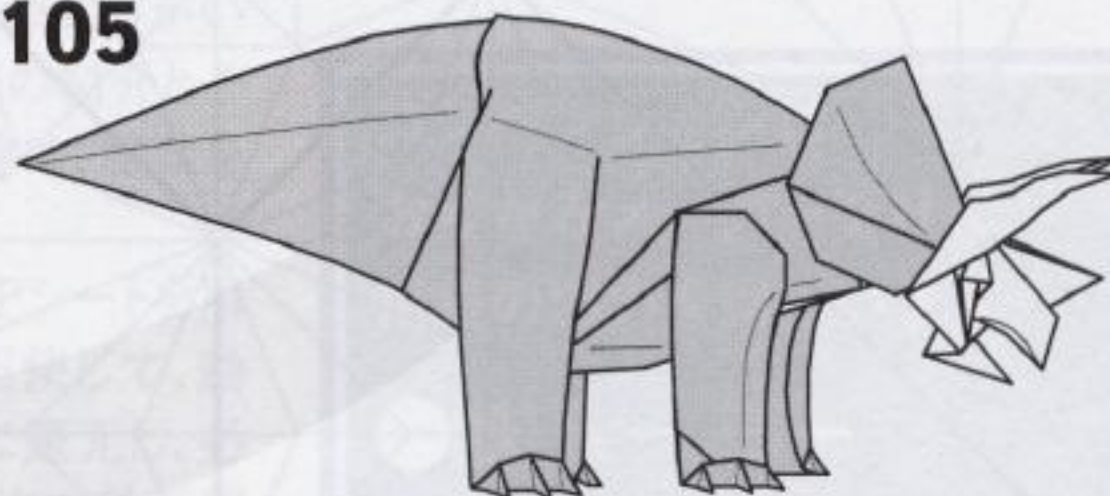
頭をおこす

104



頭に立体感を出す

105



出来上がり

目黒俊幸さんの

展開図折りに挑戦!

Crease Pattern Challenge

第3回

アゲハチョウ

Meguro Toshiyuki

目黒俊幸

Swallowtail Butterfly

設計折紙の第一人者、ついに「展開図折りに挑戦!」に登場です。今回は大きく羽をひろげたアゲハチョウ。おりがみはうすから発行予定の「折紙図鑑・昆虫」の掲載作品のひとつです。リアルな昆虫を堪能して下さい。



アゲハチョウはザリガニを折るための基本形からの見立て変えで得られた作品です。設計としての難度は、簡単な部類に入ります。この展開図で注目する点は円領域の配置です。展開図上には大きな円領域が4つあります。これらは

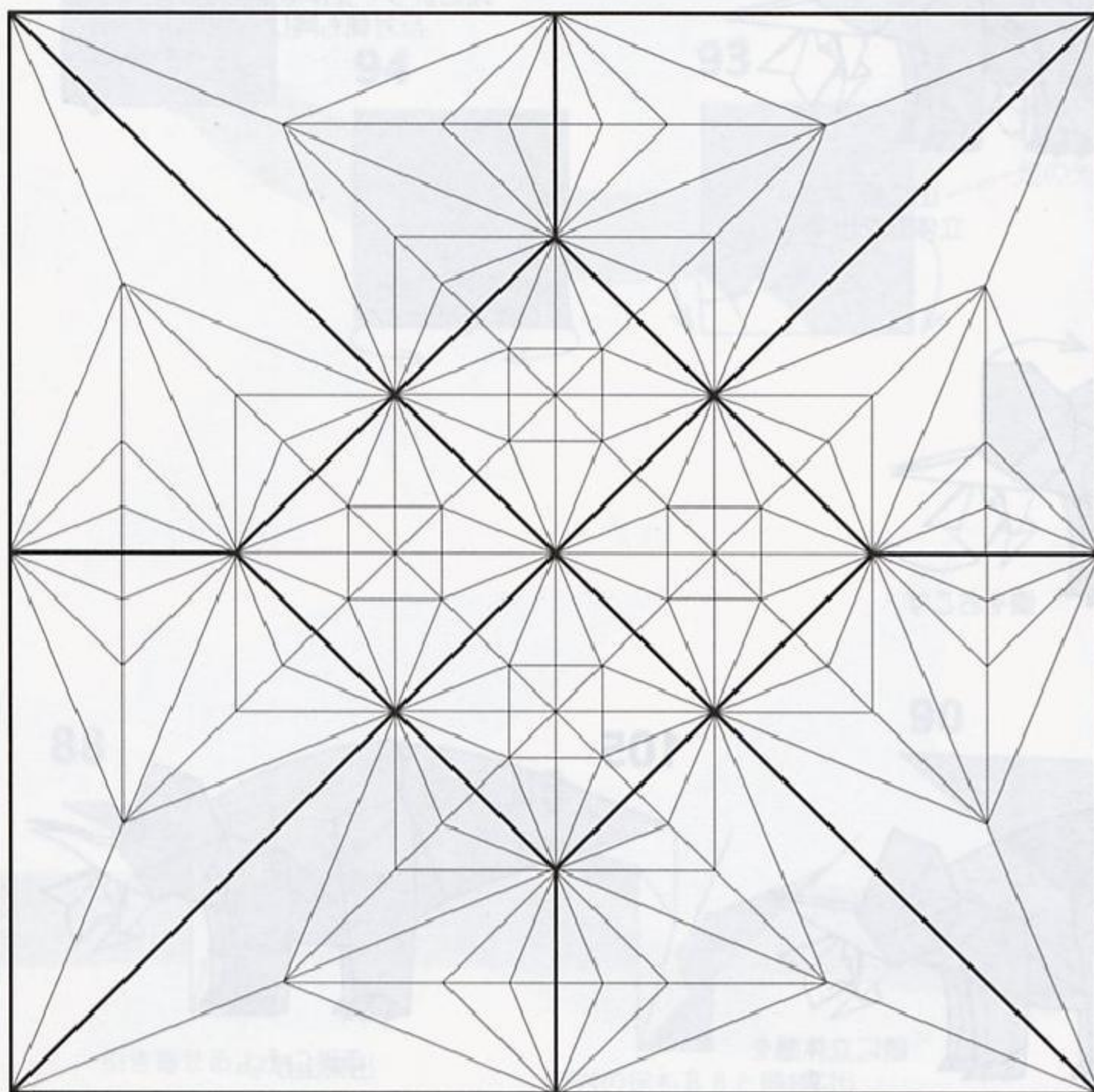
ザリガニを折るときは触覚と腕になり、アゲハチョウを折るときは4枚の羽となります。実際に折ってみたい人は、おりがみはうすから出版予定の本に折り図がのっていますので参照して下さい。ただ率直に申しあげれば、この程度の作品は展開図と完成図だけで折れて

当たり前という感覚を身に付けていただきたいと思います。

この作品は比較的写実的な作品です。このような作品を折る時は良く実物を観察してから折ります。単純な作品しか折れない人の中には実物通りに折ることを否定的に言って自分の低水準の

作品を正当化する人が結構いますがいい加減にやめてもらいたいです。人がどんな価値観で折り紙に接しようと勝手ですけど、もしもこれを読んでおられる方が、精巧な作品やそれを不切正方形一枚折りで作る技に興味を感じる人で、創作をしたいと思っているなら、まずは実物にならった造形を目指すことが基本になります。その理由は3つあります。1つめは自然の造形は極めて美しいからです。2つめは自然の形を折ろうとすると様々な技術的な課題を解決しなくてはならないのですが、それが折紙技法の発展につながるからです。3つめが重要なのですが、このようにして得られた技術を通して折り線の法則性とか摂理といったものを鮮明に感ずることができるようになるからです。

このようにして折り紙の世界に触れるときしばしば強い感動が起こります。皆さんも感じてみませんか。



■折紙
てから
なった
く上回
なった
■諸
Shuma
きな
トは
事故も

●
■今年
は、第
結成
体制
念大
が、3
ると
あり、
あれ
加募
を上
150名
氏「明
の折紙

▲挨拶



1999年8月20日(金)～22日(日)

第5回折紙探偵団 コンベンションレポート

以前から誌上でお知らせしていた「第5回折紙探偵団コンベンション」が去る8月の20,21,22日の3日間に渡り東京北区の東京成徳短期大学で盛大に催された。初めての会場ということで多少不安はあったものの、今回は探偵団結成10周年、コンベンション開催5回目の記念大会ということもあり例年に無い盛り上がりを見せた。

■折紙探偵団が日本折紙学会となつてから初めてのコンベンションとなった今回、参加人数は予想を大きく上回る230人と、過去最高の数字となった。

■諸般の事情により招待作家のShumakovs 夫妻がロシアから来日できなかったという残念なアクシデントはあったものの、全体では大きな事故もなく、無事三日間を終えた。

●一日目・講演会

■今年の折紙探偵団コンベンションは、第5回という区切りの大会。探偵団結成から10年目、日本折紙学会という体制への移行など色々な意味での記念大会となった。そこで企画されたのが、3日制にして初日を講演会に充てるというもの。夏休みとはいえ平日でもあり、企画当初は、50人くらいの聴衆があればと考えていた。ところが、いざ参加募集を始めて、運営陣は嬉しい悲鳴を上げることとなった。なんと初日から150名を超える予約である。岡村昌夫氏「明治期の東京女高師附属幼稚園の折紙」、川崎敏和氏「折り鶴の幾何

学」、川畑文昭氏「最新折紙設計」、前川淳氏「折り紙おもしろ話」と確かに錚々たる顔ぶれではあるが、予想を超える期待に、講演者には緊張感が増したようである。

■8月20日金曜日13:00、東京成徳短期大学の211階段教室、150名以上の参加者を前に緊張の面もちで日本折紙学会代表、西川誠司氏より開会が宣言され、記念大会として講演会を企画した旨が説明された。続いて今大会の吉野一生基金招待作家イタリアのDavid Derudas氏のスピーチが、松下節子さんの通訳で行われた。Derudas氏は、「一生基金で招待されたことを感謝するとともに、多くの折り紙愛好家のよりよい出会いの場となりますように」と結んだ。

これに続きいよいよ上記4名による講演会へと進む。

■岡村氏の講演では、フレーベルの保育法に基づく折り紙教材が紹介された。明治9年に設立されたわが国最初の公立幼稚園であったお茶の水女子師範学校附属幼稚園でどのように取り入れられていたかが語られた。

川崎氏の講演は、本誌特集でも取り上げた氏の学位論文でもある「折り鶴変形理論」について。独特の柔らかい語り口で過去の変形折り鶴の紹介とそれらを統合した明快な結論は、聴衆をうならせた。

川畑氏は、数十枚のOHPシートを用意し、豊富な展開図例を駆使して、動物などの対象を枝状の図に還元し、必要な展開図を得る設計手法の長所短所について解説した。

前川氏は、氏の折り鶴コレクションを



▲川畑氏の講演に集中する川崎氏

スライドで紹介し、聴衆の目を楽しませてくれた。おもしろ話は「折紙」のつく地名や、魯縞庵義道ゆかりの桑名市と隣接する菰野町の折り紙伝説へ。そして最後は、あっと驚く太平洋上の「鶴心」にせまり、会場から大きな笑いと拍手が起こった。

■参加した子どもからお年寄りまで熱心に聴き入り、「折紙学会と言う名に恥じない講演」(埼玉の会社員)、「久しぶりに他人の講演を聴いて感動した」(神戸在住の大学教官)など、盛会のうちに初日の幕は下りた。



▲挨拶をする Derudas 氏

コンベンションは
おりがみメーカー2社に
用紙の協力を得ています。

●(株)トーヨー

●ショウワグリーム(株)

ありがとうございました。

●二日目・折り紙教室、懇親会、宿泊

■二日目からはお馴染みの折り紙教室である。

本誌でもお馴染みの講師陣に加え、招待作家のDavid Derudas氏を始めとする海外参加者のバラエティーに富んだ講習も並び、参加者はどの教室を受講するか頭を悩ませていたようである。■今回会場として使用させていただいた東京成徳短期大学には幼児教育学科があり、そのこともあって今回のコンベンションでは折り紙と幼児教育をテーマにした一連の講習がプログラムに盛り込まれた。

一例として、津留美裕子さんの「壁面構成のヒント」があげられる。幼児教育の現場における折り紙の在り方、どのような作品が園児に受けるのか、また教える人がどのような心構えを持っていなければならないのか等、教育現場に密接した、興味深いお話が聞けたようだ。

■今年はいままでに比べて、作品の展示の仕方に気を配ったところ、例年よりも好評であった。

年々展示作品の点数も増えて来て

おり、新しい作品に多く出会える事ができるのもコンベンションの魅力のひとつである。

■2日目の夕方には懇親会が開かれた。最初に故吉野一生氏の父親である吉野義也氏から Derudas氏に吉野一生基金の授与がおこなわれた。

和やかな雰囲気では進行し、おいしい料理をつまみながら一年に一度しか会わない旧知の友と楽しげに語らう姿や、普段紙面でしかお目にかかれない作家を囲んで折り紙について熱く語り合う姿などが多く見られた。

■懇親会のハイライトは「おりがみダービー」や「おりがみ身につけまSHOW」などの楽しいイベントであった。

「おりがみダービー」とは6人の出走者を目隠し状態にして、折り紙を折る早さを競わせ、誰が一番かを当てる全員参加型のゲームである。

レースの決勝は西川誠司氏、北條高史氏、神谷哲史氏の歴代TVチャンピオンと予選を勝ち進んできたチャレンジャーの木下剛氏、田中まさひこ氏、布施知子氏によって行われ、見事北條氏が優勝を飾った。ちなみに西川夫人の直子さんは北條氏に一票を投じ、しっかり賞品をGETしていた。

「おりがみ身につけまSHOW」では4人の出場者が大いに参加者を楽しませてくれた。Tシャツに創作のキクを一杯に縫いつけた高井弘明氏、「たればんだ」の帽子とメガネをつけた、中島進氏とJonathan Baxter氏、最後は細かいユニットをベストのように羽織って登場した島村麗子さん。



▲「おりがみ身につけまSHOW」の4人

それぞれの個性的なアイデアは多くの参加者の興味を引いて、大変好評(?)であった。

■懇親会の夜は、本郷の鳳明館に80名以上が宿泊し、夜通し折り紙談義が続いた。中でも小学生から高校生10名ほどが集まる部屋では、持参した作品や折り図の披露からはじまり、「TVチャンピオン」でもおなじみの即興創作による「折り紙しりとり」大会が活況を呈したらしい。

「徹折り」を喜々としてこなすエネルギーは若さの証拠。一部始終を見ていた大阪の会社社長は「もう、涙が出るほど面白かった。」と次代を担う子ども達にたのもしさを感じ、ご満悦であった。



▲海外参加者との交流。June Sakamotoさん(右)にお酌をする小方氏(左)



▲Ros Joyce さんの講習

●三日目・折り紙教室、全体会、オークション

■三日目も引き続き折り紙教室が行われた。

毎年恒例の「折紙探偵団新聞・号外」(前川氏が作成する、コンベンションでしか手に入らないおもしろチラシ)を片手に朝から夕方までぎっしり教室のつまったスケジュールをこなした。

招待作家のDerudas氏も二日間連続

で講習を受け持った。二日目の講習は「Butterfly」。折り方が分からないと言う人のところへ行って丁寧に教えたり、出来た人のところに行ってアドバイスをしたり、「良く出来てます」と言葉をかけたりしている一生懸命な彼の姿がとても印象的であった。

3日間もあった日程もあつと言う間に

最後の全体会へ。

■今大会は、海外からの参加を積極的に呼びかけたのも特徴となっている。アメリカからは6名、イタリア、ドイツから各2名の参加で、全体会では海外からの参加者を紹介し、日本語も流暢な日系3世のJune Sakamotoさんから全体を代表して挨拶があった。

■続いては恒例のオークション。毎年ここに品物を出すために一年中探している人がいるほど人気のイベントになってきた。今年も折り鶴コレ



▲作品展示風景

クターをターゲットにした品物が多く並んだ。

有名な折り鶴コレクターなどは、オークションが始まる前に銀行にかけ込んでいたようであるが出てくる品物が扇子、レターセットから始まって表彰状入れや超合金口ポなどになると「知らない(折り鶴)物がこんなに次々に・・・」と頭をかかえていた。

最後の目玉として用意されたのは、絶版久しい「トップおりがみ」(サンリオ)。著者笠原邦彦氏をはじめ、作品が収録された布施知子氏、デビッ

ド・ブリル氏、川崎敏和氏、前川淳氏の5名のサイン入り。埼玉在住の女性が落札した価格は定価の10倍近いもの。誰か高濱利恵さんのサイン本を持ってないだろうか。

なお、オークションの売り上げの全ては、吉野一生基金の原資に繰り入れられる。

■会期中突然クーラーが止まったり、全体会中に突如大雨に見舞われたりもしたが、長かった三日間も無事に終わり、参加者もスタッフも大きな満足感を胸に会場を後にした。



▲笹出晋司氏の「ガメラ」



▲David Derudas 氏の「Butterfly」



▲川崎敏和氏の「雪華」



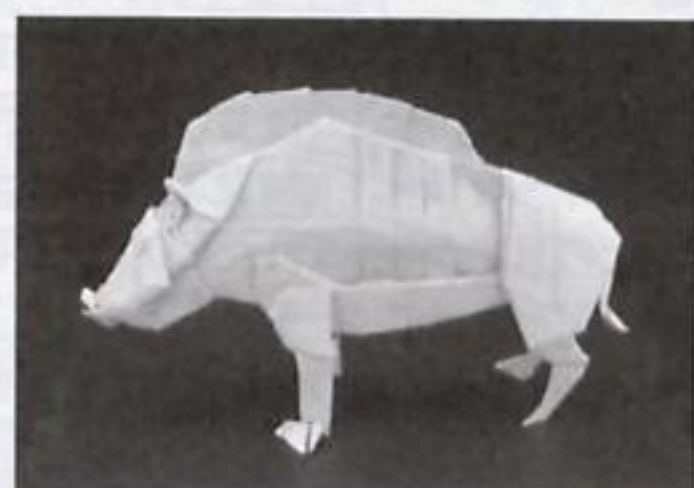
▲小方弘巳氏の「ペンギン」



▲宮島登氏の「ペガサスの騎士」

ORIGAMI mini PHOTO GALLERY

コンベンションで見かけた気になる作品を
ちょっとだけ紹介します。



▲神谷哲史氏の「乙事主」

アンケート結果

○主なコメントを抜粋しました。今後の参考にさせていただきます。

◆日程について

2日間位が適当。7月末だと夏休みに折り図集で楽しめる。

◆開催地、会場について

旅館に近い方がいい。/おりがみはうすから遠い。/関西で開催希望。

◆教室について

怪獣に偏っている。/コマを増やして欲しい。/人気の作品は2度行くと受付の遅い方にも良い。/もう少し親切に教えて欲しい。/女性向けの講習を。

◆展示作品について

展示作品の臨時講習があれば良い。/

使用した紙の(形、枚数)コメントが欲しかった。

◆懇親会について

ダービー良かった、ショウ楽しかった、来年もやって下さい。

◆折り図集について

もっと難しい物を。/完成写真(カラー)が欲しい。/論文なども載せて欲しい。/高くなっても増ページの方が嬉しい。

◆折り紙用紙について

25cmの紙が欲しい/ホイル紙/和紙が良い。

◆今後呼んで欲しい招待作家

ポール・ジャクソン/エドウィン・コリー/トーマス・ハル/ラング/モントロール/エリック・ジョアゼル/変な作品を折る人。/アジアの人。

◆その他の意見

作品展示は控え室の方が良かった。/講師の紹介があれば良い。/折り図集を教室で配布して欲しい。/開催情報を早く伝えて欲しい。

◆JOAS の名称について

探偵団の方が良い。/カタイ。/近寄りやすい雰囲気。/乳酸菌飲料みたい。/敷居がたかい感じ。/ウルトラマンみたい。

Information つまみおり

受賞作品一覧

「彩典紙部門」

金賞 [光りのブーケ]

橋高美保子

銀賞 [セミ]

羽鳥昌男(作/R・J・ラング)

銅賞 [花]

深堀島子(作/藤本修三)

佳作 [サソリ]

羽鳥昌男(作/R・J・ラング)

「彩竜紙部門」

金賞 [タコ]

羽鳥昌男(作/P. エンゲル)

銀賞 [イカ]

羽鳥昌男(作/P. エンゲル)

銅賞 [FOX]

Peterpaul Forcher

佳作 [ライトアップ]

永田紀子

「彩陶紙部門」

金賞 [クモ貝]

羽鳥昌男(作/R・J・ラング)

銀賞 [ホネ貝]

羽鳥昌男(作/R・J・ラング)

銅賞 [うさぎ]

羽鳥昌男(作/R・J・ラング)

佳作 [ちびREX]

川村みゆき

「審査委員特別賞」

笠原賞 [あじさい]

永田紀子

布施賞 [FOX]

Peterpaul Forcher

ブリル賞 [ライトアップ]

永田紀子

山本賞 [Something Blue]

久我香子

川崎賞 [インカの太陽神]

Peterpaul Forcher

国際折り紙アートコンクール

去る7月3、4日、九州は福岡で「国際折り紙アートコンクール」に関する展示会・講習会などが開かれた。このコンクールには世界12ヵ国から80点近い作品の応募があった。

コンクール

■このコンクールは主催である「おりがみ陶芸センター」の代表幹事を務める田島純雄氏が、折り紙との出会いで感じた折り紙愛好家の情熱を「もっと世間に伝えたい」との思いから生まれたもので、「芸術としての折り紙」を広く一般から募ったことは折り紙の世界においても大きな意義を持つこととなった。

■応募の条件は「彩典紙」、「彩竜紙」、「彩陶紙」という「おりがみ陶芸センター」が独自に開発した紙を使用するというもので、紙の種類ごとの部門で金・銀・銅賞、佳作が設けられた。

「彩典紙」は非常に薄い和紙を2枚張り合わせた状態のもので、折りやすく折り上げた後形が崩れにくい。「彩竜紙」は雲竜紙の繊維をほぐすとともに折り目がはっきりつくように加工されている。一方「彩陶紙」は名前から推測されるように、折り紙として一度折った物を焼成し、陶芸作品に仕上げる事ができる紙である。

■田島氏へ折り紙に関してのサポートをしているのが、本誌でもお馴染みの川崎敏和氏である。川崎氏は今回のコンクールで審査員の一人を務め、多くの発見が

あったという。その中で特に感じたことを語ってもらった。「普段作家ばかりが取り上げられますが、今回のコンクールでは既存の作品を綺麗に仕上げてくる人がとても多く、創作をしない人でも素晴らしい表現者になれるということを改めて感じました。」

■この「国際折り紙アートコンクール」は今後も開催していく予定だという。大いに期待したい。

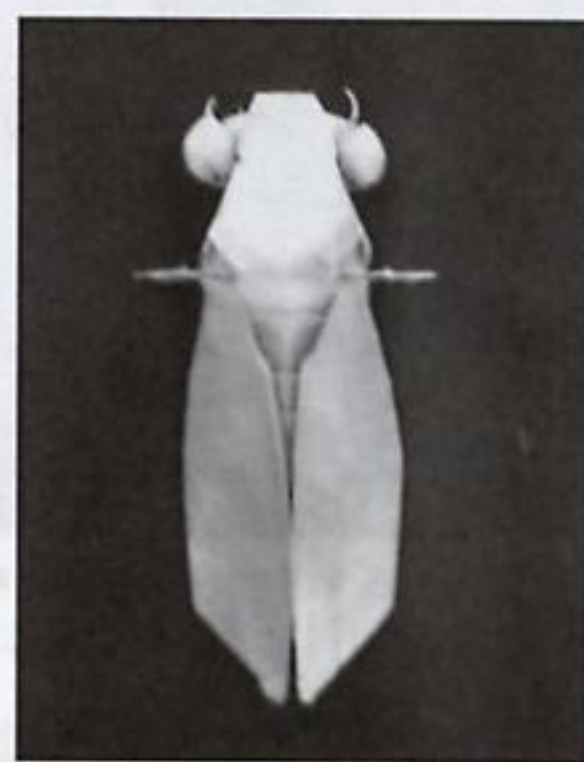
繊細な紙との出会い 橋高美保子

彩典紙。それは夢見心地の繊細な紙。ほんの幽かな気の揺らぎに耐え兼ねて、ふうわりと浮遊する紙。光を通して

「コンクールの審査をして」 布施知子

応募に際しては三種類の紙、すなわち彩典紙、彩竜紙、彩陶紙を使うことが義務づけられた。紙が限定されたことと、創作でなくても可ということで、創作にこだわった人は多少不利になった感があり、紙質に合った作品と折る技術が審査に大きく影響した。審査は製作者の名前を伏せて、作品だけを見

量しがほのかに浮かぶ紙。その趣を例えて言うと伝説の羽衣かな。実際ほとんど羽衣なので、少々お高くてもやむを得ません。いにしえの天女の舞い遊ぶ空の色で透かし折りの花束を作り、アクリル板に封じ込めました。二月に急死した父の供養にとの思いも込めました。アートとしての金賞はとても嬉しいことです。福岡での素敵な人達との交流も幸せな体験でした。チャンスを与えて下さった関係者各位に、改めてお礼もうしあげます。



彩典紙部門の銀賞を飾った
羽鳥氏の「セミ」(作/R・J・ラング)

て10点満点で採点する方法がとられた。ともすると創作者だけに光りが当たりがちだが、このコンクールで「折る」という技術が折り紙にいかに大切で重要か、認識を新たにした。また、見て審査するコンクールであり、折ったのしい作品より、見栄えのする作品に得点が集まった。

◆龍野市立歴史文化資料館「～折る～折り紙の歴史」展開催

先号でもお伝えした通り、兵庫県龍野市にある龍野市立歴史文化資料館で「～折る～折り紙の歴史」展が開催されます。

■折り紙関係では過去に例を見ない質と量を誇る今回の展覧会では、国宝の「紅帖紙(べにたとうがみ)」を始めとする貴重な資料が数多く出展されており、折り紙のルーツと発展の過程をたどって展示されています。

■江戸文化の中で花開いた折り紙の様子を示す浮世絵、本、着物等を並べ、明治時代に幼児教育と共にヨーロッパからもたらされた折り紙の紹

介と共に、日本折紙学会からも「現代折り紙の最高水準」として多くの作品を出展します。

■日本折紙学会初の後援イベントとなる今回。本誌の連載も好調な岡村氏の講演など、関連行事も充実しています。

会期：1999年10月9日(土)～11月28日(日)
会場：龍野市立歴史文化資料館

(兵庫県龍野市龍野町上霞城128-3)

開館時間：午前9時～午後5時(入館は4時30分まで)

休館日：10月12・18・25日、11月1・8・15・22日

関連行事

●おり紙教室「親子で折ろう！赤とんぼ」

日時：10月24日(日)10:00～、13:00～(無料)

講師：石橋美奈子

会場：龍野市立中央公民館

定員：各30組、申込順(はがき又はFAXで資料館へ)

●記念講演「おり紙の流れ」と実技指導「江戸時代の折り紙を折る」

日時：11月14日(日)13:00～(無料)

講師：岡村昌夫

会場：龍野市立中央公民館

◆「日本折紙学会関西友の会」のお知らせ

日本折紙学会の活動が関東方面ばかりでなかなか参加できないという人の声にお応えするため、関西での活動を開始したいと思います。目標は2000年春の「折紙

探偵団関西コンベンション」開催です。

まずは有志の会として「日本折紙学会関西友の会」を開催したいと思います。折り紙に興味がある方なら

どなたでも参加OKです。とりあえず集まってみませんか？

日時：1999年10月9日(土)

13:00～17:00

場所：長岡京市産業文化会館

(京都府長岡京市開田3-10-1)

TEL:075-955-5440

費用：500円(会場費など)

内容：

1部：関西友の会の運営について。

2部：折紙講習。(内容、講師は当日のおたのしみ)

3部：17:00から場所を変えて懇親会。(費用：5000円)

連絡先：〒613-0022 京都府久世郡久御山町市田新珠城238-2

新本祐一(しんもとゆういち)



■会場周辺地図

◆今年もやります第2回折紙探偵団静岡コンベンション参加者募集



1999年11月
13日(土)～14日(日)
静岡県 静岡市

「折紙探偵団コンベンション」の地方版ともいえる、第2回静岡コンベンションの開催の時が今年もやってきた。地方の折り紙ネットワーク作りの効果もあって、地元折紙探偵団友の会会員による教育委員会の後援とつりつけなど準備も順調。2年目のジंकス(?)など心配する声もあるが、今後の地方大会の在り方を問う試金石でもある。

前川淳氏、北條高史氏など豪華講師陣が今年もやってくる！

●大会名

第2回折紙探偵団静岡コンベンション

日時

■11月13日(土)

09:30～受付

11:00～開会式、全体会、講演

折り紙おもしろ話＝前川 淳

13:00～折り紙教室

18:00～懇親会

■11月14日(日)

09:30～受付

10:40～折り紙教室

16:00～閉会式

場所 たちばな会館(静岡市)

参加費 4,500円(折紙用紙付き)

親子割引有り

懇親会 大人4,000円、

中学生以下3,000円

宿泊 朝食つき5,500円

●予定は変更される場合があります。ご了承下さい。

★参加費は当日会場にてお支払い下さい。

●申込用紙、資料をご希望の方は返信用切手90円を同封の上、日本折紙学会事務局までご請求下さい。

●折って折って折りまくる2日間、皆さんの参加を心よりお待ちしております。(静岡コンベンション運営委員)

◆インターネットこぼれ話

口頃 学会には、様々な折り紙に関する質問が寄せられています。電話はもちろんファックスや最近ではインターネットを利用した問い合わせも増えています。電話やファックスに比べて費用がかからず、また時間帯も気にせずに済むことから、気軽に小さな質問もできるというのがメリットのようです。

そういった質問のなかで度々目にするのが折り鶴に関する話題です。折り鶴を千羽つくって願をかけるという習慣は、日本人の間ですでに一般化していますが、それに付随して様々な噂も広まっているようです。

最近の問い合わせにあったのは、「病人に対して千羽鶴を折るとき、首を折ると良くないというのは本当でしょうか?」というお話でした。これに対して、折り鶴研究家でありコレクターでもある

前川氏が電子メールで回答しています。以下に紹介しますので、みなさん参考にしてください。

◆前川 淳氏の回答_____

千羽鶴の首を折ってはいけないという話は、数年前から数件聞いたことがある噂話ですが、あまり気にする必要はないと思います。「人面魚」の類いの話でしょう。少なくとも10年前までは聞くことのない話でした。

広島市の平和祈念公園にたくさんの折り鶴があることをご存知でしょうか。

それらは、原爆症の快癒を祈って折り鶴を折り続けた少女・佐々木貞子さんのエピソードに基づく、平和の祈りに満ちたものです。みなきちんと首が作られています。

また、各地の神社仏閣などでも奉納の折り鶴を見ることは少なくありません

が、それらの鶴(当然健康回復を祈ったものもあるでしょう)は、わたしの見た限りすべて首が作られていました。

安心して、首を作ってください。

「折」という字は日本語でこそFOLD(畳む)の意味もありますが、中国語ではBREAKの意味で、中国のひとたちは、「折鶴」という言葉からは「骨折した鶴」を連想するようです。噂話はこのあたりから来たのではないのでしょうか。

噂話の出所には興味がありますが、あまり気になさらないよう。

● 折り紙に関する情報、ご意見等があり
● ましたら、折紙探偵団編集部までお寄
● せ下さい。お便りお待ちしております。 ●

◆田尻君 OUSAへ

◆昨年から企画されてきた、おりがみは
うすの職員である田尻敦士君の留学が
いよいよ具体的になり、9月の末には旅
立つことになりました。

田尻君は1年間、折り紙海外事情の収集、交流(将来の人脈作り)、語学研修のため、おりがみはうすよりボランティアでニューヨークにあるORIGAMI USAへ派遣されます。

一部の方には(コンベンションの懇親会で)日本折紙学会の吉野一生基金も利用されると発表されましたが、司会者の早とちりでした。関係者にご迷惑をお掛けしました事をお詫び申し上げます。
◆今後は、誌面上で彼からの新着情報による折り紙海外事情をお伝えする事ができると思います。お楽しみに。

◆コンベンション折り図集

おまたせ いたしました。今年もコンベンション折り図集をお届けします。今年の8月に行われた第5回折紙探偵団コンベンション。前年にもまして盛り上がりを見せたあの感動を、この折り図集を通して感じて下さい。総ページ数は256ページと大幅な増ページを受け、いままでに無いボリュームになっています。

今回はキャラクター系が充実。怪獣からゲーム、アニメなど多彩な顔ぶれ。今回は海外作家の作品も多数収録しています。

●「折紙探偵団コンベンション vol.5」
価格：2,000 円(税込)、送料：一冊 420 円

■今回はもう一つのアイテムをご紹介します。以前から要望の強かった整理ファイルをお届けします。1年分の6冊をしっかりと収納でき、透明ボディの背と表の部分に折紙探偵団のロゴ入りです。

●「折紙探偵団専用ファイル」
価格：一冊 750 円(税込)、送料：250 円

■送金方法等詳しくは最後のページの
の広告をご覧ください。(注：上記2点
とも取り扱いは「おりがみはうす」に
なります)

■早いもので、10期の「折紙探偵団」も半年分が発行されたことになるんですね。次号からはスタッフが一人いないので、周りの方々に迷惑をかけないように新たに気を引き締めて取り組みたいと思っています。(M.E)

■残暑が厳しいとはいえもう秋の気配を感じる昨今。読者の皆様の「○○の秋」はなんですか？私はもっぱら「読書と折り紙の秋」で週末は図書館に籠もりきりです。(コンペションの後は読書三昧のH.T.)

編集後記

■アッという間の暑くて長い夏だった。コンベンションの準備、海外からのお客様のケア。とても忙しく、「疲れたー」なんて、詮家の者にもらしたら、でも、楽しいんでしょ!と一言、思わずにはいと返事してしまった。来年も楽しい疲れのために頑張ろうと、(4キロも体重が減っていたY.M.)

■早いものでもう9月も終わりのですね。コンベンションも走り回っている内に終わりました。この後にはいったい何が待っているのでしょうか。ああ、今は余計な事を考えてないで荷造り、荷造りーと。(T.A.)

■ORIGAMITANTEIDAN / No.57 / Published on 25, September 1999 by Japan Origami Academic Society, 1-33-8-216 Hakusan Bunkyo-ku 113-0001 Tokyo JAPAN / Cover Photo : " Triceratops '99 model" Produced by Kawahata Fumiaki : Photographed by Sato Hitoshi / Publisher : Nishikawa Seiji / Editor in Chief : Yamaguchi Makoto / Editor : Tajiri Atsushi , Matsuura Eiko , Hamada Takayuki / Editorial Design : ORIGAMI HOUSE

折紙探偵団

1999年9月25日発行
第10巻3号通巻57号
発行所/日本折紙学会

〒113-0001
東京都文京区白山1-33-8-216
Phone / FAX 03-5684-6080

発行人/西川誠司
 編集人/山口 真
 編集スタッフ/田尻敦士、松浦英子、濱田隆幸
 折り図制作・デザイン/おりがみはうす
 発売/おりがみはうす

●本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

定価 500 円

◇新刊&新商品案内◇

第5回折紙探偵団コンベンション折り図集と雑誌折紙探偵団のファイルができました。商品の取り扱いは、おりがみはうすで行っております。通信販売でお求めの場合は、下記（おりがみはうす）までお願いします。



第5回 折紙探偵団 コンベンション折り図集

・B-5判 256ページ

神谷哲史氏の「バハムート」、川村みゆき氏の「ツイスター」、小笹径一氏の「キングギドラ」、宮島 登氏の「死神」、一生基金招待者Derudas氏の「コブラ」等多数収録。

定価2,000円(税込)
送料420円(梱包込)



折紙探偵団ファイル

・変形B-5判
・箔押しタイトルロゴ入

雑誌「折紙探偵団」を一年分(6冊)収録できるファイルです。半透明のプラスチック製で、背表紙と表紙に「折紙探偵団」のロゴが箔押しで入っています。

定価750円(税込)
送料250円(梱包込)

申し込み方法

ご希望の商品名を明記し、送料を含む金額を郵便振替え又は現金書留でお送り下さい。
口座番号及び宛先はおりがみはうすです。お間違えのないようお願い致します。

I♥ORIGAMI——おりがみはうす ガレージブックス——

おすすめ!

折り紙色紙百花

田中具子・著 山口 真・編 — 女性に大人気! 色紙折り紙のバイブル。 —

B-5判/120ページ/カラー口絵8ページ/定価2,500円(税込) 送料390円(梱包込)

面~The Mask~

布施知子・著 山口 真・編 — 作者がまだユニット折り紙に出会う前の情熱の作品群 —

B-5判/200ページ/全27作品カラー写真紹介/定価3,300円(税込) 送料460円(梱包込)

好評発売中

一生 スーパーコンプレックス おりがみ

吉野一生 著

B-5判200ページ カラー口絵8ページ
定価2,900円(税込) 送料460円(梱包込)

ティラノサウルス全身骨格折り図

B-5判 76ページ 吉野一生 著
定価1,545円(税込) 送料390円(梱包込)

空想おりがみはお陰様で完売しました。
現在再販については未定です。ご了承下さい。

折紙探偵団コンベンション折り図集

第4回 B-5判192ページ
定価1,500円(税込) 送料390円(梱包込)

NEW! 第5回 B-5判256ページ
定価2,000円(税込) 送料420円(梱包込)

絵はがきセット 限定50部

布施知子ユニット作品絵はがきセット

1セット18枚組(18種類)/定価1500円 送料160円
美しい自然と調和するユニット作品を絵はがきにしました。



ギャラリー

おりがみはうす

〒113-0001 東京都文京区白山1-33-8-216

TEL/(03) 5684-6040

URL/http://www.remus.dti.ne.jp/~origamih/

はうすオリジナル 折り紙専用和紙

和紙両面 おりがみ

2枚の民芸紙を貼り合わせて作りました。折り筋が付きやすく、もみ紙の風合いが作品づくりの幅を広げます。

サイズ/30cm×30cm 5色調/20枚入 定価1,350円
送料:1セット/390円(梱包込),2セット/580円,3~4セット/700円

※和紙両面おりがみの見本をお分けしています。御希望の方は80円切手を同封の上、下記宛先まで。

越前和紙 「はな」

折り紙色紙百花用: 手漉き手染めの和紙です。手触りはもとより、味のあるぼかし染めは、田中作品に使うことで100%の実力を発揮します。
定価2,500円(税別) 送料300円(梱包込)

新刊予告

折紙図鑑シリーズ

昆虫

世界で一番難しいおりがみの本(99年冬発売予定・価格未定)
川畑文昭、西川誠司、北條高史、前川 淳、目黒俊幸 共著

犬

佐野康博・著 犬おりがみ第一人者の作品集

西川誠司折り紙作品集 西川誠司 著 (2000年春発売予定)

西川氏の初めての本。魅力溢れる作品群を丁寧な折図でお届けします。

●商品の申し込み方法●

郵便振替か**現金書留**で料金(送料含む)を送って下さい。
ご希望の商品名と連絡先の記入は、もれのない様お願いします。
(郵便振替の場合は振替用紙の「通信欄」に記入して下さい。)
入金を確認次第、商品を送らせて頂きます。

郵便振替番号 **00120-9-715400**

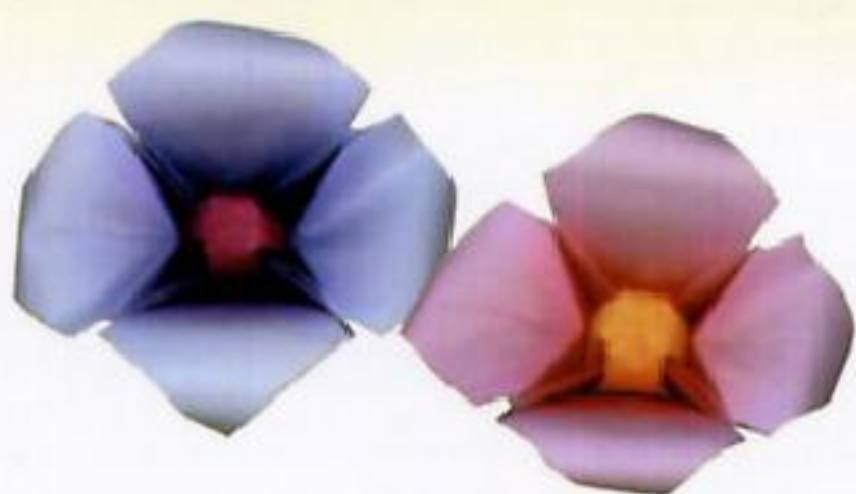
加入者名 **おりがみはうす**

■複数商品ご注文の場合は、送料が変わってきます。電話又はメールでお問い合わせください。



色のハーモニーが 形のイメージを

ふくらませる



ハーモニー

おりがみ

 **ショウワグミ株式会社**

東京本部 〒343-0838 埼玉県越谷市蒲生3867番地
TEL.0489-86-3311(代) FAX.0489-86-3330
大阪営業所 〒540-0028 大阪府中央区常盤町1-2-17
TEL.06-6945-9050(代) FAX.06-6945-9053